

**東久留米市農業振興計画策定に関する
アンケート調査結果報告書**

平成28年3月

東久留米市

【目次】

I 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査概要	1
3. 報告書の見方	1
II 調査の結果	2
1. 農家意向調査	2
回答者の属性	2
農業生産・販売について	5
農地について	9
農業の担い手について	17
環境にやさしい農業（環境保全型技術）を導入した生産について	27
地域住民との交流やこれからの都市農業について	31
自由意見（問 51）	33
2. 市民意向調査	35
回答者の属性	35
東久留米市農業とその役割について	39
地場農産物の購入、消費について	41
農業体験について	47
農家との交流について	50
東久留米市の農業や農産物について	53
自由意見（問 38）	55
III 調査票	83
1. 農家意向調査票	83
2. 市民意向調査票	95

I 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、「東久留米市農業振興計画」の改定にあたり、東久留米市の農業・農地の現状や今後の農業経営についてなどの農家の意向を把握、また、農業・農地に関する市民の意向を把握し、基礎資料を得ることを目的として、アンケート調査を実施しました。

2. 調査概要

項目	農家意向調査	市民意向調査
調査対象	市内農家 325 戸	20 歳以上の市民無作為抽出 3,000 人
調査期間	平成 27 年 8 月 5 日～8 月 31 日	平成 27 年 8 月 3 日～8 月 20 日
調査方法	J A 東京みらい東久留米地区の各支部長による配布・回収 (一部郵送による配布・回収)	郵送による配布・回収 (御礼・督促はがき発送 1 回)
配布数	325 票	3,000 票
有効票数	252 票	1,645 票
回収率	77.5%	54.8%

3. 報告書の見方

- ・質問形態は、単数回答（S A）、複数回答（M A）、数量回答（N A）、記述回答（F A）となります。
- ・図表中の N は、回答者の総数です。
- ・割合は、回答者総数を 100.0% として算出し、有効サンプル数に対し、小数点以下第二位を四捨五入したため、単数回答（複数の選択肢から 1 つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計が 100.0% とならない場合があります。
- ・複数回答（複数の選択肢から 2 つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問については、選択肢ごとの回答に対して割合を示しているため、比率の合計が 100.0% を超える場合があります。
- ・集計結果グラフの「無回答・不明」は、回答が示されていないほか、回答の判別が困難なもの（単数回答における複数回答など）等が含まれます。
- ・各設問のタイトル、選択肢等について、表現を簡略化している場合があります。
- ・回答総数の少ない設問等については、表での表現としている場合があります。

II 調査の結果

1. 農家意向調査

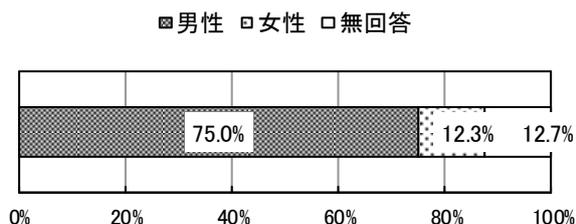
回答者の属性

問1 あなたの性別を選んで、年齢を記入してください。

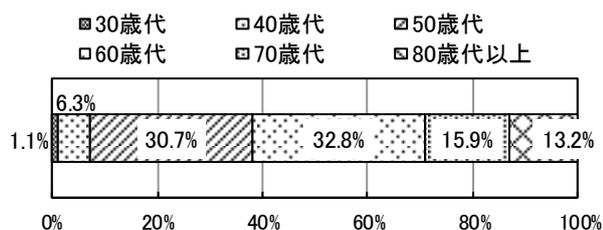
回答者の性別は、「男性」が75.0%、「女性」が12.3%となっています。

年齢は、男性回答者は、「60歳代」が32.8%、「50歳代」が30.7%、女性回答者は、「80歳代以上」が41.9%、「70歳代」が35.5%を占めています。

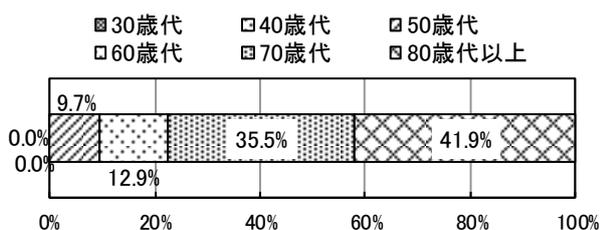
【性別】 N=252



【年齢（男性）】 N=189



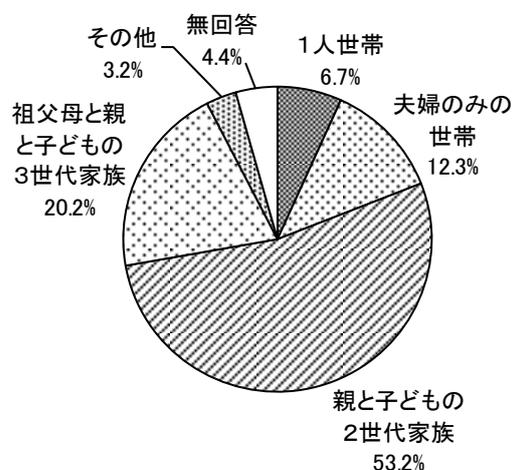
【年齢（女性）】 N=31



問2 同じ敷地内で同居している家族構成を選んでください。

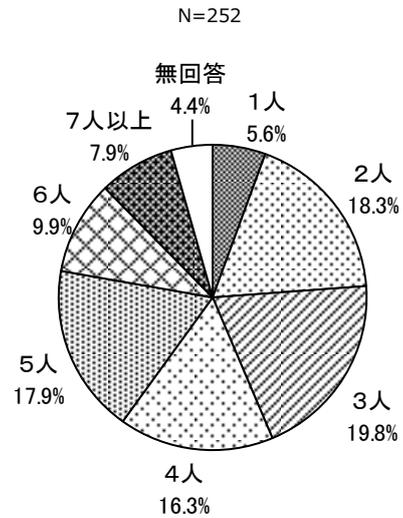
家族構成は、「親と子どもの2世代家族」が53.2%で多く、「祖父母と親と子どもの3世代家族」が20.2%、「夫婦のみの世帯」が12.3%が続いています。

N=252



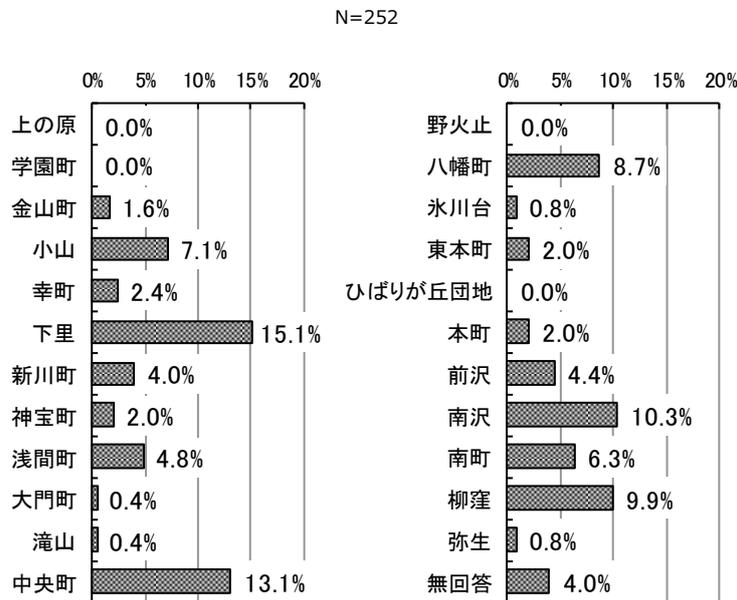
問3 あなたを含めて同居している家族の人数を選んでください。

同居している家族の人数は、「3人」が19.8%、「2人」が18.3%、「5人」が17.9%、「4人」が16.3%となっています。



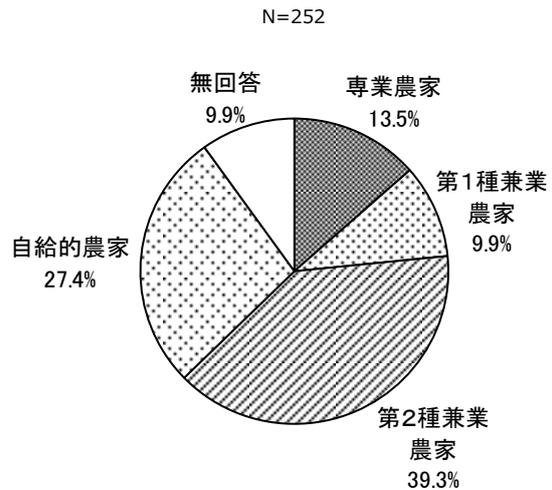
問4 あなたのお住まいの番号を1つ選んでください。

居住町名は、「下里」が15.1%、「中央町」が13.1%、「南沢」が10.3%、「柳窪」が9.9%、「八幡町」が8.7%、「小山」が7.1%が続いています。



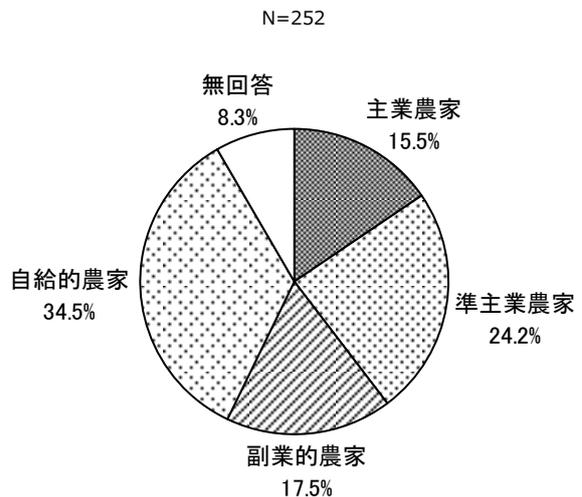
問5 あなたの世帯の農業との関わりを1つ選んでください。

農業との関わりは、「第2種兼業農家」が39.3%で多く、「専業農家」が13.5%、「第1種兼業農家」が9.9%を占めており、「自給的農家」は27.4%となっています。



問6 あなたの農業形態を1つ選んでください。

農業形態は、「自給的農家」が34.5%で多く、「準主業農家」が24.2%、「副業的農家」が17.5%、「主業農家」が15.5%となっています。



問7 あなたも含めて家族の中で、年間60日未満、年間60～149日、150日以上農業に従事している方の人数を記入してください。

【各項目の平均人数】

※項目ごとに記入のあった数値のみの平均を算出しているため参考データとする。

	男性			女性		
	うち60歳未満	うち60歳以上	計	うち60歳未満	うち60歳以上	計
年間60日未満	1.0人	1.1人	1.1人	1.1人	1.0人	1.1人
年間60～149日	1.1人	1.0人	1.2人	1.0人	1.0人	1.1人
年間150日以上	1.1人	1.0人	1.3人	1.1人	1.0人	1.2人

農業生産・販売について

問8 あなたが生産している中で、生産量が多い上位3位までの品目を記入してください。

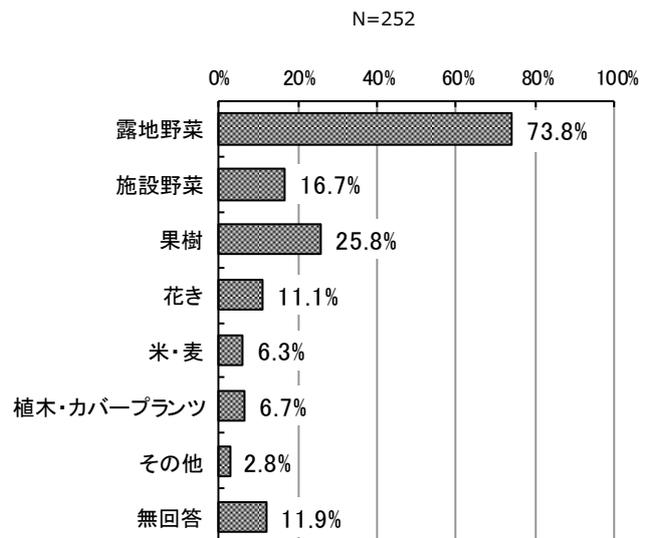
【生産量の多い主な品目】

※項目ごとに記入のあった主な品目および数値のみの平均を算出しているため参考データとする（記入ミスなど不明数値の場合は除いて算出している）。

	主な品目 (記入の多かった品目)	おおよその 年間生産量 (平均)	おおよその作付面積 (平均)
第1位 N=184	ほうれんそう	9,302.0 kg	36.9 アール
	大根	925.7 kg	137.2 アール
	里芋	490.8 kg	38.7 アール
	キャベツ	3151.1 kg	22.5 アール
第2位 N=153	大根	4,643.3 kg	9.7 アール
	ほうれんそう	6,962.2 kg	14.8 アール
	じゃがいも	277.8 kg	5.0 アール
第3位 N=128	里芋	957.1 kg	6.5 アール
	ブロッコリー	733.3 kg	10.3 アール
	とうもろこし	1,883.3 kg	15.9 アール

問9 あなたが生産している内容で当てはまるものをいくつでも選んでください。

生産している内容は、「露地野菜」が特に多く、次いで「果樹」が25.8%、「施設野菜」が16.7%、「花き」が11.1%と続いています。

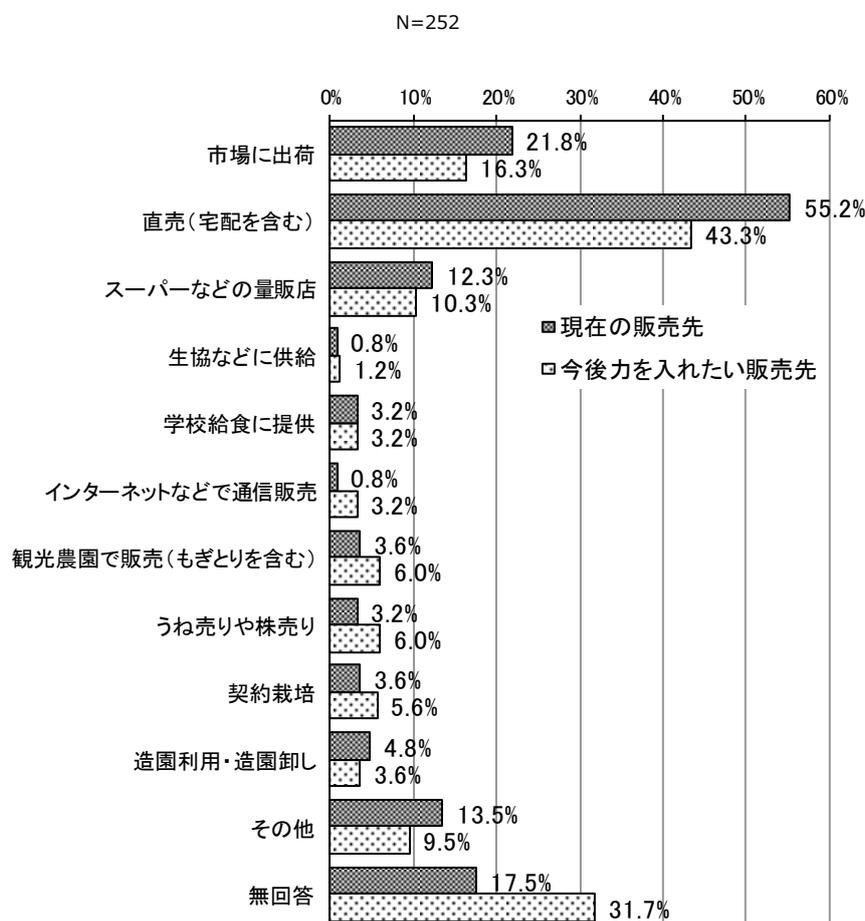


問 10 現在、農畜産物の販売はどのような方法で行っていますか。また、今後どのような方法に力を入れたいですか。最もあてはまるもの1つに◎、他については○をいくつでも選んでください。

※「◎最もあてはまるもの」と「○他について」、不明確な回答が多いため、◎と○の2つの回答を合算し、複数回答として集計を行った。

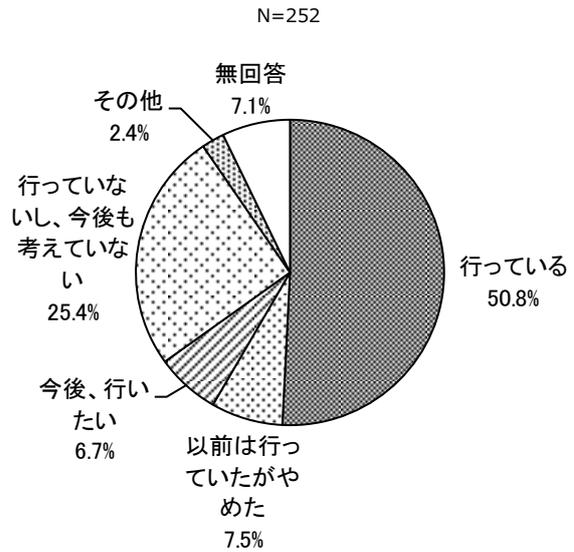
農産物の販売方法について、現在の販売先は、「直売」が 55.2%と特に多く、次いで「市場に出荷」が 21.8%となっています。

今後力を入れたい販売方法においても「直売」が 43.3%と特に多く、「市場に出荷」が 16.3%となっています。また、「インターネットなどで通信販売」「観光農園で販売（もぎとりを含む）」「うね売りや株売り」がポイントを上げています。



問 11 あなたは庭先販売（農家個人の直売所）を行っていますか。1つ選んでください。

庭先販売を「行っている」農家は50.8%で半数を占め、「行っていないし、今後も考えていない」農家が25.4%となっています。「以前は行っていたがやめた」が7.5%、「今後、行いたい」が6.7%となっており、概ね現在の直売所数が維持されていくことが想定されます。

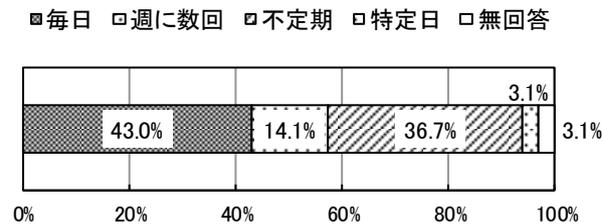


問 12 問 11 で庭先販売を「1. 行っている」と答えた方にお聞きします。あなたの販売方法について、それぞれ1つ選んで記入してください。

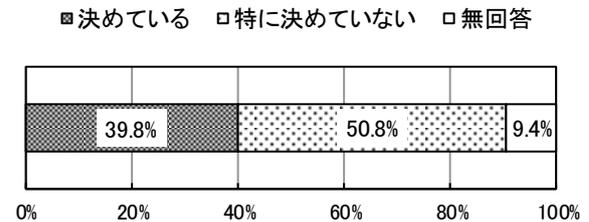
①販売日は、「毎日（43.0%）」「不定期（36.7%）」が4割前後、②販売時間は、「特に決めていない（50.8%）」が半数、③売り方は、「無人」が68.0%、④場所は、「自宅の庭先」が61.7%となっています。

また、⑤その他困っていることなどは、「盗難」や「お金を入れない」などの意見があります。

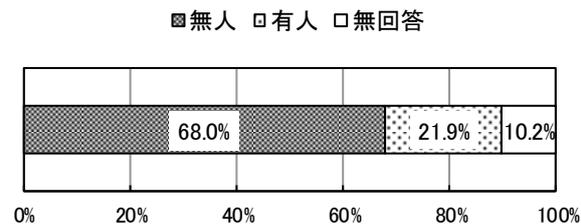
【①販売日】 N=128



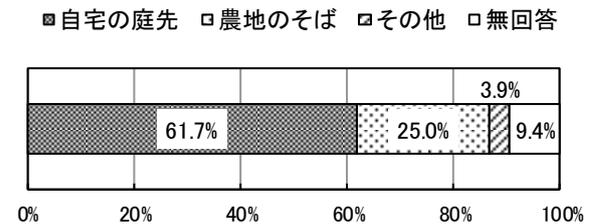
【②販売時間】 N=128



【③売り方】 N=128



【④場所】 N=128



【⑤その他困っていることなど】

N=23

⑤その他困っていることなど（原文ママ）	
売り上げがなかなかあがらない。	お金を入れない人が多い。
万引きが多い。防犯カメラ設置で数人つかまえたが、録画チェックも毎日となると時間をとられてしまう。	一部無人販売してますが持ちさりされる事が心にダメージを受ける。
2～3人、金を入れない人がいる。	人がいないとお金を入れない。自動販売機がほしいが高い！
今後、どの様にPRしていったら良いのか？	盗難が多い。
売り方がほぼ無人なので、代金が正しく入っていないことが多い。	車の通行が多い為、駐車できない。
万引きです。	3割位盗まれる。
お金を入れない人、1円玉、10円玉、スロットのコインなどでごまかす人がかなり多い。	お金を入れないで持っていかれる。
野菜が盗まれる。年々、度がひどくなっている。	お金を入れない人がいる。
決めた金額が入っていない事がある。	金額が合わない。
無人販売のため、販売額と入金額が合わないことが多い。	農地脇へのゴミの不法投棄。
出荷の半分以上は盗まれます。なので、この辺の地域の人が気軽に出荷を出来る（道の駅みたいな）所があれば、良いなと昔から思っていました。	お金を入れないでもっていかれること。
お金があわない。	

農地について

問 13 現在の農地の状況を記入してください。

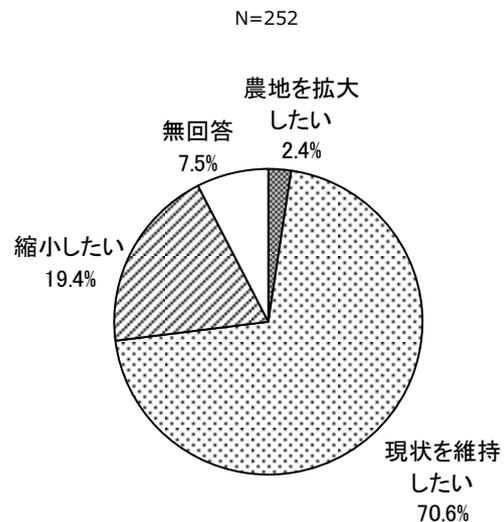
【各項目の平均人数】

※項目ごとに記入のあった数値のみの平均を算出しているため参考データとする。

農地の状況	市内の農地面積 (平均)	東久留米市外 【都内】(平均)	東久留米市外 【都外】(平均)	合計面積
①耕作している農地	51.3 アール	30.1 アール	31.6 アール	60.9 アール
うち生産緑地指定農地	83.0 アール	34.2 アール	31.6 アール	97.5 アール
うち生産緑地以外の農地	6.25 アール	11.4 アール	169.3 アール	38.0 アール
②耕作していない農地	26.5 アール	15.0 アール	35.0 アール	18.8 アール
③借入れている農地	13.0 アール	— アール	30.0 アール	25.8 アール
合 計	95.1 アール	50.9 アール	210.3 アール	131.6 アール

問 14 今後 10 年くらいの農地について、1つ選んでください。

「現状を維持したい」が 70.6%と多くを占めますが、「縮小したい」が 19.4%であり、今後農地の減少が想定されます。一方、わずかですが「農地を拡大したい (2.4%)」とする回答もあります。



問 15 問 14 で「3. 縮小したい」を選んだ方は、理由を書いてください。

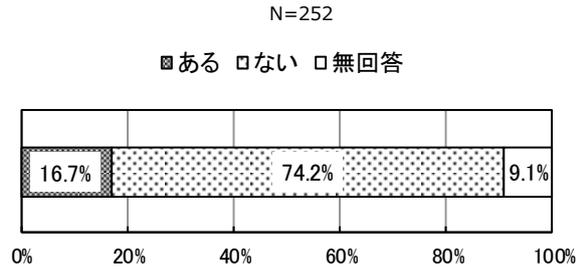
N=● (記入 36)

縮小したい理由 (原文ママ)	
労力不足の為。	年をとってだんだん大変になって来るので。
維持管理面	従事する人がいない。
先が見えない。	労働力が足りない。
アパートその他	病気
税金分の収入が上がらない。生産しても、出荷量が少ないため、市場で売ってくれない。相続で分けなくてはならない等。	農作業が大変だから。
耕作が大変なので。	人手不足
農業のあとつぎの関係です。	後継者がいない。
人手不足	後継者がいない。
最近腰がいたくて出来なくなった。	後継者なし。
後継者がいない。	人手不足
後継者がいない。	年だから。
後継者がいない。	相続問題
高齢化が進んで、やっていけない。	相続税
高齢化と農業後継者がいないため。	後継者がいない。
他にも仕事をしてること及び手がまわらない時ある為。	後継者がいない。
後継者もなく、収入が確保できないと思われるため。	生活の足しにできない。他事業への転用。
管理に手間がかかり、採算がとれない。市でよい提案をしてくれることを願う。	人手不足、高齢
相続地につき売却を希望。共有名義地 (3名)。	管理がたいへん。

問 16 過去5年間に農地を転用したことがありますか。1つ選んでください。

過去5年間の農地の転用は、「ない」が74.2%を占め、「ある」が16.7%となっています。

「ある」と回答した42件（うち面積記入有36件）の転用面積の平均は20.1アールとなっています。

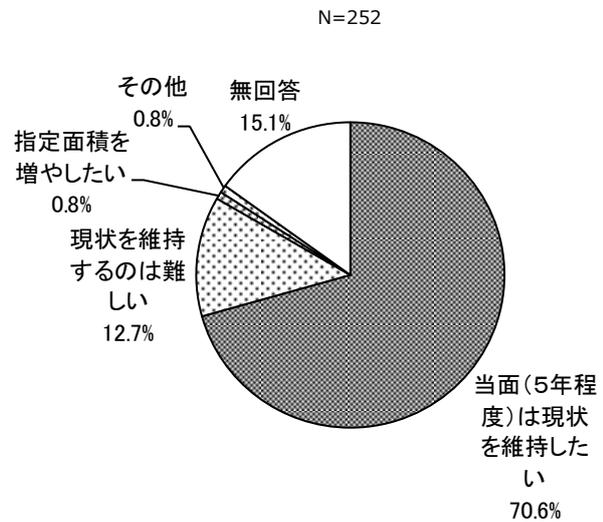


N=42 (記入 35)

転用の理由 (原文ママ)	
アパート、店舗	宅地化
事業を行うため。	相続売却
土地売買 (袋地の為)	相続
病気	相続
相続	収入を得たい。
収用	縮小
集合住宅新築のため	生産緑地の指定を受けていず、固定資産税納税の為。
売却	相続
経済的事情	不動産
相続	相続
相続の為、売却。	宅地化農地だったため。
相続	計画道路の収用の為。
相続	相続税支払の為。
売却	相続
相続	相続税のため。
相続税支払のため。	相続
税金支払い、生活のため	不動産活用
子供の家	

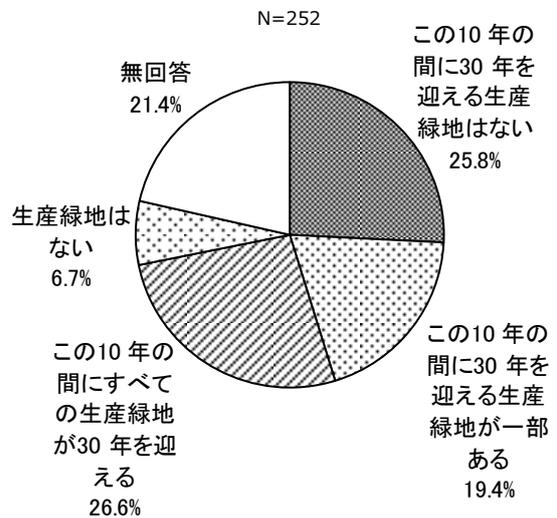
問 17 指定を受けている生産緑地指定農地について、当面（5年間程度）の意向で、あてはまるもの1つを選んでください。

生産緑地指定農地の意向は、「当面（5年程度）は現状を維持したい」が70.6%と多く、わずかですが、「指定面積を増やしたい」が0.8%とする一方で、12.7%が「現状を維持するのは難しい」と回答しています。



問 18 今後 10 年の間に、買取申出ができる指定後 30 年を迎える生産緑地についてお聞きます。あてはまるものを1つを選んでください。

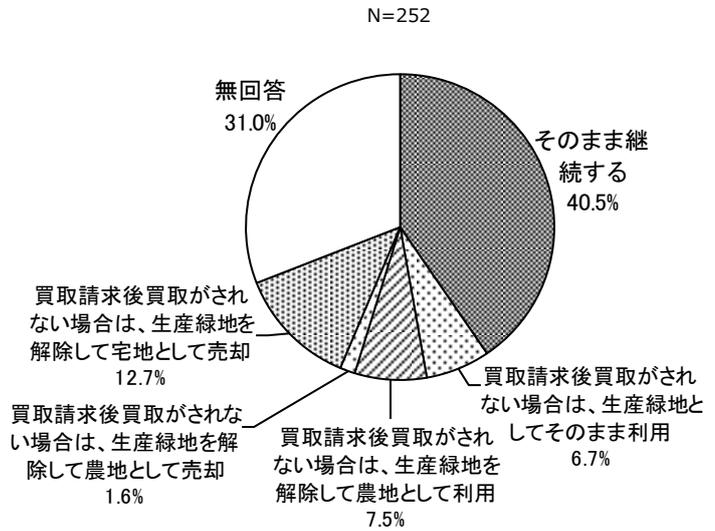
指定後 30 年を迎える生産緑地については、「この 10 年の間にすべての生産緑地が 30 年を迎える」が 26.6%、「この 10 年の間に 30 年を迎える生産緑地が一部ある」19.4%であり、「この 10 年の間に 30 年を迎える生産緑地はない」が 25.8%となっています。



問 19 生産緑地指定から 30 年経過した農地をあなたはどのようにしますか。あてはまるものを 1 つ選んでください。

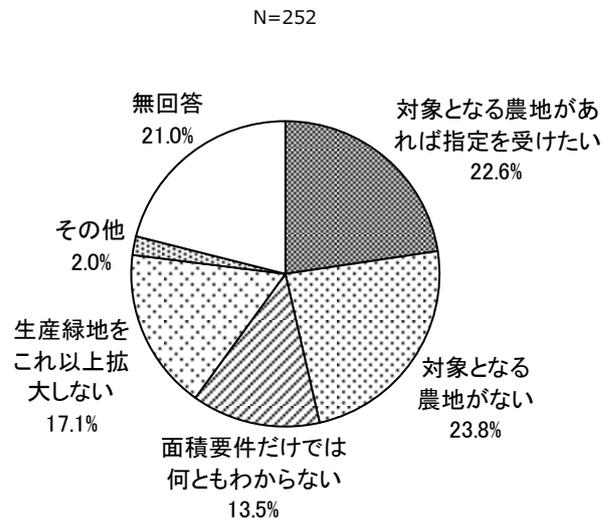
「そのまま継続する」が 40.5%と特に多く、相続税納税猶予農地となっていることも要因として想定されますが、「無回答」も多い結果となっています。

買取請求後買取されない場合の対応では、「生産緑地として利用」が 6.7%、「生産緑地を解除して農地として利用」が 7.5%とする一方で、「生産緑地を解除して農地として売却」が 1.6%、「生産緑地を解除して宅地として売却」が 12.7%を占めています。



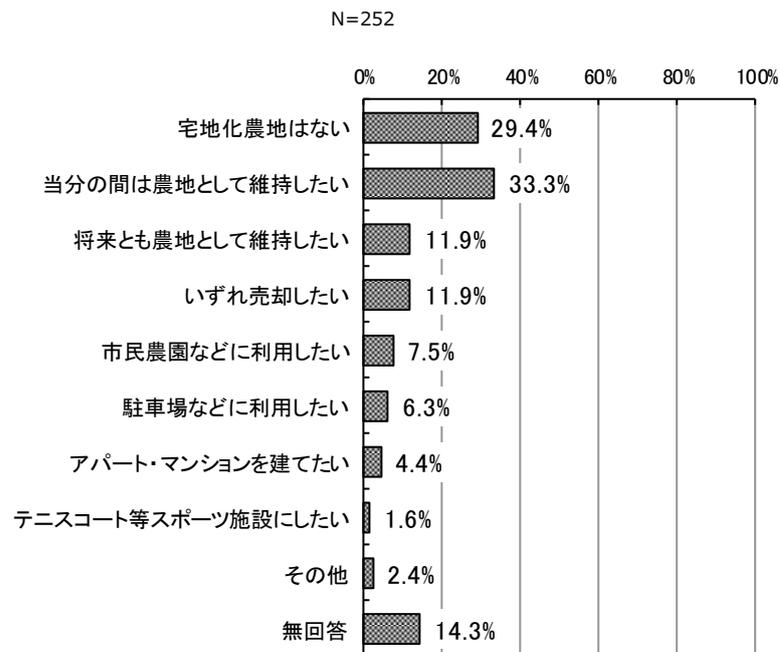
問 20 今後、生産緑地制度の指定面積要件（500 m²）が緩和され小規模でも可能であればあなたはどのようにしますか。 1 つ選んでください。

生産緑地制度の指定面積要件が緩和された場合については、「対象となる農地があれば指定を受けたい」が 22.6%ですが、「対象となる農地がない」が 23.8%、「生産緑地をこれ以上拡大しない」が 17.1%、「面積要件だけでは何ともわからない」が 13.5%となっています。



問 21 「宅地化農地」の活用法について、1～9から選んでください。なお、「1. 宅地化農地はない」以外の方は、2～9から3つ選んでください。

宅地化農地の活用については、「当分の間は農地として維持したい」が33.3%で多く、「将来とも農地として維持したい」が11.9%、「市民農園などに利用したい」が7.5%と続いています。また、「いずれ売却したい」が11.9%、「駐車場などに利用したい」が6.3%とする回答もあります。

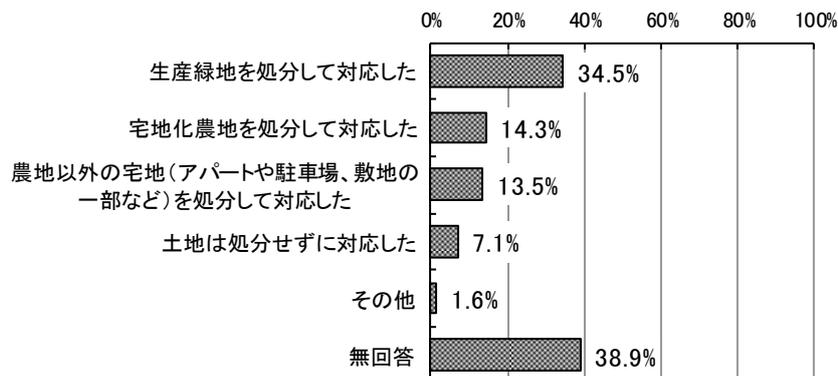


問 22 平成4年に新生産緑地法が施行されましたが、相続が発生した場合、どのように対応しましたか、また対応すると思いますか。あてはまるものすべてを選んで、面積等を記入してください。

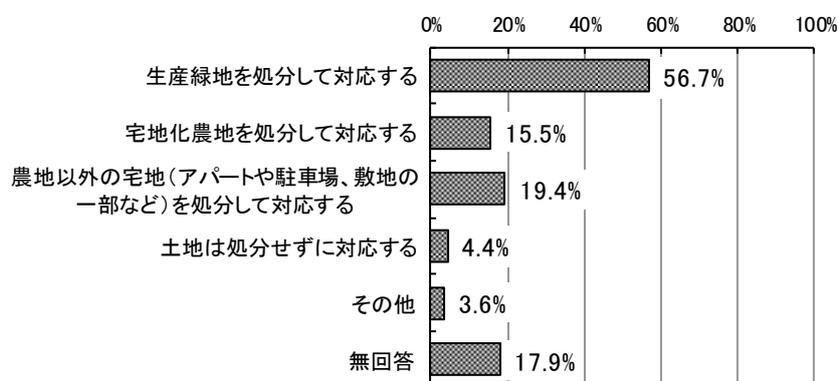
相続の対応について、平成4年1月1日以降に相続が発生した方の場合は、「生産緑地を処分して対応した」が34.5%と多く、次いで「宅地化農地を処分して対応した」が14.3%、「農地以外の宅地（アパートや駐車場、敷地の一部など）を処分して対応した」が13.5%となっています。

今後、相続が発生した場合の対応は「生産緑地を処分して対応する」が56.7%で特に多く、次いで「農地以外の宅地（アパートや駐車場、敷地の一部など）を処分して対応する」が19.4%、「宅地化農地を処分して対応する」が15.5%を占め、相続時に農地を売却せざるを得ない状況があります。

【平成4年1月1日以降に相続が発生した方の場合】 N=252

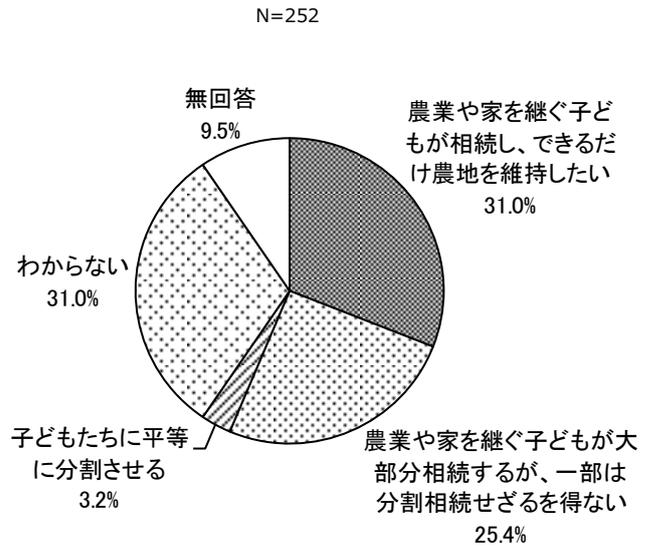


【今後相続が発生する場合】 N=252



問 23 相続に伴う農地の分割・維持について、1つ選んでください。

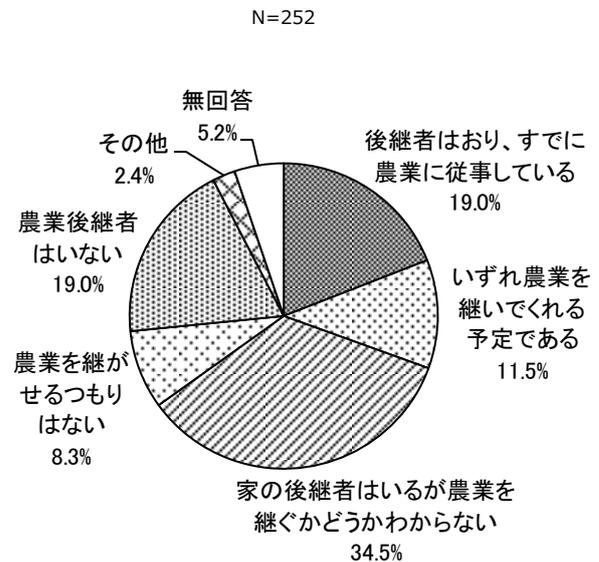
相続に伴う農地の分割・維持については、「農業や家を継ぐ子どもが相続し、できるだけ農地を維持したい」が31.0%で多く、「農業や家を継ぐ子どもが大部分相続するが、一部は分割相続せざるを得ない」が25.4%、「子どもたちに平等に分割させる」が3.2%と続いています。また、「わからない」とする回答も31.0%あります。



農業の担い手について

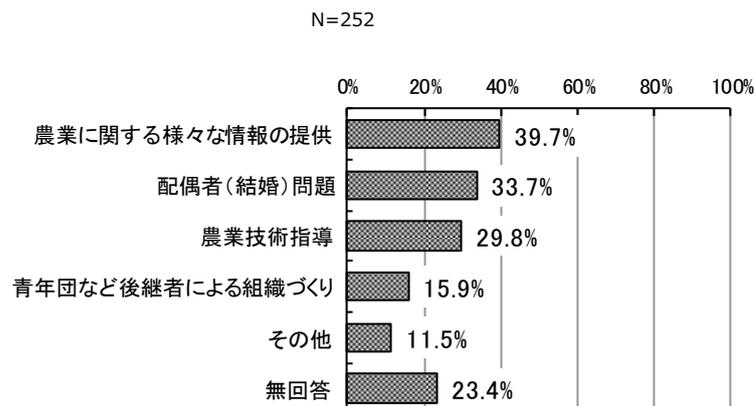
問 24 後継者の農業従事状況についてあてはまるものを1つ選んでください。

「家の後継者はいるが農業を継ぐかどうかわからない」が 34.5%と多く、「後継者はおり、すでに農業に従事している」が 19.0%、「いずれ農業を継いでくれる予定である」が 11.5%となっており、3割程度の農家で後継者がいる状況が考えられます。



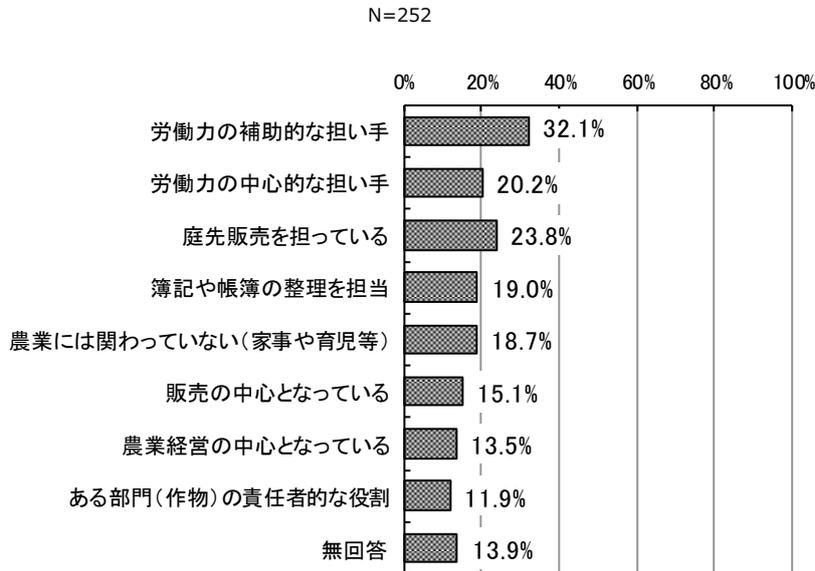
問 25 農業後継者を育てるために必要と思われることを2つ選んでください。

農業後継者を育てるために必要と思われることは、「農業に関する様々な情報の提供」が 39.7%で多く、「配偶者（結婚）問題」が 33.7%、「農業技術指導」29.8%、「青年団など後継者による組織づくり」が 15.9%で続いています。



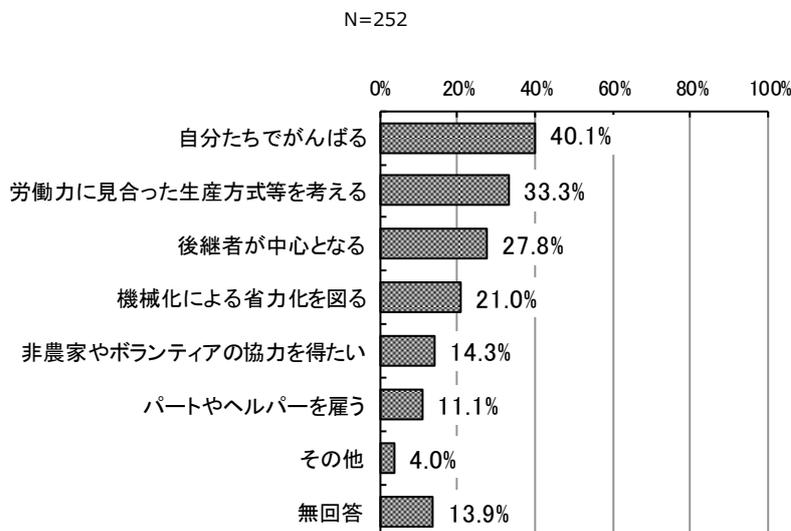
問 26 あなたの家の女性の役割について、あてはまるものいくつでも選んでください。

「労働力の補助的な担い手」が 32.1%で多くなっており、「庭先販売を担っている」「労働力の中心的な担い手」「簿記や帳簿の整理を担当」が各 20%前後を占めています。また、「農業には関わっていない(家事や育児等)」が 18.7%となっています。



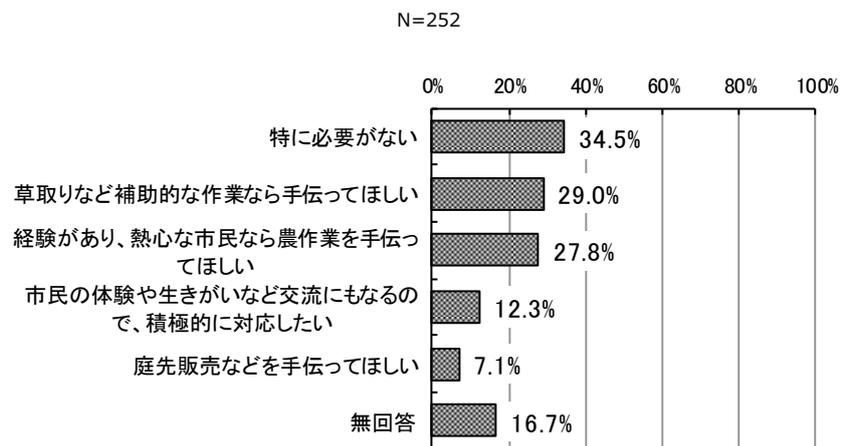
問 27 今後の農業の担い手や労働力について、あてはまるものいくつでも選んでください。

「自分たちでがんばる」が 40.1%で多く、「労働力に見合った生産方式等を考える」が 33.3%、「後継者が中心となる」が 27.8%で続いています。また、「非農家やボランティアの協力を得たい」「パートやヘルパーを雇う」とする意向も各 10%強となっています。



問 28 市民による農作業の手伝いについて、あてはまるものいくつでも選んでください。

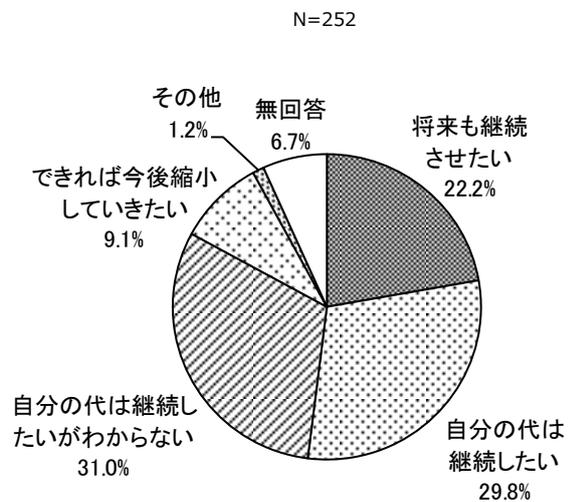
「特に必要がない」が 34.5%と多くなっていますが、「草取りなど補助的な作業なら手伝ってほしい」「経験があり、熱心な市民なら農作業を手伝ってほしい」が各 28%前後、「市民の体験や生きがいなど交流にもなるので、積極的に対応したい」とする回答も 12.3%あり、市民との結びつきも求められます。



農業経営について

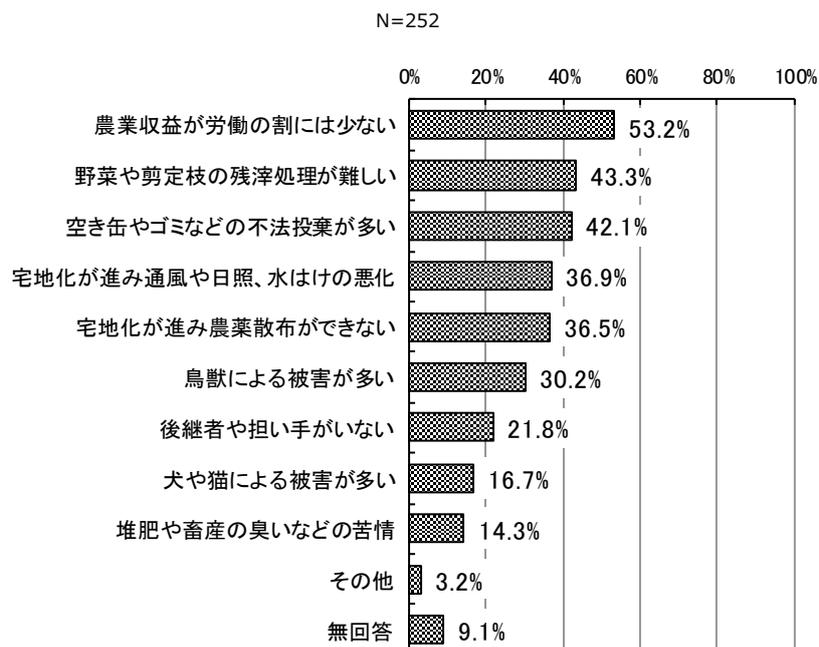
問 29 あなたは、今後の農業についてあてはまるものを1つ選んでください。

「自分の代は継続したい」が29.8%、「将来も継続させたい」が22.2%であり、「自分の代は継続したいがわからない」の31.0%を合わせると、8割の農家が継続意向を示しています。一方で、「できれば今後縮小していきたい」が9.1%であり、今後1割程度の農家の減少が想定されます。



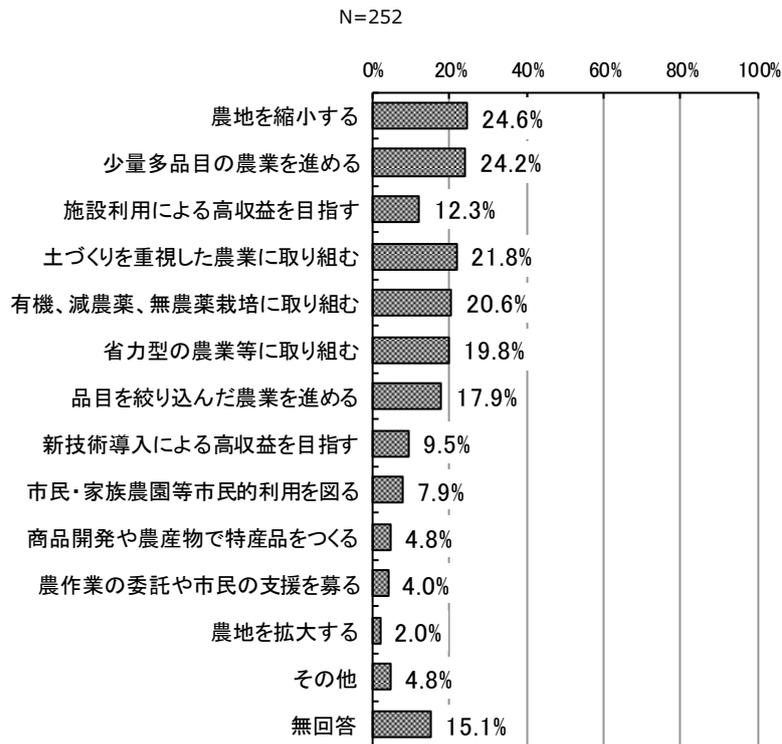
問 30 農業を行っていく上で困っていることはありますか。あてはまるものをいくつでも選んでください。

「農業収益が労働の割には少ない」が53.2%で多く、次いで「野菜や剪定枝の残滓処理が難しい」が43.3%であり、また、「空き缶やゴミなどの不法投棄が多い（42.1%）」「宅地化が進み通風や日照、水はけの悪化（36.9%）」「宅地化が進み農薬散布ができない（36.5%）」と、宅地化に伴う影響もあります。



問 31 今後の農業経営の方向について、あてはまるものをいくつでも選んでください。

「農地を縮小する (24.6%)」「少量多品目の農業を進める (24.2%)」「土づくりを重視した農業に取り組む (21.8%)」「有機、減農薬、無農薬栽培に取り組む (20.6%)」「省力型の農業等に取り組む (19.8%)」が 20%前後を占めており、農地の縮小傾向はありますが、安全な農産物の生産意向が伺えます。



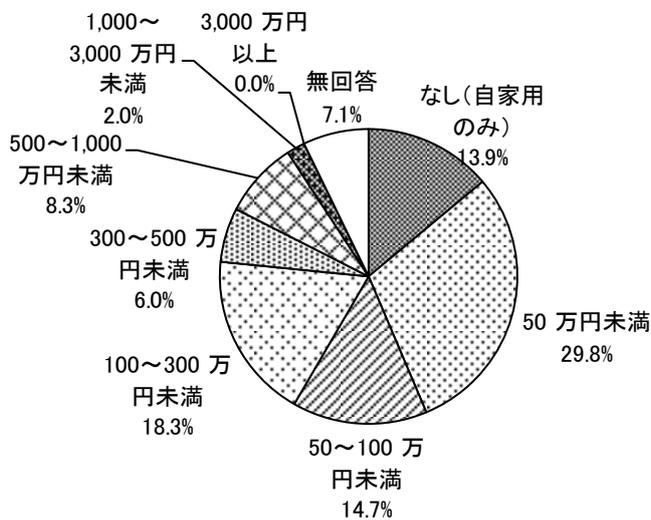
問 32 あなたの家の年間の農業所得と不動産所得を、それぞれ1つ選んでください。

(所得は、収入から専従者給与以外の必要経費を除いたものです)

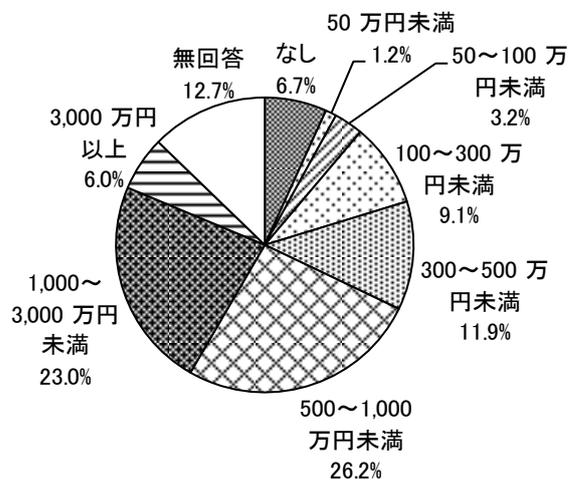
年間農業所得は、「50万円未満」が29.8%で最も多く、「100～300万円未満」が18.3%、「50～100万円未満」が14.7%、「500～1,000万円未満」が8.3%で続いており、「なし(自家用のみ)」が13.9%となっています。わずかですが「1,000～3,000万円未満(2.0%)」の回答もあります。

年間不動産所得は、「500～1,000万円未満」が26.2%で多く、次いで「1,000～3,000万円未満」が23.0%、「300～500万円未満」が11.9%となっています。

【(1) 農業所得】 N=252



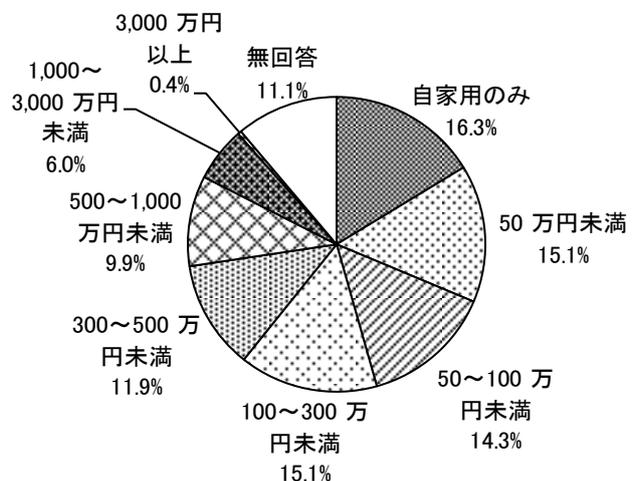
【(2) 不動産所得】 N=252



問 33 今後の農業所得の目標額を1つ選んでください。

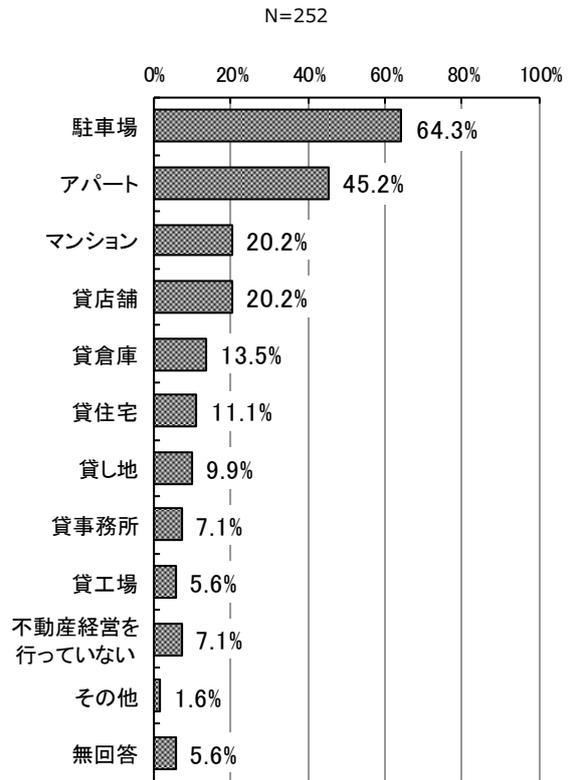
今後の農業所得の目標額は、「50万円未満」「100～300万円未満」「50～100万円未満」が各15%前後、「300～500万円未満」が11.9%、「500～1,000万円未満」が9.9%となっており、「1,000～3,000万円未満(6.0%)」「3,000万円以上(0.4%)」とする回答もあります。一方で「自家用のみ」が16.3%となっています。

N=252



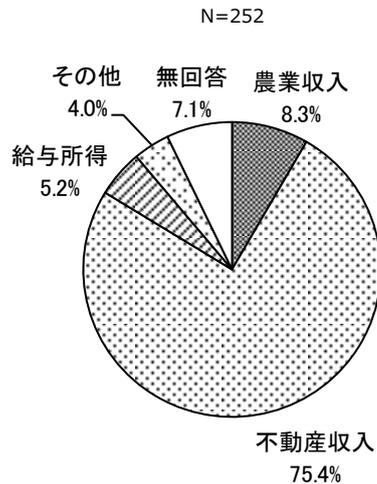
問 34 あなたは不動産経営を行っていますか。あてはまるものをいくつでも選んでください。

不動産経営については、「駐車場」が64.3%で最も多く、「アパート」が45.2%で続き、「マンション」「貸店舗」が各20.2%、「貸倉庫」が13.5%、「貸住宅」が11.1%となっています。



問 35 あなたの世帯の最も多い収入は何ですか。1つを選んでください。

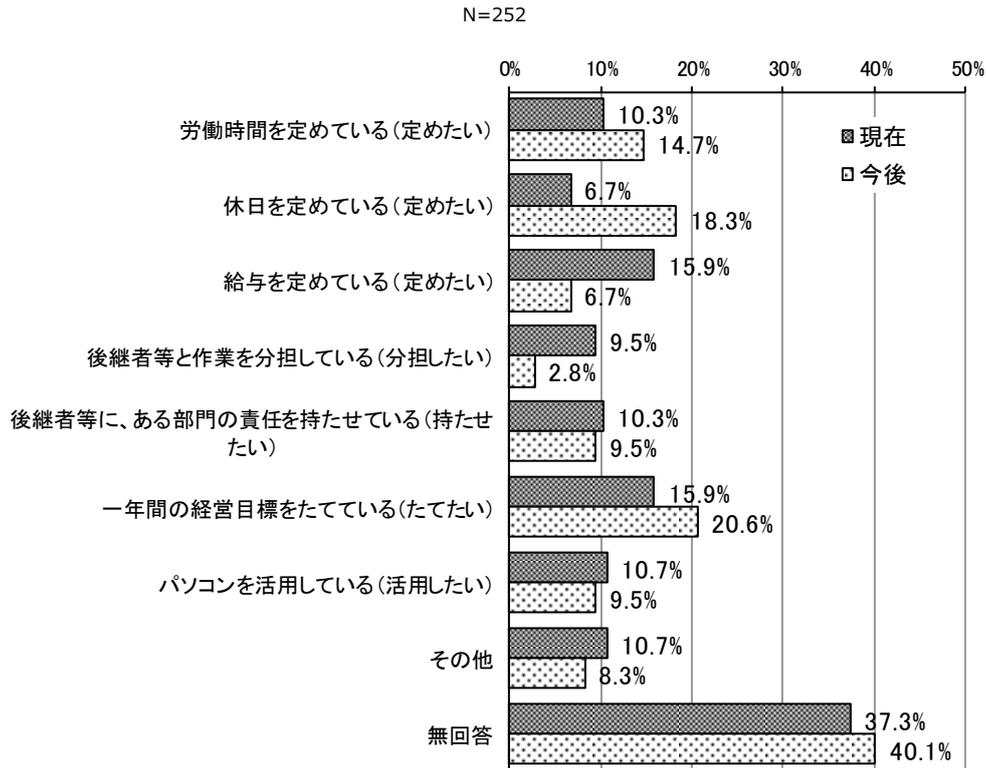
世帯で最も多い収入は、「不動産収入」が75.4%で特に多く、「農業収入」が8.3%、「給与所得」が5.2%で続いています。



問 36 現在、農業経営で実行していることは何ですか。また、今後どう考えますか。あてはまるものをいくつでも選んでください。

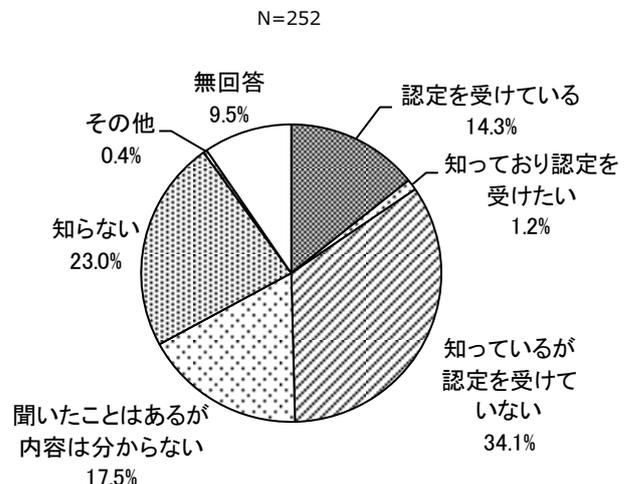
農業経営で実行していることについて、現在は、「給与を定めている」「一年間の経営目標をたてている」が各 15.9%、次いで「パソコンを活用している」が 10.7%、「労働時間を定めている」「後継者等に、ある部門の責任を持たせている」が各 10.3%となっています。

今後は、「一年間の経営目標をたてたい（販売額・所得など）」が 20.6%で多く、「休日を定めたたい」が 18.3%、「労働時間を定めたたい」が 14.7%で続いています。



問 37 認定農業者制度について、ご存知でしょうか。1つ選んでください。

認定農業者制度は、「認定を受けている」が 14.3%ですが、「知っているが認定を受けていない」が 34.1%と多く、「聞いたことはあるが内容は分からない」が 17.5%、「知らない」が 23.0%となっており、制度の周知が重要です。



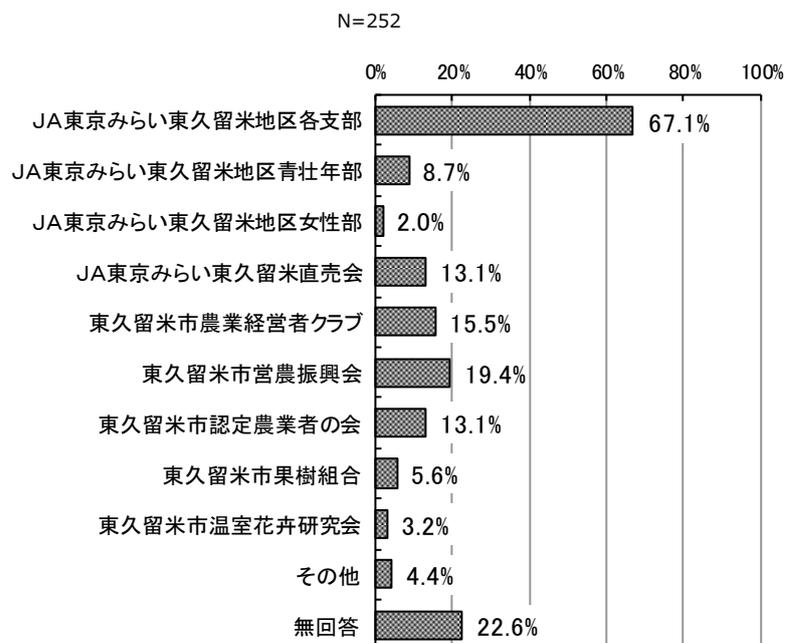
問 38 最近（5年間の間）取り組んだ新たな取り組みを記入してください。

N=36

最近（5年間の間）取り組んだ新たな取り組み（原文ママ）
直売所
果物の販売
庭先販売
認定農業者の認定を受け、ビニールハウスを建てた。
東京都の補助事業でハウスを立て、施設野菜も始めた。
直売所
自分で親から受けた農業を毎日行う様になった。以前は勤めていて、農業は土日しか出来なかった。
ハウス
マクワウリを作り庭先で販売。
新品種の導入
スーパー販売
庭先販売
確定申告の為、帳簿をパソコンに替えた。
直売所
パイプハウスの導入
トマト、ミニトマト
相続したばかりなので特にない。これから考える。
ビニールハウスを導入
直売所
パワーアップ事業での、施設ハウスの増設。
JA 直売
パートさんを雇った。
直売所の設置
口コミによる販売の拡大。
直売用の野菜の生産を増やした。
庭先販売（不定期）
直売所
・市内保育園の子供達による収穫体験 ・希望者による梨狩り、ブドウ狩りの実施 ・大学生達による仕事のボランティア
直売所
直売所
有機栽培
夏場のビニールによる太陽熱消毒。
宅急便を利用した。生花店への直送体制の構築。
トマト用の大型ハウスの導入。野菜残滓処理のため、ハンマー、ナイフ、カッターの導入。こだわり野菜の市場への出荷。
体験農園
新しいかわった作物を栽培してみる。さつまいもの掘り体験（幼稚園、保育園等）。

問 39 あなたの加入している団体等について、あてはまるものをいくつでも選んでください。

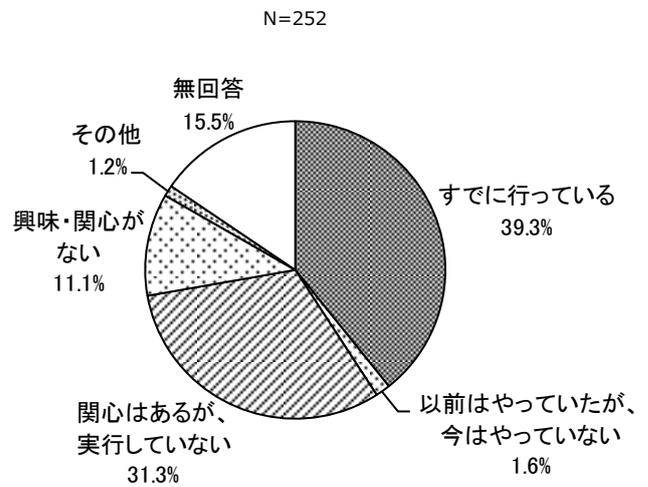
加入している団体等は、「JA東京みらい東久留米地区各支部」が67.1%、「東久留米市営農振興会」が19.4%、「東久留米市農業経営者クラブ」が15.5%、「JA東京みらい東久留米直売会」「東久留米市認定農業者の会」が各13.1%となっています。



環境にやさしい農業（環境保全型技術）を導入した生産について

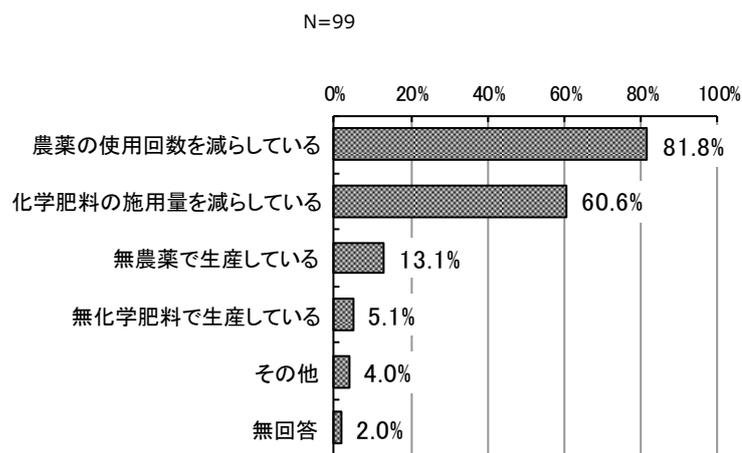
問 40 あなたは「環境にやさしい農業」に関心がありますか、あてはまるものを1つ選んでください。

環境にやさしい農業について、「すでに行っている」が39.3%となっており、「関心はあるが、実行していない」が31.3%、「興味・関心がない」が11.1%を占めています。



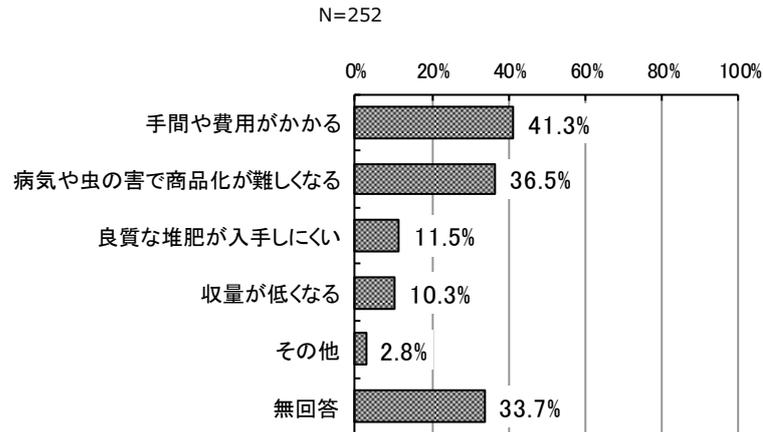
問 41 問 40 で「1. すでに行っている」と回答された方に伺います「環境にやさしい農業」を行うにあたり、どのようなことに注意されていますか。あてはまるものいくつでも選んでください。

環境にやさしい農業への注意については、「農薬の使用回数を減らしている」が81.8%で多く、「化学肥料の施用量を減らしている」が60.6%、「無農薬で生産している」が13.1%、「無化学肥料で生産している」が5.1%が続いています。



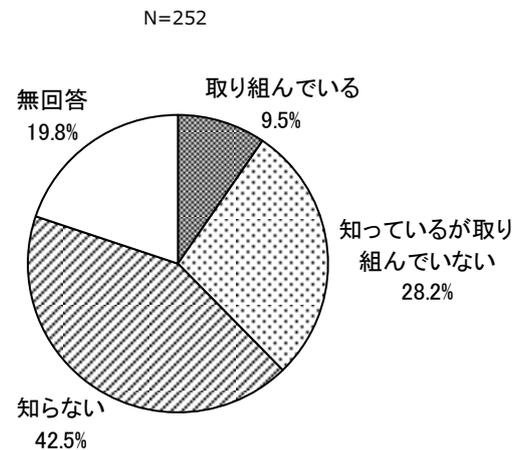
問 42 「環境にやさしい農業」を実行しにくい理由は何でしょうか。あてはまるものいくつでも選んでください。

環境にやさしい農業を実行しにくい理由は、「手間や費用がかかる」が41.3%、「病気や虫の害で商品化が難しくなる」が36.5%で多く、「良質な堆肥が入手しにくい」が11.5%、「収量が低くなる」が10.3%で続いています。



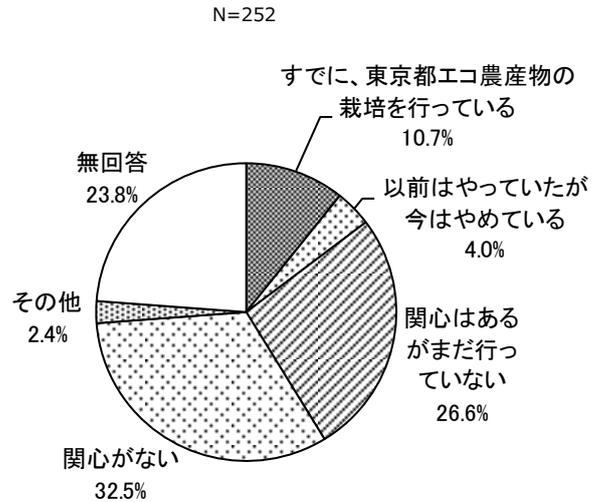
問 43 東京都が平成 25 年度から進めている「東京都エコ農産物認証制度」について、1つ選んでください。

東京都エコ農産物認証制度について、「知らない」が42.5%で特に多く、「知っているが取り組んでいない」が28.2%、「取り組んでいる」は9.5%となっており、制度の周知が大切です。



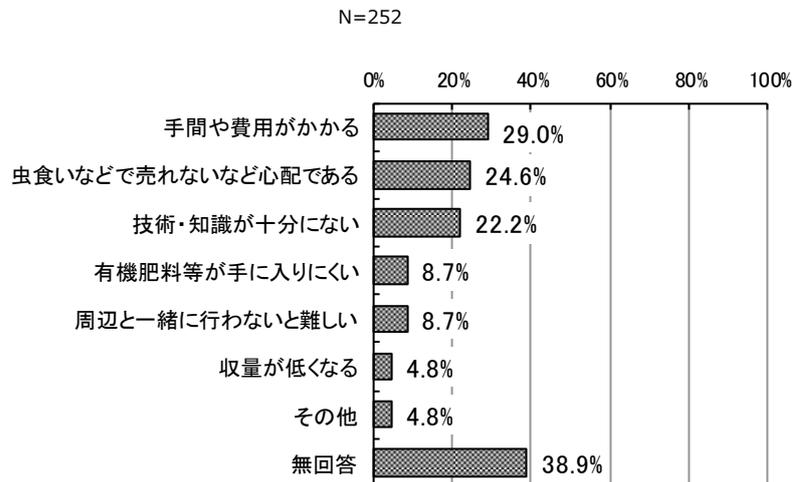
問 44 あなたは東京都エコ農産物に関心がありますか。1つ選んで下さい。

東京都エコ農産物の関心について、「関心がない」が 32.5%で多く、「関心はあるがまだ行っていない」が 26.6%、「すでに、東京都エコ農産物の栽培を行っている」が 10.7%となっています。



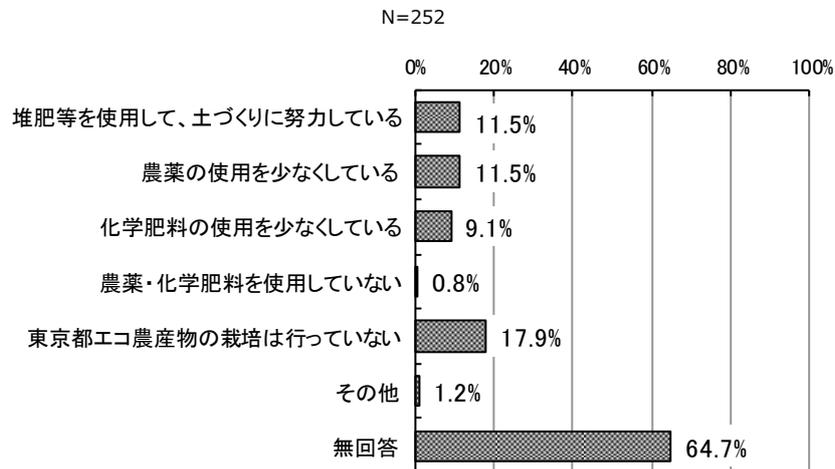
問 45 東京都エコ農産物の問題点についてどのようにお考えですか。2つ選んでください。

東京都エコ農産物の問題点については、「手間や費用がかかる」が 29.0%で多く、次いで「虫食いなどで売れないなど心配である」が 24.6%、「技術・知識が十分でない」が 22.2%となっています。



問 46 東京都エコ農産物であなたは、どのような努力をされていますか。あてはまるものいくつでも選んでください。

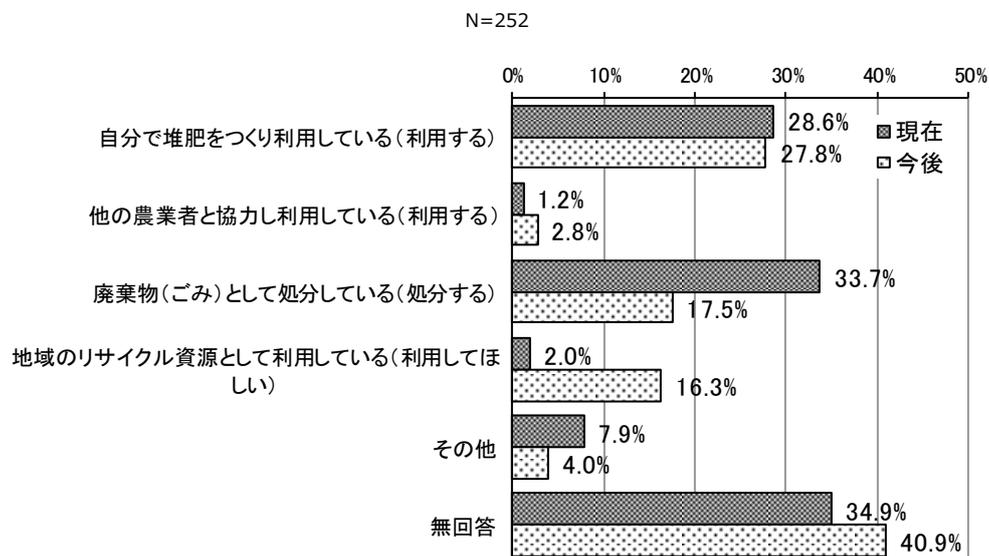
東京都エコ農産物への努力について、「堆肥等を使用して、土づくりに努力している」「農薬の使用を少なくしている」が11.5%、「化学肥料の使用を少なくしている」が9.1%となっています。



問 47 野菜の残さ、畜産の糞尿、植木・果樹の剪定枝などを材料にした堆肥づくりについて、どのようにしていますか。また今後どのようにしたいと考えていますか、あてはまるものをそれぞれいくつでも選んでください。

堆肥づくりについて、現在は、「廃棄物（ごみ）として処分している」が33.7%で多く、「自分で堆肥をつくり利用している」が28.6%となっています。

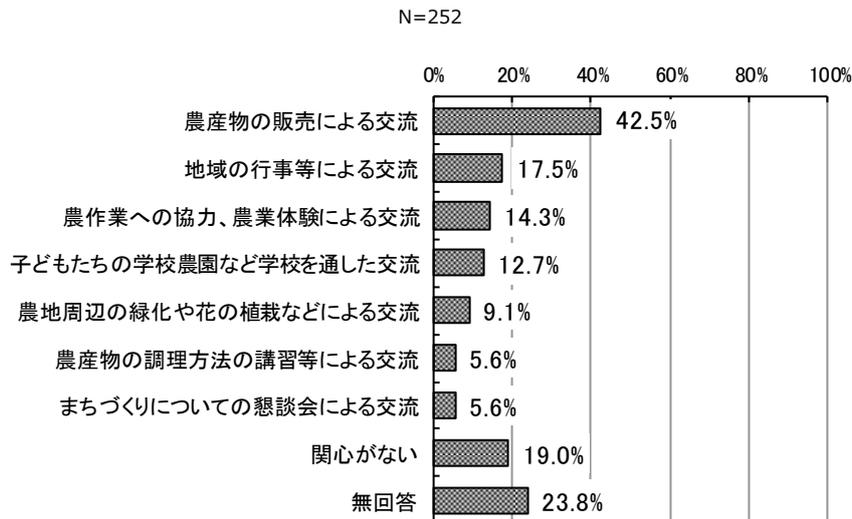
今後は、「自分で堆肥をつくり利用する」が27.8%と多く、「廃棄物（ごみ）として処分する」が17.5%、「地域の生ごみとともにリサイクル資源として利用してほしい」が16.3%で続いており、環境意識の高まりが伺えます。



地域住民との交流やこれからの都市農業について

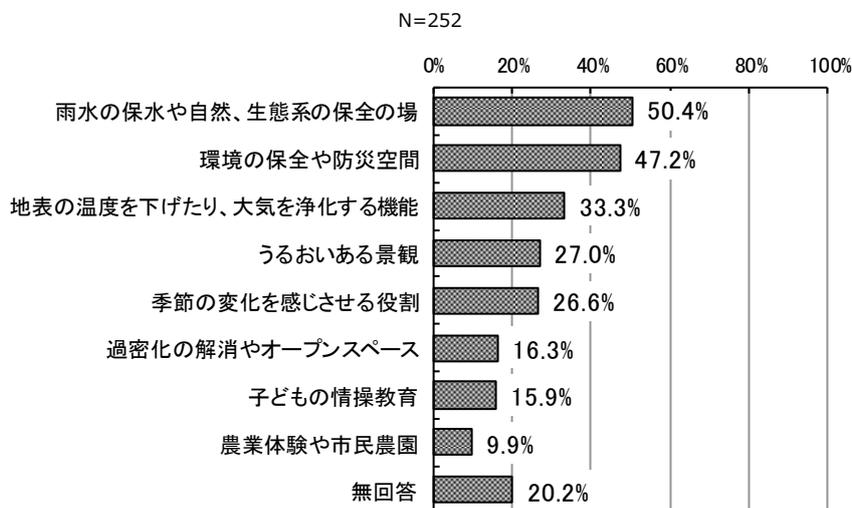
問 48 地域住民とのふれあいについて望むことをいくつでも選んでください。

「農産物の販売による交流」が 42.5%で特に多く、「地域の行事等による交流（17.5%）」「農作業への協力、農業体験による交流（14.3%）」「子どもたちの学校農園など学校を通じた交流（12.7%）」「農地周辺の緑化や花の植栽などによる交流（9.1%）」が続き、販売だけでなく、地域行事や体験等による交流を拡げていくことも大切です。



問 49 都市農業や農地は農産物の生産だけでなく、都市生活の中で様々な役割を果たしています。大切だと思う役割を3つ選んでください。

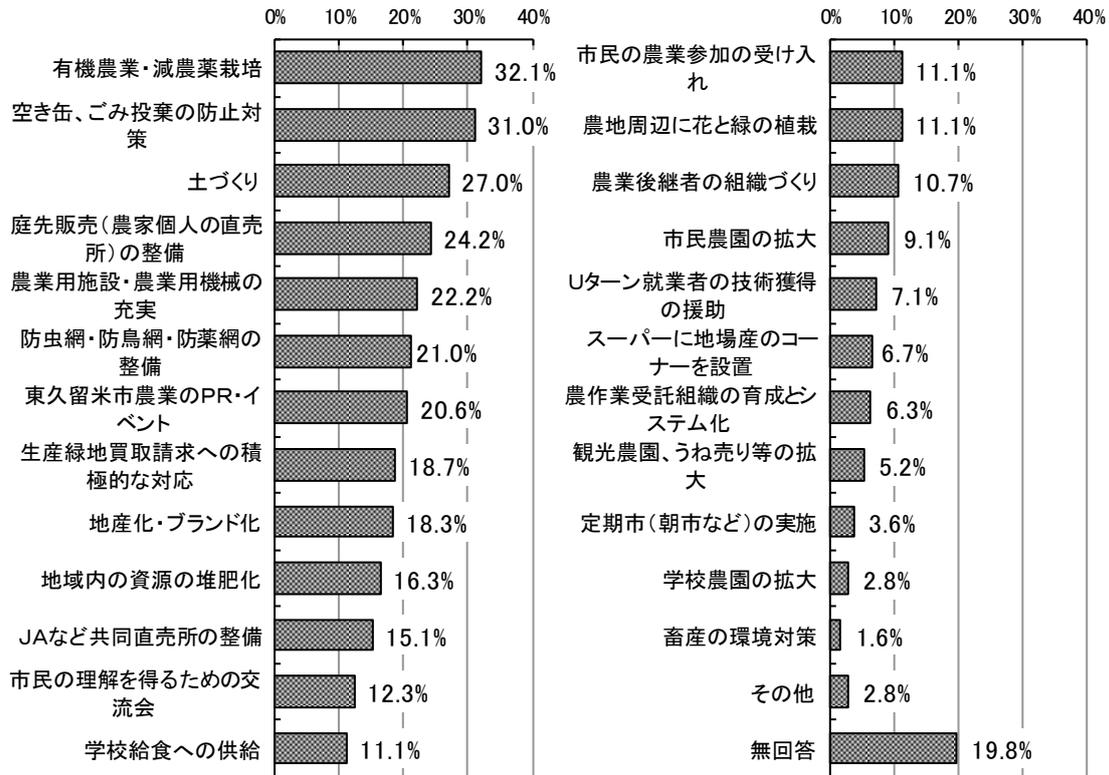
「雨水の保水や自然、生態系の保全の場」が 50.4%、「環境の保全や防災空間」が 47.2%で多く、「地表の温度を下げたり、大気を浄化する機能(33.3%)」「うるおいある景観(27.0%)」「季節の変化を感じさせる役割(26.6%)」が続いており、自然環境や防災に対する回答が多く見受けられます。



問 50 今後の農業施策で重視して欲しいものを、5つ選んでください。

「有機農業・減農薬栽培」「空き缶、ごみ投棄の防止対策」が各30%強、「土づくり」が27.0%、「庭先販売（農家個人の直売所）の整備」が24.2%、「農業用施設・農業用機械の充実」が22.2%、「防虫網・防鳥網・防薬網の整備」が21.0%、「東久留米市農業のPR・イベント」が20.6%で続いています。環境に配慮した農業への施策が上位を占めています。

N=252



問 51 今後、市民とともに東久留米農業を発展させるためにはどのようなことが必要とお考えですか。ご意見、ご提案等あれば、ご自由にお書きください。

37 票（人）・49 件のご意見等がありました。

意見等（原文ママ）
枯れ草の焼却について市民の理解が欲しい。
道の駅のような直売所の設置。
販売価格が高くても買える所得にする。
住宅地や農地（集約化）の整備などの街づくり
農業の大切さ、農地が金銭に換算できない大きな恵みを作っていることを子供たちに伝えてほしい。そうすれば、空缶、ペットボトル、ごみの不法投棄が減ると思う。又、プラスチック類の害の教育もお願いしたい（ビニールひも等、簡単に捨てられているが永久に腐らない）。
他から来られた方などの苦情が多く、農業発展どころではない！
専業で生計をたてられるのは一握である。兼業者の農地をどう保持していくか、市民の理解と農家の自覚、共に認め合う関係づくり。
農地を残す事、農業所得を増す事を考える。農業者組織と農業委員会（行政）の間で、東久留米の農業提案を市長へ出す。
相続で農地が売られると隣接の農地の耕作が厳しくなる。一度失われた農地は元には戻らない。国に働きかけて、相続税の廃止に全力をあげる等しないと農地が皆無になる。
家族経営から第三者が経営に加われる環境の整備。
農業を中心としてコミュニティ作り。
アンケート調査内容がむずかしい。
市民との交流の場を拡げていくことが必要と思う。
少子高齢化による後継不足。
宅地化、ベッドタウン化の進行だけでなく、「地産地消」の宅地化を望みます。
農地の転用を抑制するため、相続税納税猶予制度、生産緑地制度等を堅持し、指定等を推進する。
後継者（団体）への支援を強化し、担い手の確保、育成を図る。
都市環境と調和した農業技術、経営モデル等について研究し、その普及等を図る。
農家の代表である農業委員会を現制度（準公選制）のまま存続させる。
行政と JA 組織、商工会、市民（団体）との連携強化を図る。
六仙公園内に東久留米の農業を PR できるコーナーの設置。例：直売所、レストラン（体験型含む）、農業体験できるコーナー（主に小・中学生向け）。※都に働きかける事が重要（市、JA）
農地や農業の持つ多面的機能を市民に PR する。
農地に対する税制の勉強会の開催（市民と農業後継者）。
相続税猶予期間を終生から 30 年～25 年程度に短縮すべき。社会変動により、終生までの見通しが立てられない状況であるため。
相続税。
周辺住民の方々による農業への理解と関心をもっと深めていく必要があると考える。そのために生産者各々が手間隙をかけて交流やコミュニケーションをとっていかなければならない。
相続税の改革。相続後も生産緑地として使用する農地は、相続税計算に際し、宅地として計算せずに、農地の価額で評価してほしい。住宅だらけのまちは、いりません。
東久留米農業の特産物開発。トマト、中玉トマト、赤青黄白黒トマトカロチン世界一多い。大根、小カブ、おろし大根、赤青黄黒、ワサビ大根。東久留米カボチャ、東瓜西瓜南瓜冬瓜。ゴーヤ、苦味少ない、千成萬

成、東久留米人参。
市の固定資産税が非常に高い。古くからある道路が穴ぼこで少しもよくなる。どこに大金を使っているのか、市長が変わっても中味は変わらないです。
生産緑地の緑地空間としての管理と理解と協力。都市の生産緑地としては、空気と景観の生産こそが最も大事ではないかと思います。
JAの抜本的改革。行政の農業に対する積極的な取り組み。
市内の落葉を1ヶ所に集めて堆肥化して農家に供給する(水をかけてアンモニアを加えて切替すと良質な堆肥がすぐ出来る)、柳泉園の中へ作る。
機械のリースやうけおいを活発に行う施設を作る。施設の補助を拡大する。
生産緑地の不耕作面積を徹底的に指導すること。
地元で生産された野菜などの直売所の設置。
有機野菜などのブランド差別化。柳久保小麦の復活。
質問内容について、実態に合っていない項目が多く、回答出来ないものが多かった。
農業体験を通してふれ合いと理解を深める。
川と農地が合った街並の整備、景観の重視。
直売所。大きなスペースで。
農地周辺に緑の植栽など積極的に行い、市内の景観を整えて、住民に安らぎを与えるようにする。結果的に農地の大切さを感じると思う。畑所有者に無料で景観のための植木を配布する(但し、虫など付きにくい植木)。
東久留米の基盤産業を農業とし、そこから生まれる農産物を商業との連携で商品化する。イメージは水と緑の豊かさと、都心から近い場所で生み出される宝物。農業だけ発展するという事は不可能で、全体的に豊かになるためにはどうするかを考える必要がある。
野菜作り(物作り)の難しさ、大変さを知ってもらう。
後継者の確保(魅力ある農業社会にする)。
・相続税の納税猶予が終生であることが不安です。相続が発生したら、今までの生産緑地を解除してしまいます。次の世代の者が終生農地を耕作しつづけられるか心配であるからです。20年の納税猶予に戻してください。・相続税法が今年より厳しくなり(譲渡税、相続人の控除額)、ますます相続のため農地を手放すことになると思います。少なくとも譲渡税は相続のために、売買する時はなくしてほしいです。
各種団体に入会していないと、購入できない資材や補助金の通知を徹底してほしいです。→補助金がなぜ一般の農家には出ないのか不思議です。
各農業団体に加入されていない農家にもっと目を向けるべきである。加入されていない農家こそが東久留米農業を守っていくと思います。
市が行っている補助事業の広く浅くよりも、効果を考えると、重点拡大が良いかも知れない。
学校給食でアピール。

2. 市民意向調査

回答者の属性

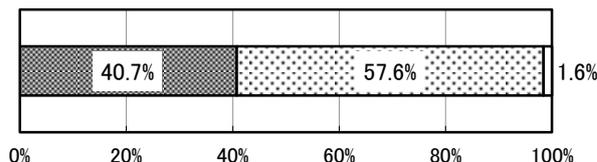
問 30 あなたの性別はどちらですか。また、結婚をされているかどうか、該当するものに○を記入してください。

回答者の性別は、「女」が57.6%、「男」が40.7%となっています。

未既婚は、男性回答者は、「既婚」が72.7%、女性回答者は、「既婚」が80.6%となっています。

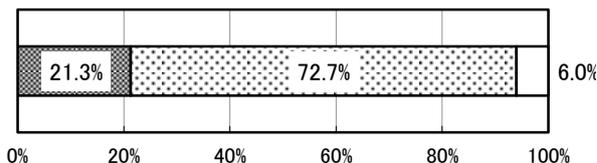
【性別】 N=1,645

■男 □女 □無回答・不明



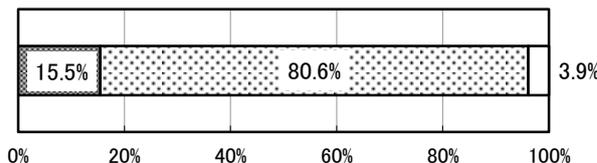
【未既婚（男）】 N=670

■未婚 □既婚 □無回答



【未既婚（女）】 N=948

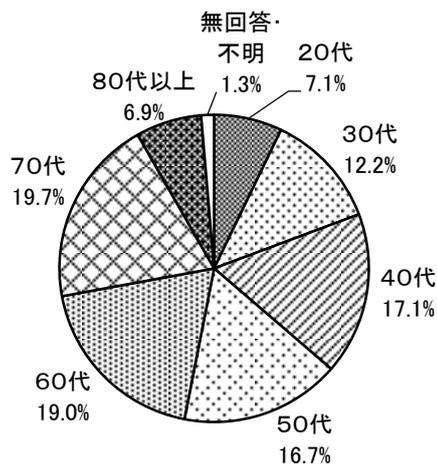
■未婚 □既婚 □無回答



問 31 あなたの年齢を選んでください。

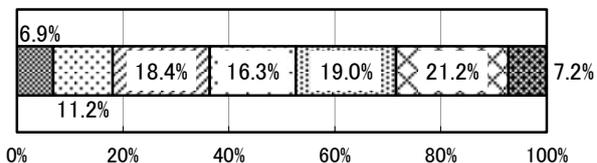
年齢は、「60代」「70代」が各20%程度、「40代」「50代」が各17%前後、30代が12.2%、「20代」「80代以上」が7%前後となっています。

【年齢】 N=1,645



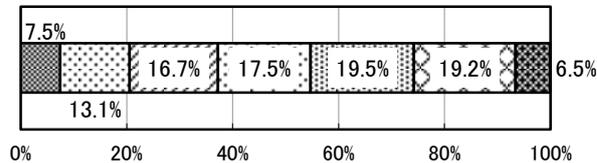
【年齢（男）】 N=670

■20代 □30代 □40代 □50代
■60代 □70代 ■80代以上



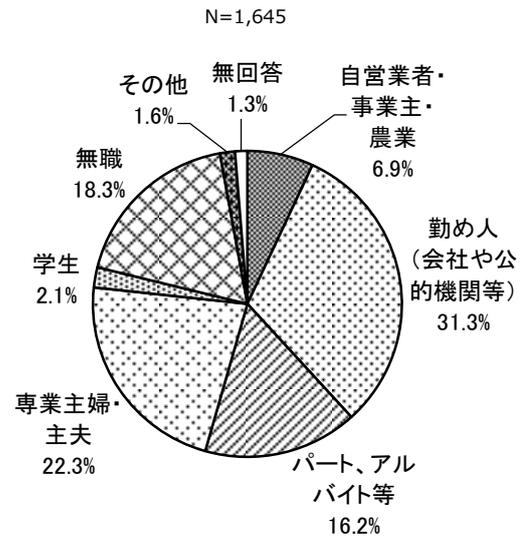
【年齢（女）】 N=948

■20代 □30代 □40代 □50代
■60代 □70代 ■80代以上



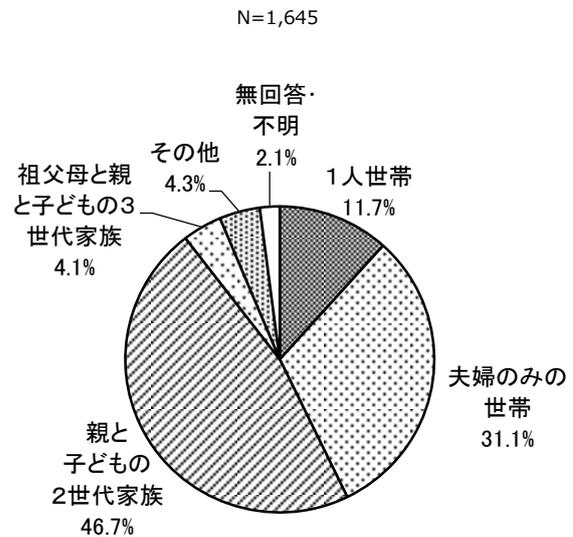
問 32 あなたの職業は何ですか。

職業は、「勤め人（会社や公的機関等）」が 31.3%、「専業主婦・主夫」が 22.3%、「無職」が 18.3%、「パート・アルバイト等」が 16.2%、「自営業者・事業主・農業」が 6.9%、「学生」が 2.1%となっています。



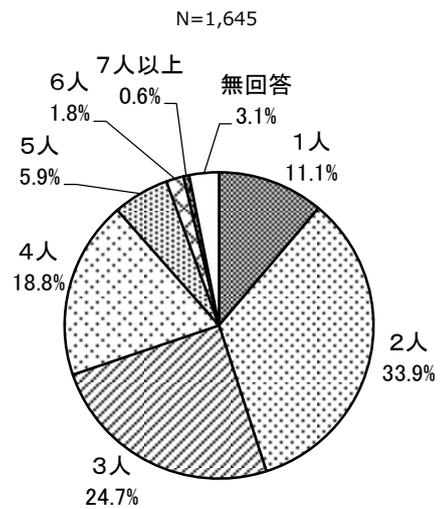
問 33 あなたの家族構成を選んでください。

家族構成は、「親と子どもの2世代家族」が 46.7%、「夫婦のみの世帯」が 31.1%、「1人世帯」が 11.7%、「祖父母と親と子どもの3世代家族」が 4.1%となっています。



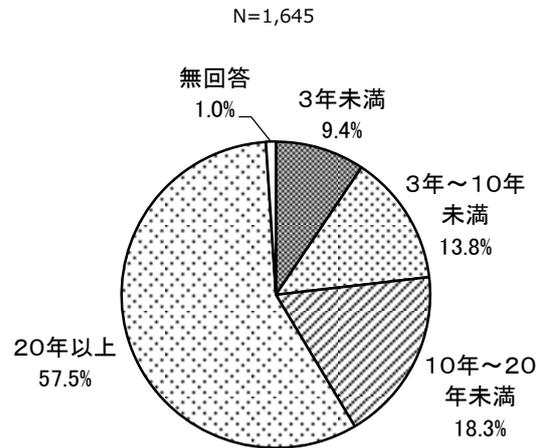
問 34 あなたを含めて同居している家族の人数を選んでください。

同居している家族の人数は、「2人」が33.9%、「3人」が24.7%、「4人」が18.8%、「1人」が11.1%が続いています。



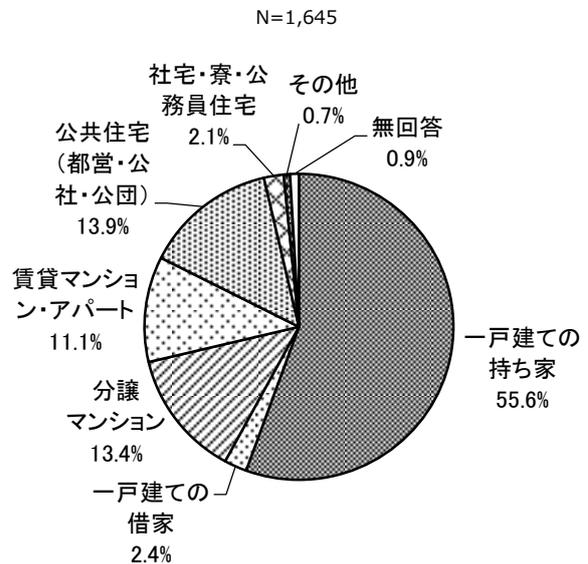
問 35 あなたは東久留米市に何年住んでいますか。

居住歴は、「20年以上」が57.5%で半数以上を占め、「10年～20年未満」が18.3%、「3年～10年未満」が13.8%、「3年未満」が9.4%が続いています。



問 36 あなたのお住まいの形態はどれですか。

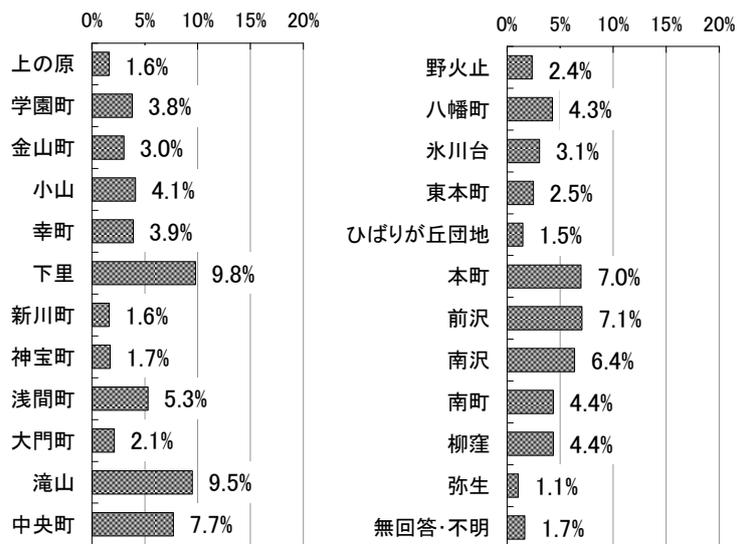
居住形態は、「一戸建ての持ち家」が55.6%で半数以上を占め、「公共住宅（都営・公社・公団）」が13.9%、「分譲マンション」が13.4%、「賃貸マンション・アパート」が11.1%が続いています。



問 37 あなたのお住まいを以下の町名の中から選んでください。

居住町名は、「下里」が 9.8%、「滝山」が 9.5%、「中央町」が 7.7%、「前沢」が 7.1%、「本町」が 7.0%、「南沢」が 6.4%で続いています。

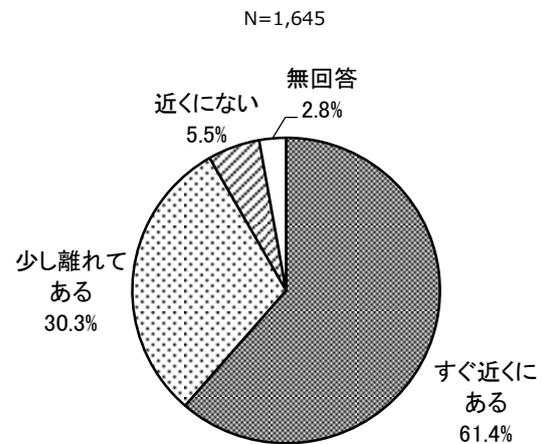
N=1,645



東久留米市農業とその役割について

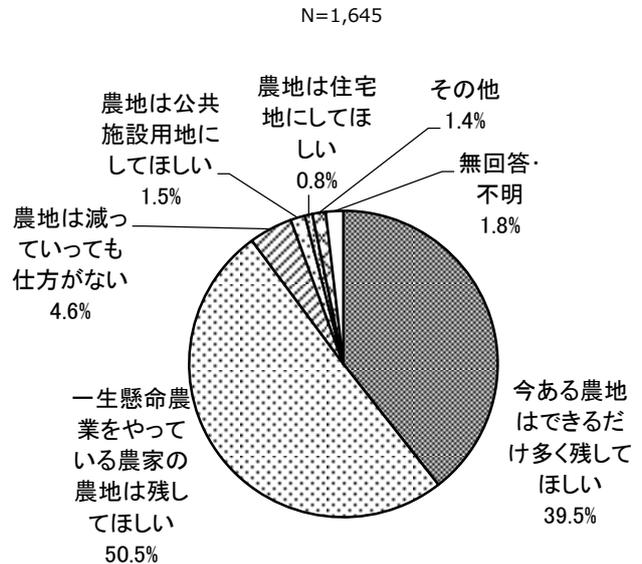
問1 家の近くに農地はありますか。1つ選んでください。

「すぐ近くにある」が半数以上の61.4%、「少し離れてある」が30.3%で、9割以上が近くに農地があることを認識しており、「近くにない」は5.5%にすぎません。



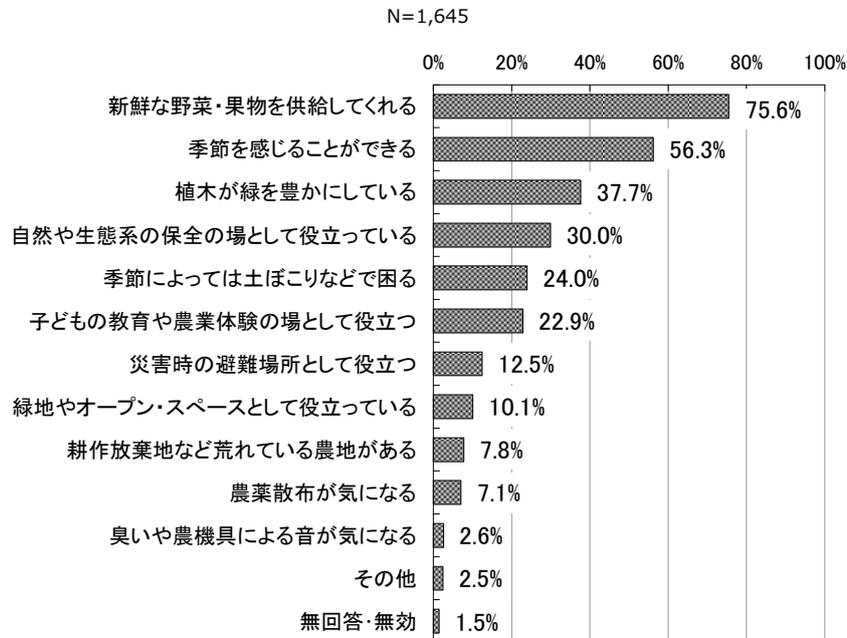
問2 東久留米市では、農地が年々減少する傾向にあります。都市の農業についてどのようにお考えですか。1つ選んでください。

「一生懸命農業をやっている農家の農地は残してほしい」が50.5%で半数を占め、次いで「今ある農地はできるだけ多く残してほしい」39.5%となっており、農地に対する市民の保全意向は高くなっています。



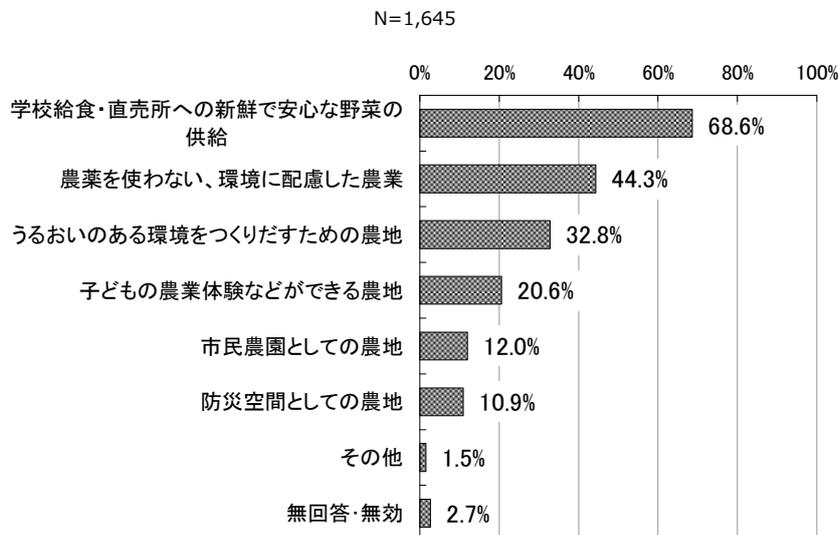
問3 あなたのまわりの農業・農地について感じていることを3つ選んでください。

「新鮮な野菜・果物を供給してくれる」が75.6%で特に多く、「季節を感じる事ができる」が56.3%、「植木が緑を豊かにしている」が37.7%、「自然や生態系の保全の場として役立っている」が30.0%と続いています。



問4 これからの東久留米市の農業・農地についてどんなことを期待しますか。2つ選んでください。

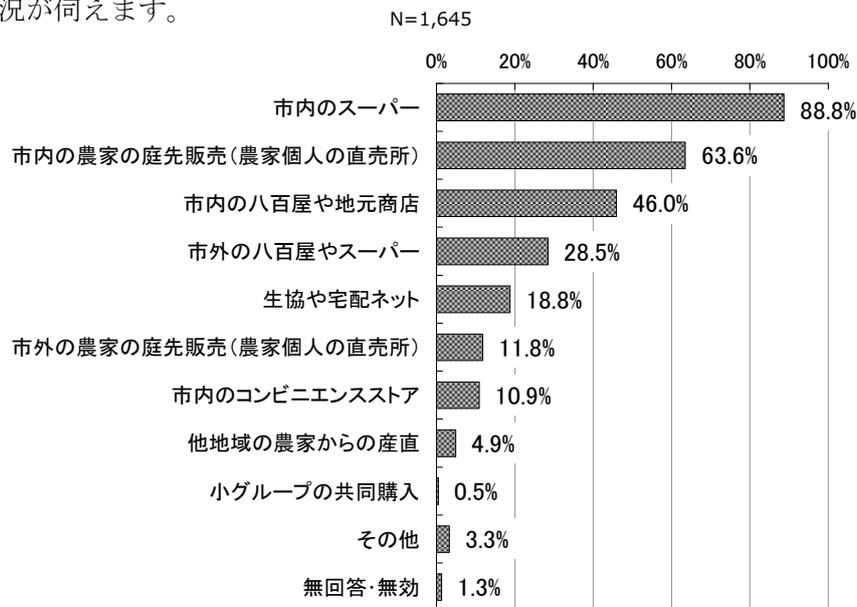
「学校給食・直売所への新鮮で安心な野菜の供給」が68.6%で特に多く、次いで「農薬を使わない、環境に配慮した農業」が44.3%、「うるおいのある環境をつくりだすための農地」が32.8%となっており、新鮮で安心な野菜の供給や環境に配慮した農業を期待しています。



地場農産物の購入、消費について

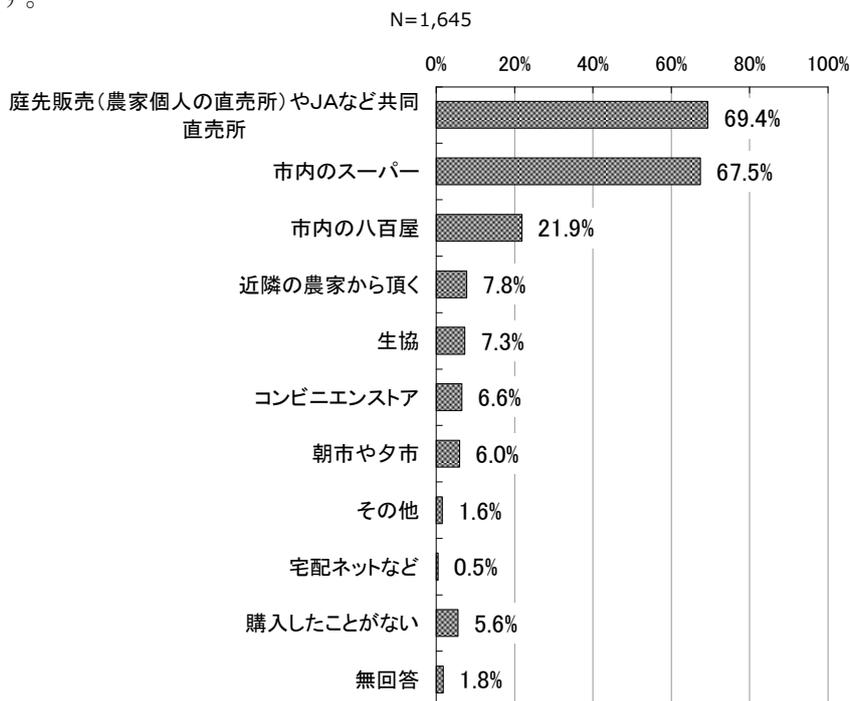
問5 あなたは日頃、農産物をどこで購入しますか。3つ選んでください。

日頃の農産物の購入先は、「市内のスーパー」が 88.8%を占めており、次いで「市内の農家の庭先販売」が 63.6%と多く、「市内の八百屋や地元商店」が 46.0%、「市外の八百屋やスーパー」が 28.5%が続いています。特に庭先販売での購入が多いことから、市民生活に定着している状況が伺えます。



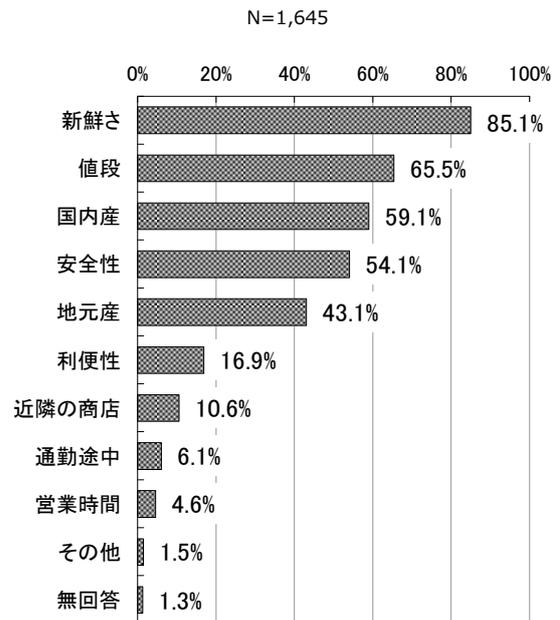
問6 特に、東久留米市産農産物をどこで購入しますか。いくつでも選んでください。

東久留米市産農産物の購入先は、「庭先販売（農家個人の直売所）やJAなど共同直売所（69.4%）」「市内のスーパー（67.5%）」が特に多く、次いで「市内の八百屋」が 21.9%となっています。



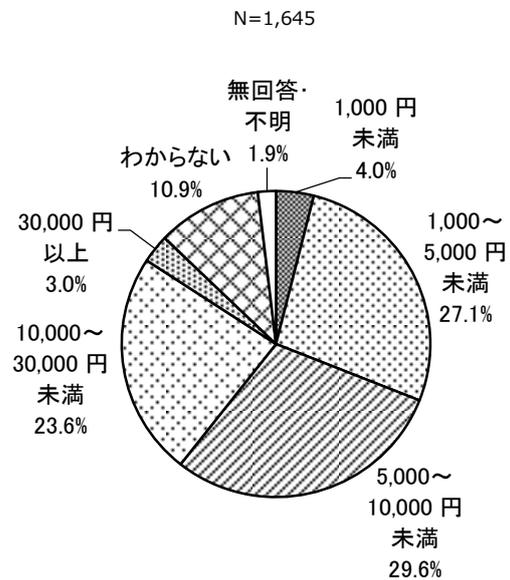
問7 農産物を購入する時のきっかけは何ですか。いくつでも選んでください。

「新鮮さ」が85.1%で特に多く、「値段（65.5%）」「国内産（59.1%）」「安全性（54.1%）」と続いており、「地元産（43.1%）」も半数近くの市民が購入するきっかけとしています。



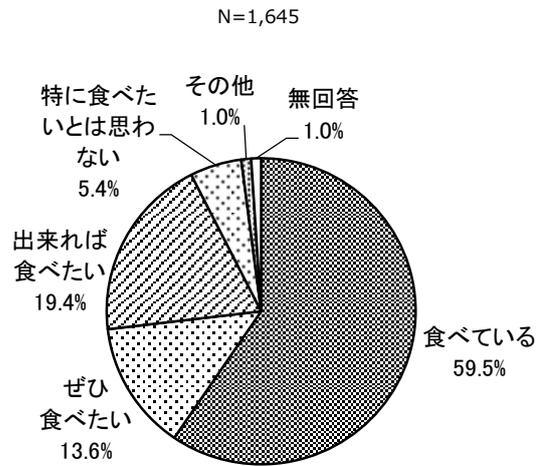
問8 あなたは、農産物の1か月当たりの購入はどれくらいですか。1つ選んでください。

農産物の1か月当たりの購入金額は、「5,000～10,000円未満」が29.6%、「1,000～5,000円未満」が27.1%、「10,000～30,000円未満」が23.6%となっており、1,000～30,000円未満で8割を占めています。



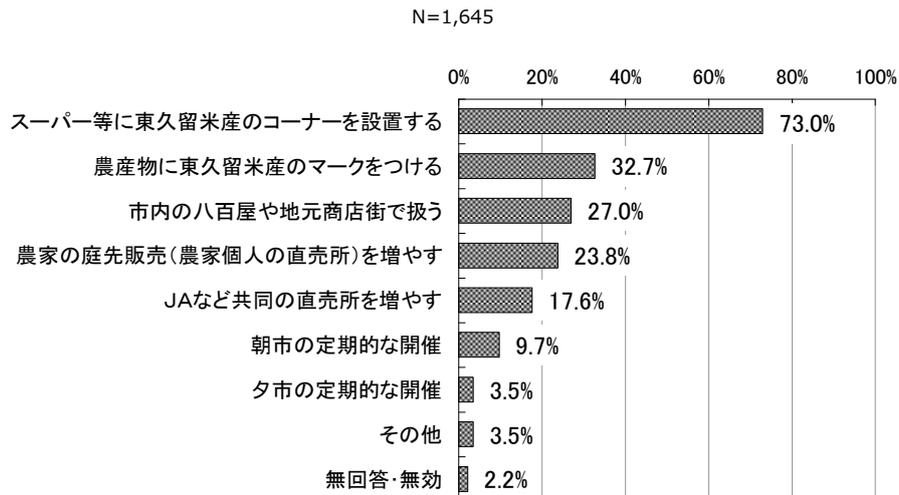
問9 東久留米市内で生産された農産物を食べたいと思いますか。1つ選んでください。

「食べている」が59.5%で半数以上が市内農産物を食べており、「ぜひ食べたい（13.6%）」「出来れば食べたい（19.4%）」を含めると、9割以上を占めています。



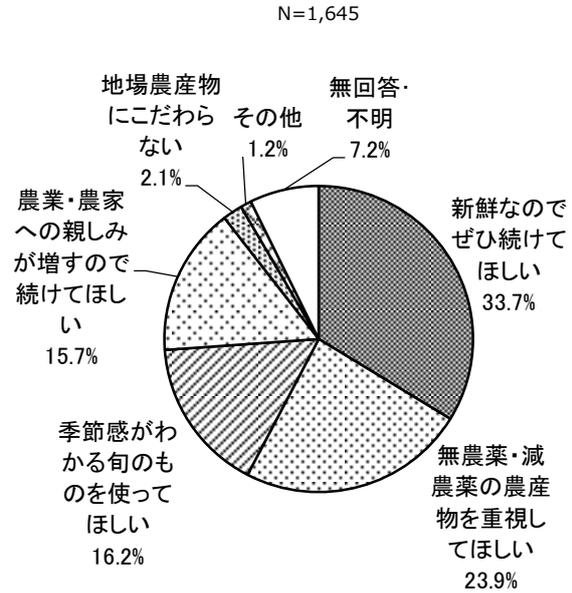
問10 東久留米市内で生産された農産物を手に入れやすくするために、必要だと思うことを2つ選んでください。

「スーパー等に東久留米産のコーナーを設置する」が73.0%で特に多く、日頃の農産物の購入先が市内のスーパーが多いことから伺えます。また、「農産物に東久留米産のマークをつける」が32.7%となっており、一目見て市内産とわかるような工夫も有効であると伺えます。



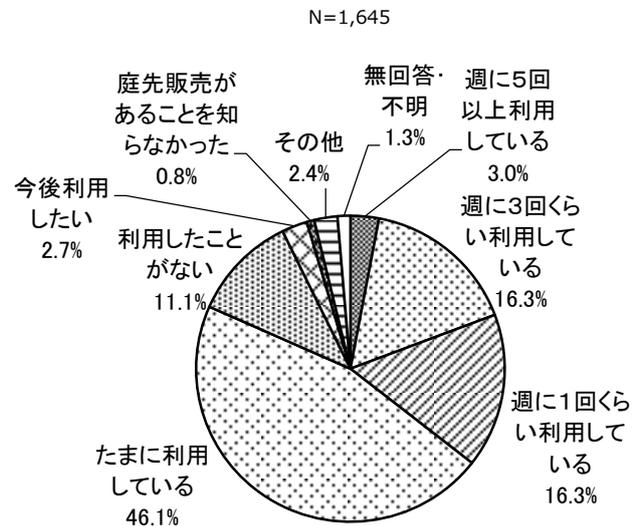
問 11 東久留米市では、学校給食に一部地場農産物を使っていますが、あてはまるものを1つ選んでください。

学校給食に一部地場農産物を使っていることについては、「新鮮なのでぜひ続けてほしい」が 33.7%で多く、「無農薬・減農薬の農産物を重視してほしい」が 23.9%、「季節感がわかる旬のものを使ってほしい」が 16.2%、「農業・農家への親しみが増すので続けてほしい」が 15.7%で続いており、「地場農産物にこだわらない」は 2.1%となっています。



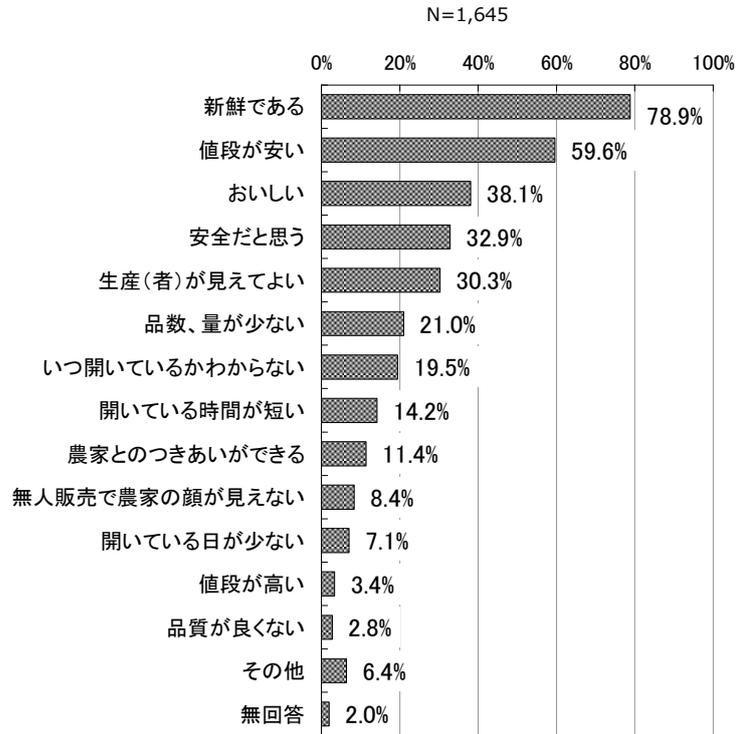
問 12 市内農産物の庭先販売（農家個人の直売所）を利用したことがありますか。1つ選んでください。

庭先販売は、「たまに利用している」が 46.1%で特に多く、「週に3回くらい利用している」「週に1回くらい利用している」が各 16.3%となっており、「週に5回以上利用している（3.0%）」を含めると、8割以上の市民が利用しています。



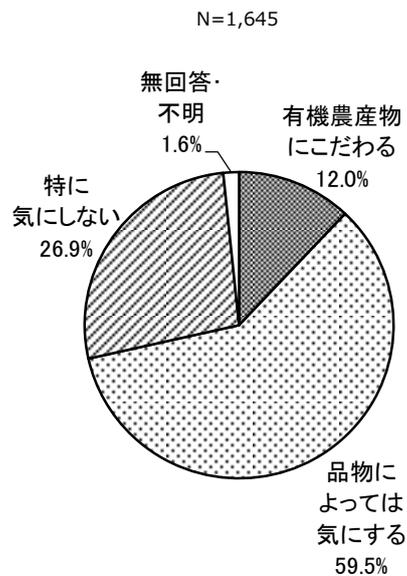
問 13 市内農産物の庭先販売（農家個人の直売所）について感じていることを、いくつでも選んでください。

「新鮮である」が 78.9%で特に多く、次いで「値段が安い」が 59.6%を占め、「おいしい（38.1%）」「安全だと思う（32.9%）」「生産（者）が見えてよい（30.3%）」が続いています。



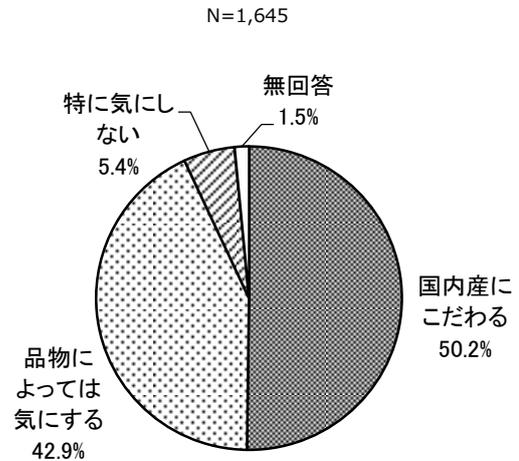
問 14 あなたは農産物や加工品などを買うとき、有機農産物かどうか気にしますか。1つ選んでください。

有機農産物の購入は、「品物によっては気にする」が 59.5%で特に多く、「有機農産物にこだわる」が 12.0%、「特に気にしない」が 26.9%となっています。



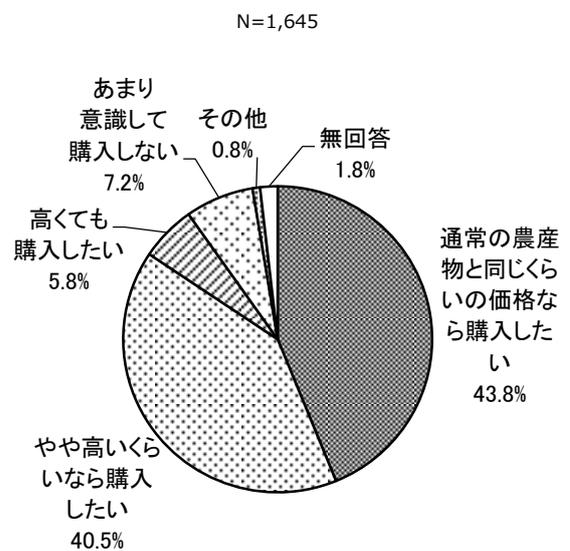
問 15 あなたは農産物や加工品などを買うとき、輸入農産物かどうか気にしますか。1つ選んでください。

輸入農産物の購入は、「国内産にこだわる (50.2%)」と「品物によっては気にする (42.9%)」が二分しており、「特に気にしない」は 5.4%となっています。



問 16 環境にやさしい農業について伺います。あなたは環境に配慮し、農薬や化学肥料の使用を減らした農産物を購入したいと思いますか。1つ選んでください。

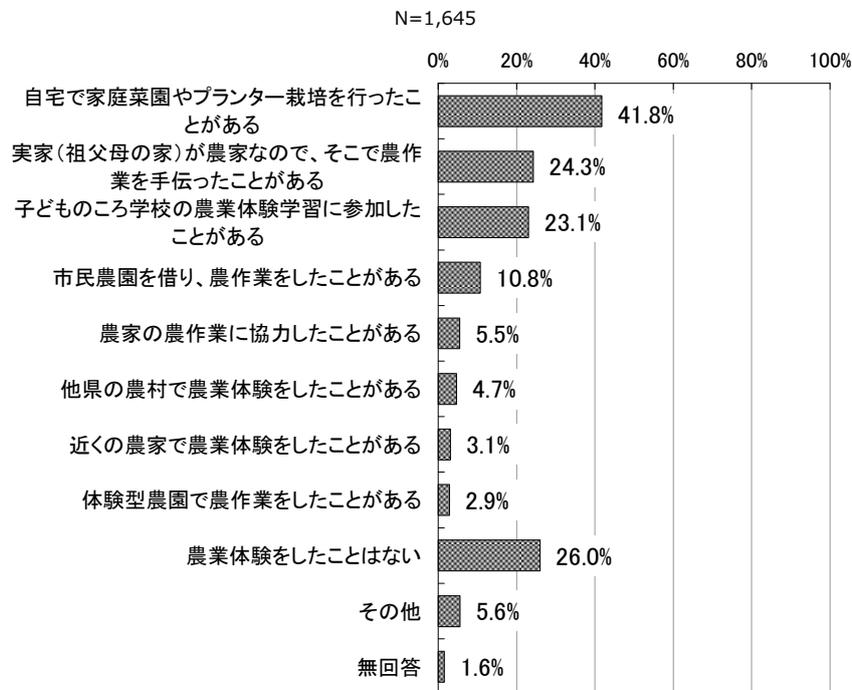
「通常の農産物と同じくらいの価格なら購入したい」が 43.8%となっていますが、「やや高いくらいなら購入したい」も 40.5%を占めており、値段が高くても、安全性の高い農産物への理解も伺えます。



農業体験について

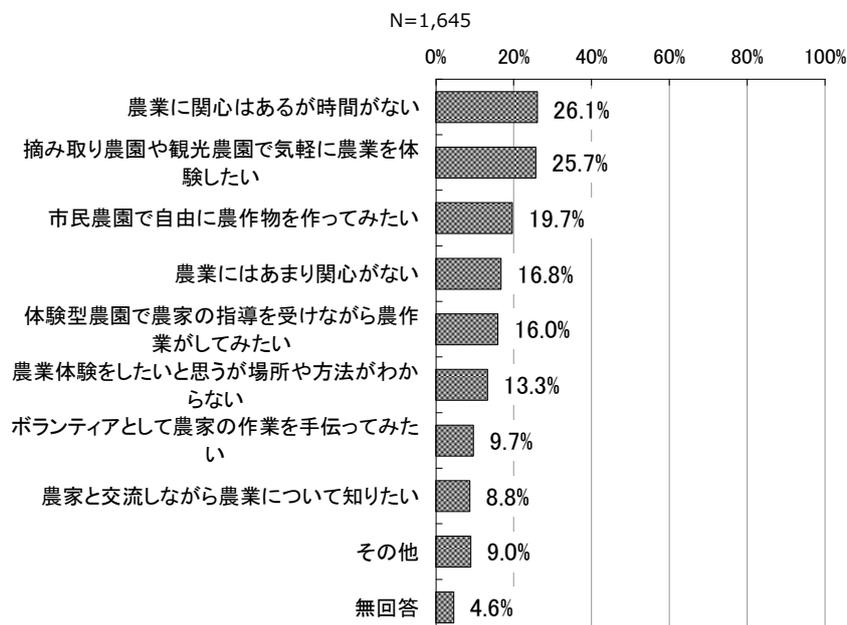
問 17 あなたは農業を体験したことはありますか。いくつでも選んでください。

これまでの農業体験については、「自宅で家庭菜園やプランター栽培を行ったことがある」が41.8%で多く、「農業体験をしたことはない」が26.0%となっています。



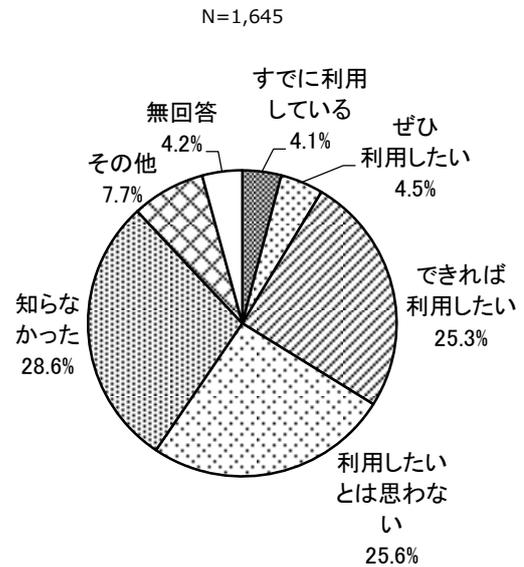
問 18 あなたは今後どのような農業体験をしたいと思いますか。あてはまるものをいくつでも選んでください。

今後の農業体験については、「農業に関心はあるが時間がない」が26.1%で多いですが、「摘み取り農園や観光農園で気軽に農業を体験したい(25.7%)」「市民農園で自由に農作物を作ってみたい(19.7%)」と気軽に農業体験をしたい傾向が伺えます。



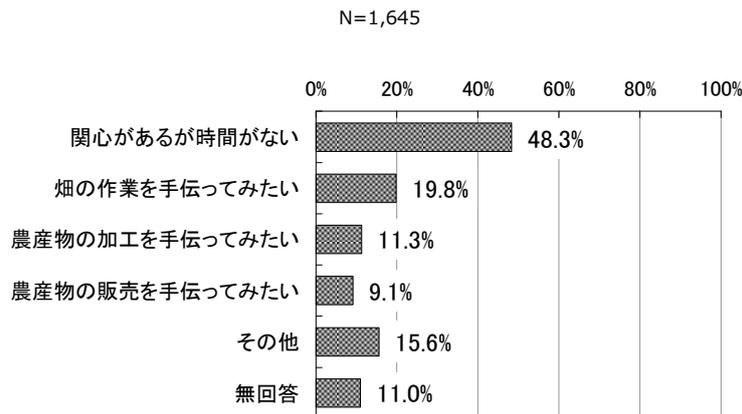
問 19 東久留米市には、市が開設している市民農園と農家が自ら開設する農園及び農家が運営する体験型農園があります。これらの農園の利用についてどう思いますか。1つ選んでください。

市民農園、体験型農園の利用意向(ぜひ利用したい 4.5%、できれば利用したい 25.3%)は、29.8%を占めており、一方、「利用したいとは思わない」は 25.6%となっています。また、「知らなかった」が 28.6%を占め、市民への周知も大切です。



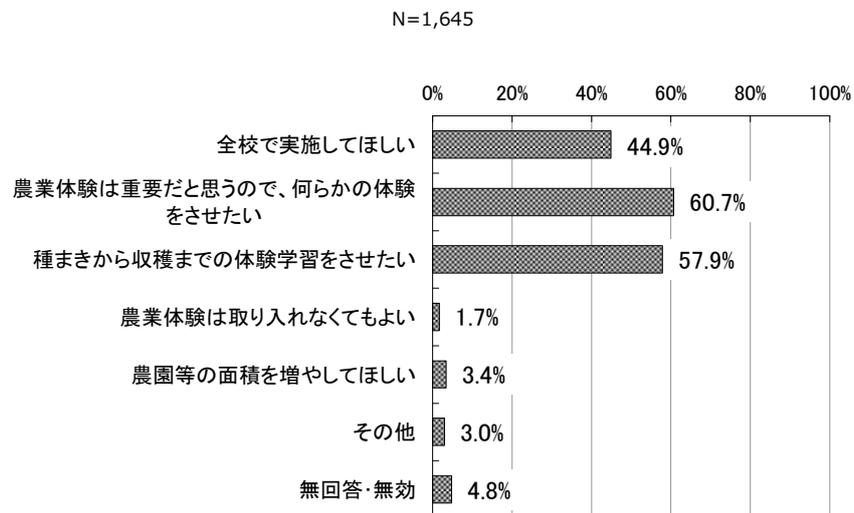
問 20 農家の農作業の手伝いについてどう思いますか。いくつでも選んでください。

「関心があるが時間がない」が 48.3%で特に多いですが、「畑の作業を手伝ってみたい」が 19.8%、「農産物の加工を手伝ってみたい」「農産物の販売を手伝ってみたい」も各 10%前後を占め、農家と市民の意向に応じた仕組みの検討が必要です。



問 21 小学校の学校農園や小学生の農業体験についてどう思いますか。2つ選んでください。

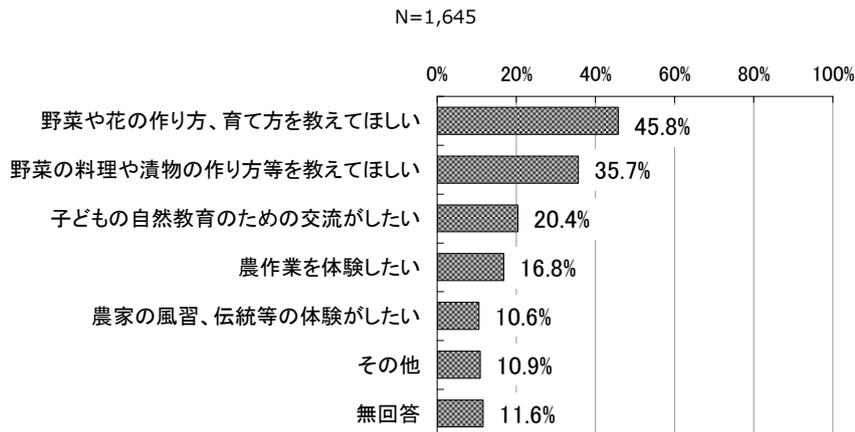
小学校の学校農園や小学生の農業体験については、「農業体験は重要だと思うので、何らかの体験をさせたい」が60.7%で多く、「種まきから収穫までの体験学習をさせたい」が57.9%、「全校で実施してほしい」が44.9%となっており、農業に触れる機会を望む回答が多くなっています。



農家との交流について

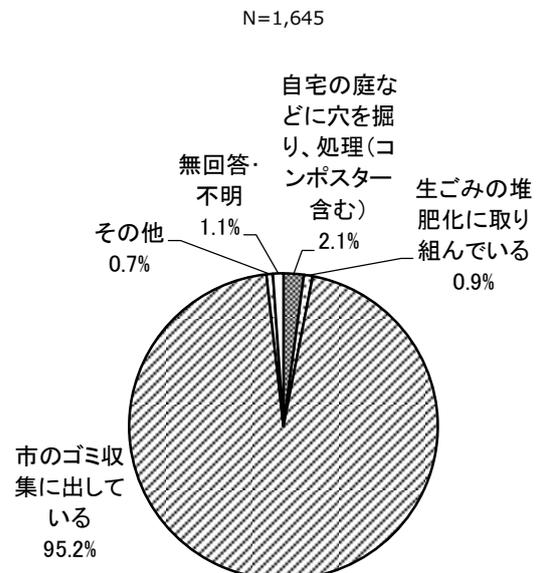
問 22 農家との交流について望むことはどれですか。いくつでも選んでください。

農家との交流については、「野菜や花の作り方、育て方を教えてほしい」が 45.8%で多く、「野菜の料理や漬物の作り方等を教えてほしい」が 35.7%、「子どもの自然教育のための交流がしたい」が 20.4%で続き、農家から学ぶ交流を望んでいます。



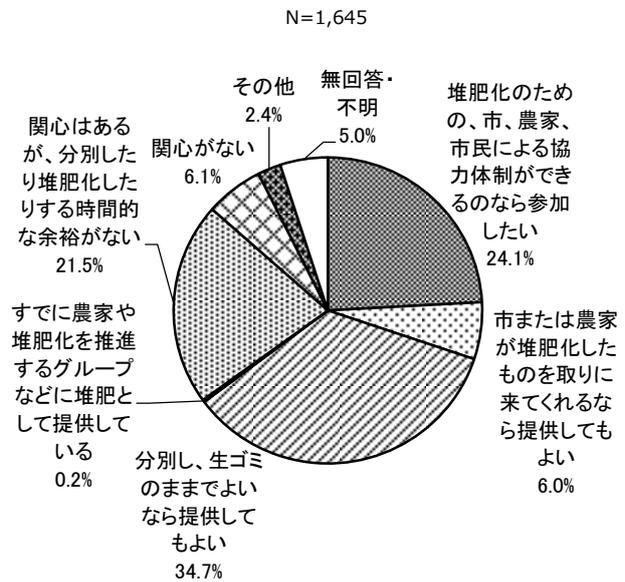
問 23 あなたは現在、生ゴミをどのように処理していますか。1つ選んでください。

現在の生ごみの処理は、大半が「市のゴミ収集に出している (95.2%)」としており、「自宅の庭などに穴を掘り、処理 (コンポスター含む)」が 2.1%、「生ごみの堆肥化に取り組んでいる」が 0.9%となっています。



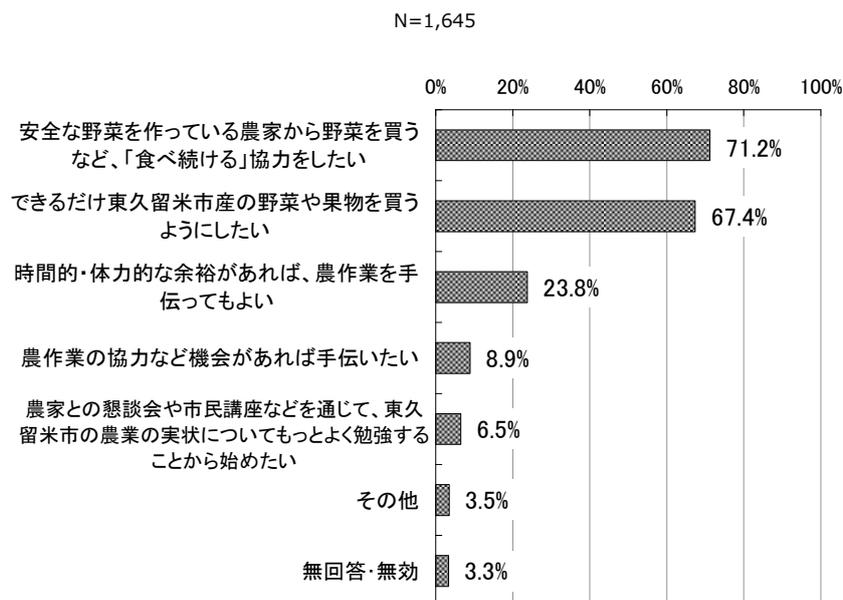
問 24 あなたは生ゴミを堆肥化して、農家や市民農園などに提供することについて、どのようにお考えですか。1つ選んでください。

生ゴミを堆肥化して、農家や市民農園などに提供することについては、「分別し、生ゴミのままでよいなら提供してもよい」が 34.7%で多く、「堆肥化のための、市、農家、市民による協力体制ができるのなら参加したい」が 24.1%で続き、関心の高さが伺えます。



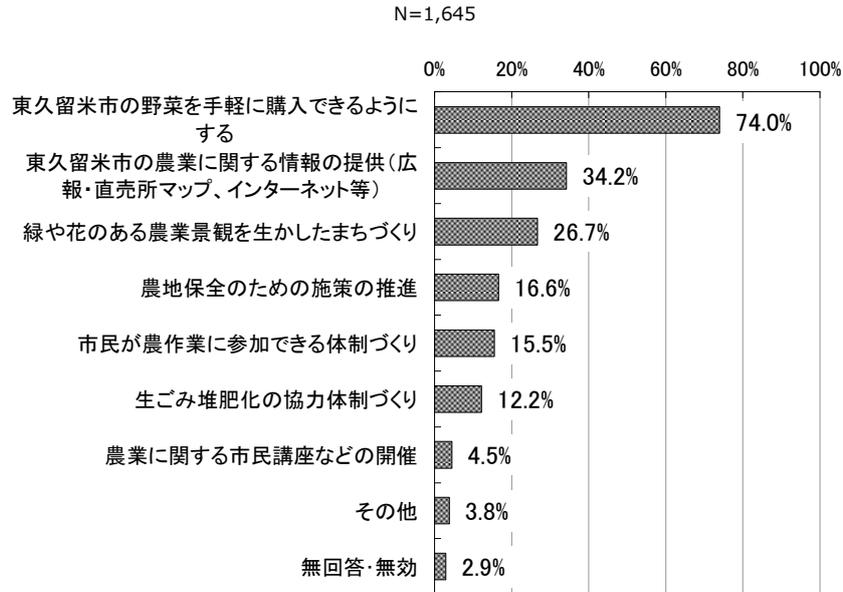
問 25 市民が農家とともに農業を育てていくためには、あなたはどのようなことに対して協力できますか。2つ選んでください。

農家への協力については、「安全な野菜を作っている農家から野菜を買うなど、「食べ続ける」協力をしたい」が 71.2%、「できるだけ東久留米市産の野菜や果物を買うようにしたい」が 67.4%で特に多く、「時間的・体力的な余裕があれば、農作業を手伝ってもよい」が 23.8%となっており、購入や食べることで協力する意向が高くなっています。



問 26 市民が農家とともに農業を育てていくために必要だと思われることを、2つ選んでください。

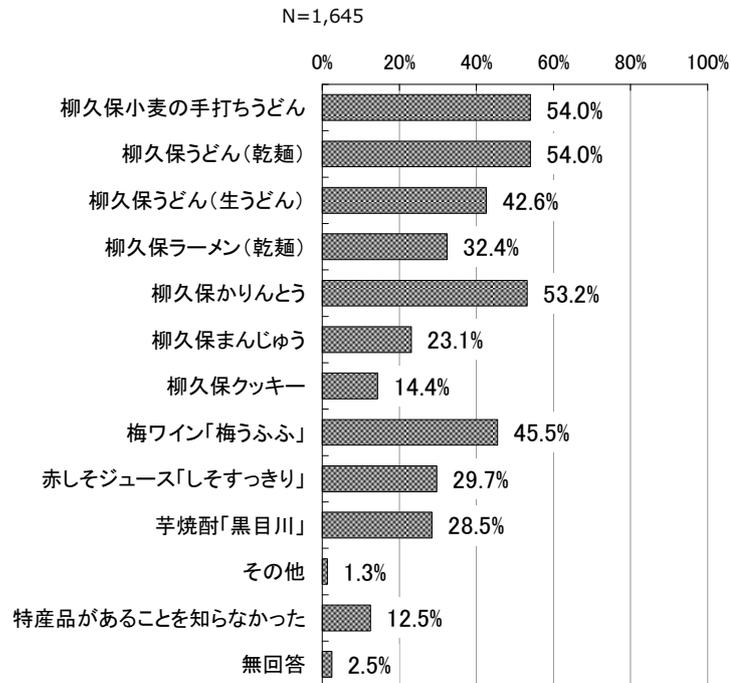
市民と農家で農業を育てていくために必要なことは、「東久留米市の野菜を手軽に購入できるようにする」が 74.0%で特に多く、「東久留米市の農業に関する情報の提供（広報・直売所マップ、インターネット等）」が 34.2%、「緑や花のある農業景観を生かしたまちづくり」が 26.7%で続いています。農家の情報提供とともに、農家と市民が互いに理解しあい、育む場のあり方も今後の課題です。



東久留米市の農業や農産物について

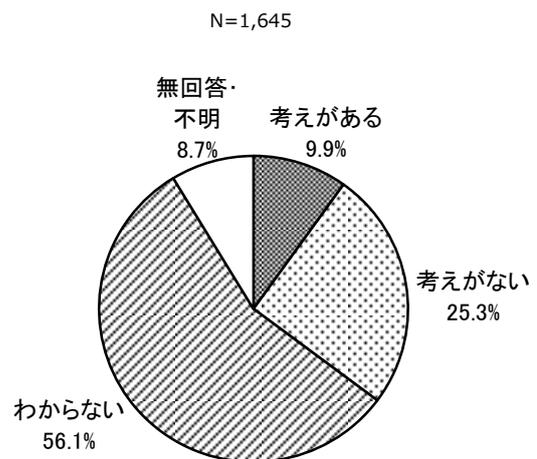
問 27 市内農産物の特産品で知っているものすべてを選んでください。

市内農産物の特産品の認知度は、「柳久保小麦の手打ちうどん」「柳久保うどん（乾麺）」が各 54.0%、「柳久保かりんとう」が 53.2%、「梅ワイン「梅うふふ」」が 45.5%、「柳久保うどん（生うどん）」が 42.6%で続いています。



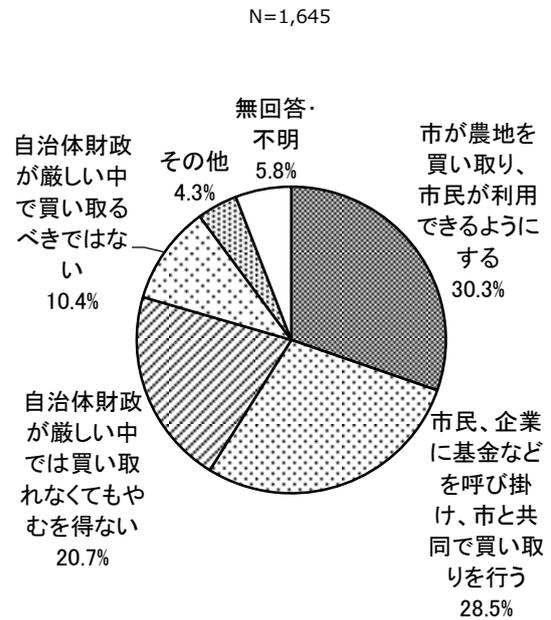
問 28 市内の農産物を使ったブランド化について1つを選んでください。

市内の農産物を使ったブランド化について、「考えがある」が 9.9%、「考えがない」が 25.3%、「わからない」が 56.1%となっています。



問 29 東久留米市の農地は減少傾向にあります。市が緑地空間として買い取って、市民が利用できるようにすることについて、どのように考えますか。1つ選んでください。

緑地空間としての農地の買い取りは、「市が農地を買い取り、市民が利用できるようにする」「市民、企業に基金などを呼び掛け、市と共同で買い取りを行う」が各30%程度で一定の理解が伺える一方、「自治体財政が厳しい中では買い取れなくてもやむを得ない」が20.7%「自治体財政が厳しい中で買い取るべきではない」が10.4%を占めています。



問 38 東久留米市農業の振興のためにご意見やアイデア、東久留米市の農業について日頃感じていることなどがあれば、ご自由にお書きください。

451 票 (人) ・ 556 件のご意見等がありました。

意見等 (原文ママ)
小麦以外はあまり印象がありません。6次産業化に向けて、ブランド力を高める工夫が必要かと思います。
引越して来て2年。東久留米の農業について、又は特産物について知る機会がなかった。もっと市民にアピールして自然体で協力体制を作っていく必要があるのではないかな？
スーパーで東久留米の野菜を目にする事がありますが、安全性、おいしい食べ方等をアピールして、ポップやチラシ等をいっしょに置いたらどうでしょうか？目をひいて手にする人が増えるのではないのでしょうか。個人の直売所で大根を買った時に、スーパーとは全く違って、みずみずしくとてもおいしかったのを覚えています。
特産品のPRをもっとしてみたら如何でしょうか。価格の面で月一度でもサービスデー等があれば利用したいと思います。
私は、中央町に越して来て、5年も経っていないこともあり、市内農産物の特産品を1つも知りませんでしたし、目にしたこともありませんでした。そこで、私の様に月日が短い人も居ると思うので、現在ある特産品をアピールしても良いと思います。こうすることで市の活性化に繋がると思いました。
今回いただいた資料も広報等で発信していると思いますが、ほとんど記憶に残っていません。もっとたくさん声高に宣伝していいと思います。
プレミアム商品券並みの宣伝で周知する必要があると思う。アニメを利用する。市報にカラーの広告をおこむ。
商工まつりなどや市役所でコーナーをつくってPRしてみても？農協の活動も市民の目につきやすいところで特設販売とかおまつりの時いつもすぐおわっていて残念でしたので
直売所マップですが、もっとくわしい「こだわりポイント」が知りたいです。そうすれば遠くへ行ったことのない場所にも行きたい。たとえば、ここは有機栽培だ、とか無農薬など。主力はにんじんで、得意とされている農家さん、などなど。
市報などにて、東久留米の庭先販売 (直売マップ) 作成と生産品情報。定期的に生産物情報の発信 (市報など)
あとよくスーパーで地元産の野菜を買っていますが、市内全ての店で扱っている訳ではないので、できれば具体的にどの店で扱っているか何らかの形で情報が欲しいと思いました。
東久留米市の農産物の価値 (安心、安全、新鮮、栄養価等) や、地元の野菜を地産地消することの意義 (農家の保護、市民の健康管理等) を明確にし、積極的にPRしていくことが重要だと思います。応援したいです。
今回のアンケートを通し、自分がどれだけ市内の農産物、特産品などに注目をしていないかがよくわかりました。自分の生活の中で農業が一番近いところ…となると、近くの畑 (もしくはスーパー) になると思うので、たとえばこの畑では何を作っているのか看板があったり、スーパーの野菜売り場では旬の東久留米市でとれる野菜など特産品の紹介があるととても身近に感じられるかな…と思います。小学校の給食で、近所の農家の方がつくった”大根”が出てきたことはとても印象に残っていました。
東久留米市産の野菜の認知度が市民の中であまり高くないのでは？スーパーや駅など、人が集まる場所でファミリー層など若い世代へ向けたPR活動 (新鮮さや地産地消のメリットなどの啓蒙) を行い、「東久留米産の野菜を積極的に購入しよう！」と思うような施策を取ったりするのではないのでしょうか。
市街ロビーを利用し、もっと農産物、特産品等を販売PRしてほしい。スーパーより安い価格で、要は農業のPR費用として考えれば安いと思います。(テレビのPRを考えなさい。)

うど、しいたけ、竹の子等ほとんどみられなくなり残念です。若い人々に作ってほしいです。
都心部に近いことを生かして、新鮮な作物を供給出来る事をアピールされてはいかがですか。
どの程度安全で美味しいものなのか分からないため、買う気がしない。売りになっていることを旗などで挙げたら買う気が起きるかもしれない。
柳久保うどんは食べてみたいと思いましたが近くに売っている所がないので、まだ購入していません。市中心部以外でも広く取扱いしてPRすればよいのではと思います。近隣の市、西東京市や清瀬市のスーパーにも（既にあるかもしれませんが）、新鮮な野菜ということで、置いてもらってもよいのではないのでしょうか？
柳久保小麦などの栄養上の特徴を調べてもらう。→宣伝になる。
東久留米市の農家の顔が見えない。つきあいもない。だからまったくわからない。アンケート自体おかしい。農業を発展させるならば地元農家をもっと前向きになり、市民アピールすべきだ。東久留米の農業なんてあんまりきいた事ないしこれっていう商品もない。車が多数走る道路ぞいにきたないかごに少数の野菜がおいであり、排ガスできない野菜、買いたくもなくなる。もっと清潔に綺麗なかごに入れるとか、農家自身がアピールするとか久留米農業の人が集まり月1、2回農産物のイベントをやりもっと市民アピールしなくては久留米の野菜なんか誰も知らない。農業をやってる人がもっと前向きになり市民にアピールしなくてはならない。全国的には無理だが、せめて地元から認知してもらう事が本物にはならない。
東久留米市の農業についての情報を知る機会が少ないように思う。もう少しインターネットや市報で積極的にPRすべきである。
弥生在住のため、回りが小平市です。東久留米の農業を目にするのはほとんどありません。不便です。わかりやすい旗とか、マップとか、東久留米市役所に便利に行けるようになるとか、とにかく、東久留米市の情報が入ってこない地域なので、情報をたくさん発信してほしいです。
祭りなどのイベント時に特産品を使った料理を売って、ネットでもその動画を流してみたらどうか？・J'COM等で、地元TVのチャンネルをもっている所もあり、少しでも流すなり協力してもらうことで周りにも知られるのではないかと？
会社の仲間では体調の悪い人が退職し、農業の手伝いを始めたら体調が良くなり健康になった人がいます。自然に親しむ効果なのか？体を使うことが良かったのかわかりませんが農作物を作る楽しみ以上の効果があるのかもしれません。メリットをもっとアピールすることもあっていいのかなと思います。
農作物が売れないと、農家の繁栄につながらないか…大型百貨店（沿線）西武デパートでの販売企画（宣伝をかねて）（柳久保うどん（生）はこしがあり、とってもおいしい）ことをアピール。
Facebook、LINEなどSNSを利用して、積極的に農業に関する情報を提供すべきだと思います。
東久留米に住みはじめて2年が過ぎました。小麦畑等多くの農地があり季節を感じられ、うれしいです。柳久保うどん、おいしいと思います。もっと食べ方や、食べられる場所等、強調しても良いと思います。
農地や緑があることのメリットを市民に伝える。うるおい、災害時によいとか。道を広げるのに必要な土地を売らないように感じてしまう。農業をしている人はどこか閉鎖的に感じる。たぶん、どうせお金に困ったら、土地を売ると多分多く人は感じている。コミュニケーション不足だからか。
市内市場をもっとアピール。市民が共有できる朝市、イベントをやるべき。卸売市場にしては活気がないと思う。
東久留米市の農業を市民にもっとPRし、これ以上衰退させぬよう、市としてバックアップして頂きたいと思えます。
農業のIT化を行い、情報サービスをフル活用することで市民の関心を引く事ができると考えます。
有機、無農薬野菜栽培の推奨。農薬散布回数、種類の情報の開示。露地販売は顔が見えにくいので販売日（時間）、生産者名の表示をしたり販売先に立つなどPRして行ってほしい。地元の野菜は積極的に購入していきたいので上記したことを取り組んで行ってほしい。
朝市を市役所の前の広場で毎日開いてほしい！！
毎週朝市を土、日などに同じ場所でやっていて、新鮮かつ安価であれば購入する人が増えると思う。
朝市をする場所をもっと増やしてほしい。

市役所の広場で月曜日に朝市を開く。又、出張所等市の施設の広場を朝市として利用する。
滝山団地に住んでいます。大公園を利用してぜひ朝市、夕市を開催してほしいと思います。定期的に朝市、夕市を開催できるシステムを構築し、分譲マンションなどに開催を呼びかけてほしいと思います。
うどんの事ばかりやっても市のためにならないと思う。農業だけではなく、東久留米市の歴史学ぶワークコーナーや展示、まだまだやるべきことは思うところがあり、私の同級生（大学）は町おこし隊で他県でキノコ栽培をしています。行政や何かより、人（ヒト）の力を要るべきところになかったりして困ったりしています。若者の農業“いいね”と押してもらえても田舎のおばあちゃんや親戚の話や苦勞を聞くと、その時食べてるなすの素揚げも格別うまく感じたり、大変だな、メリットがないとやってらんないと思う現代っ子も多いはず。もっとこの街で新しい野菜がうまい店舗やスーパーが増えてもいいですし、もっと頑張してほしいです。
農業は日本全体で弱まっているわけで東久留米市の話ではない。もちろん議論しなくてはいけないことであろうが、もっと他に目を向けるべき議題があるのではないかと。改善できるほどの財政事情なのか。このアンケートも3000人を取る必要がないように感じる。
特にありませんが、こうしたアンケート調査などを通しての産業政策課の努力は、これからも頑張ってください。
質問の回答にくせん
老人の為、アンケートが難しい！！
大手流通の野菜でない、美味しさや安全性がわからず不安になる（偏見ですが…）ので、スーパー等で展開されるとしたら売場やパッケージなど安心して買いたくなる見せ方も重要なと思います。個人的にはやはり丘やオコーさんの、入口左手にある県内農家さんの野菜売場が、ディスプレイもよいですしものによっては同じ値段でとっても量があたりしてお買い得感や見に行く楽しみもあって好きです。
私がいつも気になるのは庭先で販売されている野菜は安全なんでしょうか？というのは、きちんと農薬の検査がされていないのだと思います。ちゃんと農薬をパスする行程を経ているのでしょうか？よく噂では農家の方は、庭先で売る物と、ご自分で召しあがる物とは畑を変えているとまことしやかに伝わっています。庭先で売られる野菜が新鮮ということよりも安全なことを願います。
日本の農業がだんだん力をなくしつつある最近、市内の農家を維持し保護していくことは重要と思う。消費者の立場としては、とにかく安全な物を作っていただくことが一番の要望となります。
軽い感じはいいとは思わないが、B級グルメに参加。
農業祭のようなものを年1回ではなく3回位開いてほしいです（出来れば）
農業を活性化するために、市外から人員を募って盛りたてるのもありだと思う。スローマーケットなど、イベントや団体と協力して東久留米の農業を知ってもらうのもいいのではないのでしょうか。農業そのものばかりでなく、小麦生産の副産物である麦のわらを使って作る工芸品の開発、ワークショップ、イベントなどでもっと親しんでもらう方法もあると思います。
可能であれば街路樹を市民に貸出し（有料）花を育てさせてみては？
たまに東京ガスの支社で売っていますが、特別に安くない。花物がよく売れているようです。曲がったきゅうりなどお安くあれば。
花は早朝目であればありがたい。五分咲きぐらいに。
今ある農地は野菜ばかりでなく、果物を生産し新しくブランド化したらどうでしょうか。フルーツ狩りをして解放し観光名所となれば市も盛り上がるような気がします。
・果物類を主体にした農地にしたらどうですか。
少量でも高いブルーベリーを、市内で大量に出来たら安く購入出来ていいなと思う。イチゴや、皮ごと食べられるぶどう等あったら買います。
有機、無農薬栽培など、環境に配慮し、かつ、安全で特色のある農業をうち出し、他市との差別化をねらう。
宅地の開発によって農地が分断されている場所が多く、住民の住環境、景観の面からもマイナスが大きいと感じる。高齢化の進展で空き屋の増加などが顕在化するなかで、宅地を必要以上に増やすことが、将来的に

問題を起こす種につながる可能性がある。
住環境には生態環境の保全も含めて考える必要があると思います。
農業振興とは別の事です。東久留米市には黒目川、落合川という貴重な川ありますが最近では流れの中迄雑草が進んで来てせつかくの水面が見えない所も有ります。何とかせせらぎの音と流れの見える川にして頂きたいと無理の事かと思っておりますが願っている者です。資金の問題もあると思います。市民に呼び掛けたら何か良い方法があると思います。
秩父などにあるような観光農園を作ったらどうでしょうか？シイタケ、さつまいも、ぶどう、ブルーベリー狩りなど。シイタケ焼いて食べられたり、BBQできるなど。(小松沢レジャー農園に行ったら楽しかったです) 秩父より近くて、都心部からのお客さんも見込めるのではないのでしょうか？私は近所にできたら結構行くだろうと思います。友達が遊びに来て連れて行ける場所ができれば嬉しいです。東久留米の農業のPRをもっと頑張って発展させて下さい！
密かに東久留米が、東京都有数の農業観光地になったら面白いと夢見ています。(非現実的でしょうか?) 観光以外だと、東京の自然農法の拠点になるとか、なにか特色があったら良いかと思えます。かつて清流を復活させた東久留米ですから、きっとできるはずですよ。
本格農業してない農地、市が借入れ企業と提携農業の有効活用してほしい。農業地主は有資産家が多いと思われ、活用しても、土地を農業に有効活用されない。
残った農地には企業介入やセレブリティ活動に提供していかなければ、後継者は出てこないのでは？
市内の遊休、休耕農地等を企業に貸与して工場農地として活用してもらおう。
都市型農業には狭い農地の有効活用には企業や住民との協力がかせません。
大型ショッピングモール等に必ず、東久留米産の物を販売するよう、企業に要請していく。フードコート等があれば、そこで飲食できるよう、出店費用等、市、または企業が安価で提供するようにする。農家が減っていく一方であるなら、市がバックアップをし、高校、大学等求人を出し、一般の方にも求人を出す。その際、多少の援助金も出す。
財政面等で市単独での取組みが難しいようであれば、企業や個人と連携する等、農業へ参加できる対象を広げて欲しいです。また、市内のスーパー、直営販売所だけでなく、市外、東京都外へ市場の拡大を考えても良いのではないのでしょうか。
農家の方々の季節の野菜を買っています。今頃なら、朝どれの枝豆、とうもろこし、トマトなど、どれもおいしいです。季節の野菜が近くで買って、食べられることに、幸せを感じています。
季節の花々を畑から直接に求められるのは、東久留米に来て良かったと思います。樹木の畑も季節の美しさを感じさせてくれます。大好きです。
季節ごとに季節の野菜を提供していただきありがとうございます。美味しくいただいています。暑い夏、寒い冬に早朝からきれいに販売していただきお礼申し上げます。
農家の方は大変でしょうが季節の変化を目に出来ミドリの美しさに感謝しています。
ゆるキャラブームにのってPRしたいところであるが、ただのゆるキャラではメディアに取り上げてもらえない。ふなっしーやねばーくんクラスのインパクトが必要である。
市のキャラクターを押ししてみたらどうか？市の中にある本社会社に協力を求めて会社のイベントに、キャラクターと特産物会を少し入れる時間をつくってもらってはどうか？社内報に「キャラクター」などがのり、全国的に知られるようになるのでは？
東久留米市出身の国分太一さんをイメージキャラクターに起用して東久留米市の農業をアピール出来たらどうか。超広大な畑を市で持って新卒の若者を毎年雇用する。アニメの舞台にする。
”カッパのクゥ” (映画) のキャラクターとコラボ？合わせて。
しいていうならゆるキャラのようなご当地キャラ(特産品がからんでいる様な)がいれば良いと思いました。(久留米クルメイジャーやクルメちゃん?ではなく) 東久留米の名物野菜があればその食材のキャラクターがあると良いかなと思いました。
そして、農家の人に限らず、市民が農業に関心を持ち、個々には僅かなスペースでも、耕し、農作物を栽培

し、僅かながらでも自給自足。そんな共同農園がたくさんあったらいいですね。
後継ぎの問題もあると思います。若い人が集まれる社交の場、イベント等があったらと思います。
・後継者問題 ・農家の肉親である子孫にとどまらず、例えばひとつの会社に社員又は従業員の様な形態で、後世に継がるような型等を実践できれば農業に従事する人が増えるかもしれない。
農家の高齢化が進みすぎているので後継ぎの問題を早期に解決すべきと思う。・土地の税の減額（相続税など）・人の斡旋（雇用対策として）・農業の組織化（一人だけでは無理があるため応援などを呼びやすいシステム作り）を推進すべきと思います。20年、30年、100年先を見た政策を。
たまに農家の野菜スタンドを利用します。いろいろな地域のお店に行きますが、若い女性（娘さん？お嫁さん？）の方が、店番などをして対応して下さる所が、けっこうあることに気が付きました。次世代の若い農家の方が引き継いでいただけたら、利用者としては嬉しいです。できるだけ利用しようと思っています。
後継者が減少するなかで、生産意欲のある農家が生産を止めてしまわないような政策を講じるべき。
農家との交流を行う。農家の未来は婚活にある。市役所にお見合い課をつくる。
ひばりが丘団地から東久留米区役所に行くバスを希望します。現在市役所に行く場合、ひばりが丘駅までバス、ひばりが丘駅→東久留米駅、東久留米駅バス→市役所。高齢のため、歩いて又は自転車は不可能なので。
今の世の中、少子化もそうですが、昔と違い近所付き合いがないので、農業を通じて近所とのコミュニケーションがあれば、色々な問題が少しずつ解決していくのではないのでしょうか。どこかで虐待、年寄りの一人住まい、色々目が行くばれるのではないですか。非行…近所付き合いがないと誰が住んでいるのか、不安です。地域作りは、大変ですが。
消費地が近い。市内だけでなく市外にも販売する。客町内に販売所をきめる。
東久留米市の農家の多くは庭先販売の方が多くあり、もっと市場やスーパーと直接取引をし多くの人に流通するようしてもらいたい。
このアンケートの目的が、今ひとつ理解できません。郵送料（催促のハガキは必要でしょうか…？もったいないです。市民のために使うべき！！）紙、印刷とかなりの費用をかけている意味は？…。このアンケートの結果によって私たち市民に納得できる結果（市政）を期待しています。
私の家の周辺にも来た当初は広大なスペースにたくさんの農地があったが、それも現在では半減している。かつての農地は半分以上住宅地に変わってきている。農家の人に聞くといつも後継者不足と土地税の問題が俄然クローズアップしてくる。こういうアンケート（意向調査）の実施は結構だが、その結果を農家が抱える上記のような問題解決に市が真剣にどう取り組もうとしているのか？その姿勢が一向にみえない。市の中核的な農業政策の全体の問題点をまず市民に明らかにすべきだ！（記入が続くが続くが判読できない）
虫もつかずに栄養価も高い葉物を、水栽培する施設を！
ただ単純に、年を追う毎に、住宅地高層ビルが増えているように思われます。自然保護、地場産業保護の為には、農業も活性化させたいものですね。
東久留米に住み45年経ちます。子供の頃は緑が多く、外で遊ぶ所が沢山ありました。駅の再開発が進んでから畑が少なくなり、マンションばかり建設され、自然が少なくなっていくのを日々感じています。
どうしても自然や農地は残していきたいです。それが東久留米の魅力の1つだと感じているからです。生産者が身近にいて、地元へ愛着を持てる、生命あふれる東久留米を大切にしていきたいと思っています。
とりわけ湧水のある自然環境は近隣都市にはない素晴らしい財産であるわけで、農業（家）が減少していくことは将来確定視されるので、少なくとも”自然”をいかに大事にしていくのかと思います。
東久留米、田無、保谷は昔から、水田はなく、お米の収穫やら、季節を感じる事が少ない地域（農産物について）でした。我家の旧地名には”栗原新田”、”学ワラビ久保”でしたので、栗や、ワラビなどの山菜はあったと思われ。このような地名に残る食物が生育できる環境を残すためには宅地開発を進めるばかりではなく”自然”を考え直すことが重要と思います。
東久留米市は、清き水の川（落合川、黒目川）が市内を流れ、雑木林や畑など緑地があり、都心に近いのに自然が開発から少なからず守られているのが大きな魅力の街。これからの将来もそれを活かし、より魅力の

ある市を育てるようにがんばって下さい。湧水をつかった特産品などできるものでしょうか。
自然をたくさん残してほしい。
県外にしかない物を、東久留米のオリジナル品として育てる。
近くに畑や緑があり季節の新鮮な野菜が食べられる事は本当に有難い事です。これからも地元の野菜が食べられる事を願ってます。東久留米に引っ越して8年になります。緑も多く駅もきれいで本当に好きな町です。娘、息子もずーっと東久留米に住みたいと言ってます。おいしい野菜これからも期待してます。
見える農業と感じられる農産物を待っています。
なるべく野菜類は、父の介護に行く用事までの間に、農家の野菜を購入しています。(今は、枝豆、トウモロコシ、茄子&トマトが美味しいです)
そばにある農家直営の新鮮な野菜が購入できて幸せ(東久留米のように農家がある)を感じています。
現実に農業をやっている姿はあまり見ていない!ただ、あちこちの農家の無人販売所に行くのが大好きで、感謝しながら買っています。
新鮮なおいしい野菜が安く手に入るので大変助かります。
市内産のピーマン、玉ねぎは見かけませんが、あればほしい。
地元の野菜を食べたい。
近所で、新鮮で、安心できる、農作物が、安価に手に入るの、とてもありがたいことだと思います。
美しい川とともに、畑があちこちにあって、手軽に新鮮な野菜を買えることは、東久留米の魅力だと思います。できるだけ、守っていただけたらと思います。
夏には、トウモロコシと枝豆は必ず買っています。とても美味しくて!!
知人から東久留米産のはちみつを頂き初めて「地元産」という食材が気になりました。その時からスーパーで朝どり野菜を買ったり農家の庭先にある野菜を買うようになった。
農家のやさしいはおいしい。安心して食べられるので続けてほしいと思います。(代金を入れない人がいるのでその対策が必要!?)
東久留米(日本)の食を支えてくださる農家の方に感謝しています。安全でおいしい野菜をありがとうございます。
新鮮な野菜をありがとうございます。少しでも安く買えたら助かります。
農家の人達にありがとうと伝えたいです!ブロッコリーなど、他地区の人達に差し上げると、新鮮と喜ばれて嬉しい!かりんとうなども、安価で良い。
野菜が新鮮でとってもおいしいのでいつも楽しみにしています。
・親の代では、専業で農業をしていた家庭も、共働きが増え、畑を維持するのも厳しい農家もあると思うので、市民農園として趣味の場をつくることは農家、農業経験を希望する方お互いによりよい進展となると考えます。
自宅の近くに土地の貸し出し農園があればぜひ利用したいと思っている。
余り好ましくないが市民農園など家庭農園などでそ農地の保全是確保願いたい。
定年退職をしたら市民農園に通いたいと思っています。
市民農園をもっと増やしてほしい!
自宅から近い距離で畑作業できる場所をたくさん増やして欲しい。
今は働いているので野菜作りなどをするヒマがありませんが、仕事をやめたり退職(定年)したあとは、家庭農園をしたいと思っています。何かを育てると、愛着がわき、健康でボケ防止にもなり、家計にも役立つと思うので、市民農園のような、畑をかりるシステムがあるといいなと思います(近所に)
市民農園利用の件で、3年間、それも抽選で一生懸命土作りをしても区画も変わり、抽選で当たらなければ借りる事も出来ません。今は農家から直接借りていますが、水道などなく少し不便ですが、農作業が出来るのでよしとしています。放置状態の農地が見られます。野菜作りをしたいと思っている人は多いと思います。市で対策はないのでしょうか。
市民農園をできる場所を低料金で提供する(若い人中心) 例、若い家族(20~40代):中年(40~50代):

年配（50代以上） 比率→3：4：3 の割合で市民農園を分けて利用する等。
市民農園、体験型農園に積極的に参加し、自給率アップに貢献したい。また、収穫された野菜が地元の学給や保育園、福祉施設の給食で利用されれば、地元にお金が回ることになり、地域おこしとして活性化されると思うので是非、そうしてほしいです。安全な食と農を通じた街づくりに、市民として積極的に参加したいです。
市民農園を利用させて頂いて2年目になるのですがとても楽しくて生活の一部になっています。どうかずっと借りられる様をお願いします。
市から農園を借りてやっている畑が草でボウボウになっている所を見ると、別な人が借りたがっている人もいるんだなあと思います。
年々、農業用地が減少しており、このままでは将来農家がなくなってしまうと思います。ただ農家を保護するだけでなく、市民への安くて美味しい農産物の供給を行って、市民からの理解を高めていく必要があると思います。
上記に関して、市民に限らず潜在顧客に対して必要情報の周知（場所、日時、品目、価格、その他）特にインターネット情報として整備管理すること。希望者には宅配サービスも考慮。
これらのアンケートの結果を情報公開して欲しいです。HPみれない人もたくさんいると思うので、広報にのせる等お願いしたいです。
東久留米市の農業についてはよく知りませんでした。情報や現況をもっと発信してほしい。
おいしさの見分け方・調理の仕方・保存の仕方など。
農業振興のためにいろいろなことにチャレンジした方がよい。地元企業とのコラボや学校教育の中で農産物を育てるところから販売までを一貫して教えたり、中学校などで農産物・企画（パッケージ、ネーミング）なども教えてみるのも面白い。学校が無理なら市がプロジェクトチームなどを作ってやってみるのもいいと思う。
市民地域センターを利用して「社協塾」のような学習の場がほしい（できれば、地域産のものを使って料理教室などしてほしい）
東久留米市の農業を守るためにもっと市が力を入れ農業を継続でき、農業をしたい人が農家になりやすいシステムを作って欲しい。農地は農家の人にはしか購入できないのでは、新たにやりたい人が出にくいと思います。
農業用地の売買規制が複雑であり、売買がスムーズに出来にくいと思われる。新たに農業を始めようという人が土地を求めて農業が出来る環境をつくることも必要なのではないかな。
スーパーなどで、東久留米産の新鮮で安い野菜を多く販売してくれたら、作る側も買う側も助かると思います。
農業を続けていけるように、東久留米産の野菜を特にスーパーマーケットに置いて買いやすくしてほしい。
スーパーのコーナーを充実させる。
ひばりが丘のスーパーで手軽に東久留米産を購入できるようにしてほしい。
スーパーに農産物コーナーを置くというのは身近に感じられるもので良いと思うし、新鮮な野菜は利用したいがスーパーで農家の方の名前が記入してあるもの以外何処（庭先等）でしかも歩いて行ける場所で販売しているのかわからない。
たくさん農地はあるがほとんど趣味でやっているように見える。もっとスーパーなどに東久留米産をアピールし、置いた方が良くと思いました。
地場産商品としてスーパー等での販売を積極的に進めて頂く。割安感があれば積極的に購入する気はあります。
スーパー等と交渉して東久留米産農産物のコーナーを設けてもらう（小型道の駅）
春になると何も植えてない畑からの砂埃がすごいのでなにか対策を！！
固定資産税逃れとしか思えない。栗畑や梅畑が目にする。
税金対策の農地がすごく多い。

果樹の木が植えばなしで収穫されない農地をよく見かけます。税金の為ならこういう土地を、問 29 のようにしたらどうでしょう。又、収穫だけを希望者に売ってはどうか。
生産緑地として登録されていると思われる農地が雑草におおわれていたり、活用されていない所はきちんと指導して欲しい。
使われていない農地、税金対策で、御苦労されておられるのでは？
時間かせぎのための「農地」は不要。公的に意義のある「農地」を。
珍しい品種の野菜等を作る農家が少ない。
生産緑地が生産の体をなしていない（無法化）
最近の農家はセコイ（一部）税金いっぱい取ってあげて下さい。
東久留米市に限らず、税制がおかしい。※東久留米駅西口から小金街道までの道路、税金投資したまま開通させないのは、なぜだ（とりあえず途中の通行止めを解除して！！）道路が泣いている。
農業というより畑が減ったなあーという淋しい気持ちと市民税が他市より高く最近びっくりしたのでなんとかなればいいなと思います。何も思いつきません。
・相続農地を売却しなければ税金を払えない農家への優遇処置を取る事。・永久的に農家を希望する跡継ぎ者については、農地の相続税等の軽減策を至急に採用する事。・跡継ぎが途絶えた場合でも市等で農地の経営を引受ける体制を整える。・その他、あらゆる手段を講じて農地の減少を食い止めて市役所が前面に出て柔軟な処置を講ずる様にする。又は法律の改正をする。農地は公・市民との合議で農地の存続策を決定する。・相続税問題、固定資産税問題、環境問題、第三者委託農地問題等々。
土地の問題と農地は切り離せないものなので、農家の税金対策などには力を入れることを期待する。
農家の大多数は、不動産収入等があり、専業農家は少数だと思います。農地保有のため、課税で色々な優遇を受けてので、現況だと思います。生計は、不動産収入で保証されて、事業としての農業より、より良い農産物（有機栽培、無農薬栽培等）を生産する農業を目指したらいかがですか？
無人野菜売場で売れ残った野菜をよく頂くけれど、野菜はしんせんだから野菜なので、しおれていたり葉のこぼれる様な野菜は農家のメンツにかけてやめてほしい。少しでもしなびた野菜をもらうと、全てが新鮮でない様に思える。自分で作ったメーカー品の如、自信をもって売れ残りの野菜は出さないで頂きたい。頑張ってください。
個人の直売所は古く新鮮に見えない。また無人なので買うのに不安がある。
今の方は、野菜を始め、花や木の名前に関心がなさすぎるのではと感じています。「お花、咲いて、きれいですねー」とはいつても、さるすべりの名前も知らない。ましてや、ホウレン草と小松菜の見わけがわからないというか関心がない。「ネギなら知ってるー」と得意気に言う。では、それをどこで教えるのかと考えた時、学校でもなさそうだし、家庭でもやらなさそうだし、と思うと、暗たんたる思いになる。畑や木に全部名前札をつけてやろうかと思ったりする（無理と思いつつ）。将来に向け、皆がもっとまわりの自然界に関心を持ってほしいと思う。まずは毎日口にしている食べ物からでも。
品数が少ない。果物などの小人の好きな物を多く置いてほしい。
分散している農地をある程度まとめる。
住宅の一角の畑で春先になると牛ふんをまいて2～3ヶ月悪臭をはなし通り抜けるだけですが不快感を憶えます。
むやみに加工品を作らず、味で勝負してほしい。
添付資料の東久留米市の農業のデータが3項目共時期がずれておりなんだか意図的に感じます。自宅近くの農家だけを見てみると美味しいと思われる商品を頑張って生産していると思います。こういう農家は永続的に経営してほしい。並木市長が車から降りて畑まで行き（自宅近く）農家人と話をしている場面を拝見しましたよ（本物の農家の永続大賛成）エセ農家大反対
現在私も主人も80才以上で老人ホーム住なるも終戦後3、4年は郷里で本格的に農業に取り組み苦労した住宅も農家農地の近隣にあり農業に極めて親しみ農協の会員でもあった。もう少し若ければいろいろやりたところである。今は残念出来ない。

7月15日にてスーパー18年間の品出しを退職しました。体を動かして午前中に終わる作業があればとさがしています。
H26年4/27入院1ヶ月 左太胎部骨折 歩けない立てないのでかけないです
現在の農業は、先が見えている様な気がします。今、全国でオリーブ事業が始まっている事はご存知ですか？荒れた土地を使って、やってみれば良いのではないかと考えています。もし、興味があればご連絡下さい。
屋上を利用した養蜂や
有機野菜なので価格は高くても当然という、意識を少しでも改革していけたら。
以前は家の前にも栗林がありました。持主の方も高齢になり遂におやめになりました。農家の方も手がなくお年も重ねられやむにやまれずおやめになるのでしょうか。新鮮な物をいただければ、これに越したことはありませんが、住民もお野菜が欲しくても大根も玉ネギもおじゃがもとても重くて買うのにも難儀しているのが現状です。車で移動販売でもあればと思いますが、団地の階段を上げるのも大変です。市の方で良いお考えがあればと切に願います。
アンケートを出す先を考えて出すこと。年老いた男にとって答えづらい。
東久留米の地に適する物(太陽、その他から)は何でしょう。それを中心に農家の経営を安定させて下さい。このようなアンケートを取ることに疑問を感じます。市の財政が豊かではない中でこれに使われた費用を考えると無駄な出費ではないでしょうか。更にこのアンケートですばらしい策が見出されるとは思えません。農家の方達も大変でしょうが自力をつけるのが先決でしょう。各々が自努力が必要なのだと思います(各々とは市民各自、及び公務員の多さ)
町の景観環境として、農地を実利だけでなく、多少美しく見せる工夫が有ってもよいかと思えます。たまたま、ゴミや廃材、果ては故障した車が放置されているのを見かけることがあります。これらは人々の目に殺風景な印象を与え、農業への理解の妨げになっているような気がします。
道路に面した畑は角を三角にして下さい。枝だ何どもきって下さい。
市民のための調査大変だなーと思いました。本当にごくろう様です！
東久留米町の頃お世話になりました。当時は近所に緑の雑木林や畠が点々とあり静かでした。都市化が進み今は殆どありません。所有者の方に売らないでとも言えませんし私にはどうしていいかわかりません。ご協力できず申し訳ありません。
柳漕をととても愛しています。より良い生活が出来る様に思います。
問10 No. 2, 3の充実、拡大を願っています。
頑張ってください、応援しています。
少しはなれた所に畑をかりた方々、一部畑をかりた方が作っている(大きくなっているキュウリ、トマトその他見えています。じょうずですね。)イベント、特産品。理解、協力あまりできません。宜しくお願いします。
東久留米市のすみにある弥生に住んでいます。もっとこちらにも目を向けてほしいです。
このアンケートは母が主に目を通したアンケートです。
私は東久留米に来て50年になります。今はとてもすばらしい所です。年はとつても、皆と体操したり、花壇の手伝いなどしております。
農家=自主、何もやってもという様な風潮がある様に感じイメージが悪い。
駅のエレベーターで、子連れやベビーカーで待っていても、お年寄りが我先にと乗っていきます。子育て世代に優しくない町に未来はありません！！
個人的には柳久保小麦を使ったうどん作りや他の料理教室、農家さんが教える家庭菜園のやり方など。そういった体験が気軽に参加できるよう、市報に載せたり、参加費を市民は安くするなどして、いつも参加していないような人達も参加したくなる企画を期待している。
西武線の企画として、農家でうどん作り体験をやる(七福神めぐり、竹林公園、湧水めぐり)などと合わせる。
ぜひ、体験型の水田を造成してほしい。 203-0033 東久留米市滝山 1-2-13 金本秀樹

<p>体験農園をもっと増やしてもらいたい。体験農園の園主を指導、管理を市役所がする様をお願いしたい。</p> <p>数年前、市内で体験型農園を探しましたが見つからず、市外で仕方なく始めましたが、もっと近くにあれば今でも続けていたと思います。何もわからない者にとっては、とても勉強になり新鮮、安全なものを口に出るよるこびは格別でした。市内に市民農園があるのは知っていましたが、体験型農園があったのは知りませんでした。</p>
<p>宅配業者と手を組み、週一回程度の配達（年寄り向け）</p>
<p>カタログ販売（例）1500円、3000円、5000円コース。</p>
<p>東久留米で大規模農業は厳しいと思うので、小～中規模で続けられる方法で成功している事例などや研究をもっと知りたい。</p>
<p>全体に近隣諸都市の実情、場合によっては海外の事例も研究するようにして下さい。</p>
<p>ゼロからやらず、良い前例をまねる。教えてもらう。</p>
<p>人を呼び込み地域活性化に取り組んでほしいです。</p>
<p>都内でこれだけ新鮮でおいしい野菜が安く買えるのは、大変魅力的な場所だと思います。23区内に住んでいた頃は全然知りませんでした。豊かな水と土地が都内にある事をもっと東京都の人にもPRするべきです。とても大切なアンケート調査だと思います。ぜひ実りある結果が出る様期待しています。</p>
<p>新鮮、無農薬の野菜を家族に食べさせたいので、ぜひ東久留米市内で採れたものを積極的に購入しようと思います。また、父が三重の実家で本気農業をやっているため、私自身も、野菜を育てることに興味があります。今後、少しずつ始めていけたらと思います。</p>
<p>季節を感じる野菜や果物を時期に合わせて購入しています。</p>
<p>地産地消の観点から、出来るだけ、生活している近辺から調達（地場品）したいと思います。</p>
<p>地産地消の推進。</p>
<p>東久留米市に引越して来て、5年程です。（以前は横浜市青葉区です）会社員の家庭で育った私は、農業についてほとんど触れる機会がなくまいりましたが、栃木県出身で親戚が農家の主人は、東久留米市の環境が大変気に入っているようです。直売所にはなかなか行ける機会がありませんので、スーパーの市内産コーナー（野菜も加工品も）に喜んで立ち寄っています。私も影響を受けて、JAで購入する事もあります。2人家族で平日の日中はなかなか地元産を販売している場所に行けないので、購入のチャンスが少ないのが残念です。これからも自慢の地元野菜を応援しています。</p>
<p>地産地消が進むといいと思います。共同の直売所を作って、東久留米産のいろいろな物を売ったりスーパーに東久留米直売コーナーを設置して、買いやすくてほしいと思います。柳久保うどんをもっと宣伝して、市内で手軽に食べれるようになると、いいと思います。</p>
<p>小金井市は、地元産野菜を集めて売っている。安いし、おいしそう。こういう所があれば、地元の飲食店も買いに来やすいのでは。</p>
<p>農業活性化のため特産物の活性化と「地産地消」の環境づくり。（庭先販売の拡充）</p>
<p>東久留米市は黒目川、落合川が流れ、まだまだ自然があり良いところだと思っている。いつも無人野菜売場も利用しているし新鮮で美味しい。農地がいつのまにやら宅地となり淋しく思っている。農業は自然相手に厳しい面もあるが、なるべく減らさないでほしい。私は若ければ手伝いたいと思っているが…。</p>
<p>ブルーベリーやイチゴ等、農家の方に沢山作って頂いて、スーパーに行かずに新鮮なものを手に入れられたら嬉しいです。</p>
<p>今住んでいる「弥生」は、小平市に隣接しているので、庭先販売の野菜も小平市の農家から買っています。東久留米市の農家に貢献できず、残念に思っています。</p>
<p>東久留米産の野菜を食べたい。野菜を買うのはほとんどスーパーです。東久留米産コーナーをもうけたりして積極的に販売して下さい。</p>
<p>野菜だけでなく、お花も作って安く売ってほしい。</p>
<p>地産、地消する農産物の種類を多様化して、継続的な作づけの方向が良いと思います。</p>
<p>道の駅的な直売所や施設を作り、市内外から客を呼んで東久留米のPRも含めて行った方がいい。色々な特</p>

産物があるので、もっとPRを行って地元の人に愛される特産物にしたいと思う。転入してくる若い世代に向けて駅で行うとか。
農家の直売所の利用者が多いと思えない。
農家へ直接行くほど近くにないので、農作物の直売所を作ってほしい。
農家の直売所を良く使いますが、農家の方の愛想があまり良くないことが多い。
また、比較的交通の便の良い所に直売所（道の駅のような）を作り、もっとアピールすべきである。
東久留米に住んでそろそろ一年ですが、農地があり直売所があることや、スーパーなどでも地元産が売られていることに驚きました。以前は、他県のを普通に購入していましたが、地元のを購入できるので、野菜に興味もてるようになりました。
農家での直売所を利用させて頂いております。もっと農家さんの直売所を増やして欲しい。（品質に問題がなければ形は気にならないので量を多くしてもらえば尚ありがたいです）
毎日の生活で近くの農家から買わない日はないかと。大変お世話になって折ります。
新鮮な野菜を美味しくいただいているので、直売所など続けてほしいです。
直売所で品物を見かけると必ずという位、利用させてもらっています。いつまでも良い品を作って下さる事が出来るよう品数も増やして行ける事願っています。
新鮮ということで近くの直売所で買っています。
直売所をたまに利用しますが、マップがあるのは知らなかったです。小さいお子さんがいる家庭では、野菜等、新鮮で安心なものにと気にすると思うので、直売所マップがママさんたちに浸透できたらいいなと思います。子どもの3,4ヶ月検診で、離乳食のこととか、わくわく健康プラザであったと思うのですが、そーゆー時に、マップを配って見たらどうでしょうか？
農家の野菜を庭先販売所を多く出してほしい。
このアンケートが東久留米の農業に役立て欲しい。直売所の野菜をもう少し安くできれば。
家の近くに直売所がありますが、あまり野菜を見かけないので、クルネのサミットで、地元の野菜を買うようにしています。もっと近場でたくさん置いている所があれば利用したいです。小平では自転車道沿いに数軒あり、色々な野菜を見かけますが、東久留米では、私の行動範囲でそういったところは見た事ないです。自宅の廻りには個人の野菜直売所が何か所かありとても助かっています。いつまでも続けてほしいと思います。
農家個人の直売所で販売している野菜の値段は、どの様にして決めているのか。品物が悪くても高いのがある。
他の地域に比べて、直売所マップなどもあり、産直野菜がとても身近に感じられますが、農産物だけではない地産品のマルシェなどを定期的で開催して、特色ある農産品を売って行ってみたいはどうでしょうか？（めずらしい農産物など）
常設あるいは定期開催の直売場をできるだけ複数設ける。青空オープンマーケットでも良い。夕市方式なら、駅前開催等も考える。
朝市、夕市が選択肢にあったが開催されていることも知らなかった。駅前などで定期的を開いて、市民がより知りやすくしたらどうでしょう。
いつも美味しく頂いています。定期的に公園で販売会などをしたら、子育て世代の方も気軽に購入できると思います。
東久留米周辺では、ブルーベリー、パパイヤなどが栽培可能と思います。そのほか、イチゴ、ブラックベリー、ラズベリーなど、ジャム、ジュースとして商品化できる果実類を生産し、特産としてはどうでしょう。
新しい商品（産物）、新しい販売方法など、皆さんにアピール出来る工夫が欲しい。特産は〇〇ですと一言で言えるPRが欲しい。特徴は何か？東久留米の特産をPRして下さい。商品開発？商品企画？行政の企画力が欲しい。若手の意見を出して下さい。期待します。何もしなければ今までと同じです。
特産品をもっと値段を下げて買って喜ばれるものにして、東久留米特産品を広めてほしい。
特産品を増やす。

柳久保うどん（乾）を買って食べたが、あまりおいしくなかったので改良を望みます。
「うどん」「かりんとう」の店が多いことに引越をして気付きました。「柳久保うどん」をもっとキャッチーにして広めれば良いな…と思いました。「柳久保かりんとう」を探して食べてみたいです。
駅で以前、柳久保うどん等の販売をやっていたことがあるが定期的にやるのがいいと思う。
柳窪小麦は、貴重なめずらしい小麦だということはわかりましたが、普通の小麦と比較して栄養価がどうなのかということ詳しく調べてみてはどうか。”風味が良い、おいしい”だけではなく、栄養面からの差別化が図れるのでは。普通の小麦とあれだけ成分が違うのだから何か持ってるはず…と思うのですが。世間は健康ブームですから。何か特別なものが見つければ、市の農業の振興に大きく貢献すると思います。
全国にアピールできるような市の特産物となるような商品を決めてみんなで協力して意見を出し合い、市民・農家の方々が次世代につなげるようなものを考えて、作っていただけたらと思います。
安全な食物、地産地消、自給率の向上…等の為近隣の市町村と協力して、全国でもモデルになるような体制を築いていくといいのではないかと思います。東久留米に特産品がある事を初めて知ったのでぜひ機会があったら購入してみたいと思います。地方の知り合いへの贈答品になるか検討してみたいと思います。
正直言って市内の農業実態が分からない。柳久保うどんを復活させた好事例があり、これをもっと積極的に支援して、市の宝に…さぬきとか水沢とか稲庭とか…名物は短時間では出来ない。英知を結集してビジョン作りから。並木さんやれよ！！
花や果実の生産を中心とした都市近郊型農業を推進すべきでは。ハウス、温室的生産形態のものも、もっと多く在ってもいいのでは。現在は「柳久保小麦」以外これといって目立つ物が無いのでは。
荒れている農地もあり、水や空気、安い土地が豊富なエリアと都会の真ん中の狭い土地では、新鮮で安価な野菜をつくることに、環境面で差がありすぎると思う。大都会で農業をやる意味があるのか疑問。
都市化した地域の農業は、消費者との距離が近く、病虫害被害が少ないなどの農業の優位性があり、そのメリットを生かす農業側の努力が必要。市民はその農家の努力を見守り育てることを基本とした支援がベター。
農住近接のメリットを追究する。
農地を農業振興の目的だけで捉えるのではなく、市域全体、または隣接市域も視野に置いた都市計画の中での位置付けを明確にしてもらいたい。特に未整備な都市計画道路と宅地にある農地については道路化を早期に進めるべきと考えます。
久留米の農家さんの土地利用が大変むだが多い。
土地活用については企業ノウハウが絶対必要。農業ブームなどもあるが限度がある。東久留米はベッドタウンとして肥大化し過ぎてしまっている。そういった面から最低限の農地の繁栄があればよい。戸建の家も建てれば手当たり次第に売れている。市民が求めているレベルが今農業ではないことは明白。
特に学園町は小さな子供達の遊び場がなく、道路で遊んでいて、とても危険です。ゲートボール場をもっと上手にお年寄りと子供の日等に分けてあげてほしい。
日頃感じていることとして、道路行政があまり良くない。農業（農地）問題と都市計画を一体化した全体コンセプトがまず明示されなければならないのではないかと思います。
農業で生きるより、アパート等にした方が利益はでるので、良く残っていると感ずてる。
ただ限られた土地、財源の中でできる範囲で行うべきだと思います。
我家の近くに空家が目立ちます。特に何年も放置されたまま朽ちるにまかせています。夕方にもなるとその家の前を通るのも怖いくらいです。難しいこともあるでしょうが生産性のある土地に生き返られたらどんなに良いでしょう。的外れのことを書いてしまいました。
農地として登録してあるようで、年間をつうじて作物らしき物の生産はしていない、農地なので耕運機で耕すので畑の土はサラサラ状態の為、風が吹くと家中ほこりだらけになり困っています。対策を考えてほしいです。
農地分布にもあるとおり、市内全体に小規模に点在しています。地区ごとにもう少しまとまれば生産性も上がると思うのですが、難しいですね。小平市はフルーツもある程度ありますが、東久留米はほとんどないで

すね。
六仙公園内にある農地ですが、2年前に梅林を住宅を作るため整地した土をダンプで十台近くを農地に入れたのですが、たまに整地するだけで農作物は全然作らず秋から春にかけて北風が吹いた時は砂嵐で土が飛んで周りの住宅は大変迷惑。そこに最近「東村山都市計画生産緑地区（東久留米市決定）」の支柱が立ちましたが公園にするなら早く作成してほしい。近くに1件ある。
・野菜類の二期作農業は出来ませんか？
生ゴミの堆肥化は、面倒な手続きなしでできるものであれば、簡単に農業の参加者になれるという点で良いと思います。
大分以前に山形県の或る自治体でゴミを分別して生ゴミと燃えるゴミを分別して生ゴミで堆肥を作ったという事を見聞した事がありました。その結果、燃やすゴミの量が減って煙が半減したという記事がありました。今は、焼却炉も改良されて自然問題もないかも知れませんが。
生ゴミの肥料化はあちらこちらで行っています。出来る所から取り組んで行ってほしいです。
市民から出た生ゴミ全てから出来た堆肥を安価で農家に提供する。ゴミBOX隣にコンポスターを設置する。
生ゴミの堆肥化について。今個人的に農家と連絡して生ゴミを畝にはこんでいます（安全な野菜を購入できる）行政側で生ゴミの回収をして頂けると大変助かります。有機農産物の生産にも役立つと思います。ご検討下さい。
ゴミボックスのとなり等に生ゴミ用のゴミボックスを設置できれば分別して農業での堆肥の役にたてないかな？と思います。
肥料のための生ゴミBOXがあれば協力したいが生ゴミを肥料にするまでの術と時間はない。
家庭の生ゴミが農家の肥料として役立つようなシステム作りを早急にして下さい。それがゴミの減量にもなると思います。
農家の庭先販売利用させて頂いてます。いつも安く新鮮な野菜を提供して頂きありがたいです。
農業政策が充実していて、庭先販売など楽しく暮らしています。季節感もあり、すばらしいと思います。滝山団地では、酒屋さんなどにも庭先販売のものが置いてあり、大変便利です。
庭先販売で農家の方にベツタリはりつかれると買いにくいな〜…と思っています。100円をちゃんと入れない人がいるからなのでしょうが…。でも、キレイに袋に入れてくださっているの、よく、職場の人にプレゼントしたりしています。ありがとうございます。
庭先販売で交通に支障が生じていると思われるが何らかの規制が必要だ。
庭先販売等がもっと人目につく場所にあたりすれば買う人も多くなるのではないかな？もっと直売の良さを知って欲しい。
以前は庭先販売を良く利用したが最近値が上がってきてスーパーと変わらないのも多くなってきたので無理して時間を作り買いに行くのが少なくなった。庭先販売を大きくしてかなりの収入があるはずこの所得はどうなっているのか？働いて市民税を納めている人には？が残るよね…との会話を交わした覚えがある。
野菜は農家の庭先での直売所をよく利用しています。JAのお店はまだ入った事ありません。少々、入りづらいような感じがしてます。
今春、練馬区から転居し、そこと同じように農家の庭先販売がされていることに安心しました。練馬では件（軒）数の割にロッカーが多かったのですが、東久留米では、その農家の方がいらした対面販売が多く、温かみを感じています。練馬とは自治体としての規模が違いすぎますが、こと農業についての環境はかなり近いものと思われますので、市民農園、体験農園（初めてされた農家で学びました）の仕組みを相互に研究されてはいかかかと存じます。消費以外での農家の方々への貢献もできるように考えたいと思っています。
いつも庭先販売を利用してます。そして新鮮な野菜をいただいています。天候の厳しい中、一生懸命に作業されている姿、感動します。今年は「とうもろこし」が甘くておいしく、たくさんいただきました。いつも応援してます。ありがとうございました。
庭先などで野菜を購入していますが、少し遠くまでいかなければならず、週1以下の利用です。商店街やス

<p>スーパーでもあつかつて下されば、週に何度も食べられるので積極的に販促してほしいです。</p>
<p>庭先販売を行っています為、新鮮でおいしい野菜を購入出来私共は幸せに思って毎日を過しております。ずっと続きます様祈っております。</p>
<p>安心安全な新鮮な野菜をいつもありがとうございます。庭先での旬の野菜を買うのを楽しみにしています。</p>
<p>庭先販売をしている農家さんの話によると、お金を払わない人が多いようなので、カメラなど、取付を手助けが出来るように出来ないでしょうか？そうすれば庭先販売をする農家が、多くなるような気がします。</p>
<p>庭先販売は屋根付きだと天気に左右されないので利用しやすいと感じる。(家のような作り)助かっています。</p>
<p>野菜の庭先販売は新鮮で、近い事もあり、有難い。唯、品数が少なく、量も少ない為、買う事が出来ない日も多いのが一番の悩みである。庭先販売の所に、作ってほしい野菜名を記入するノートなどが有れば、希望をかなえて頂けるのでは…。</p>
<p>庭先販売は安いし、新鮮、安全だと思うので時々利用しています。農家の人と親しくなる程ではないが。農地面積は市の環境に潤いを感じるので保持出来たらと思います。※今回の設問の仕方は下手だと思います。重複したり、ポイントが違ったり。主に女性を選んだ方が良かった。</p>
<p>庭先販売は場所によってはたくさんある場所と全くない場所があるので残念。ない場所にも設置してもらえると嬉しい。</p>
<p>庭先に出来るだけ販売してほしいです。</p>
<p>市内の農家の庭先販売続けて欲しい。</p>
<p>スーパーで買う野菜より新鮮でおいしいのでずっと庭先販売を続けて欲しい。ただ、無人をよいことにお金を投入しないで品物だけ持ち去る人がいると耳にすることがありとても残念だ。</p>
<p>今は農家の庭先販売利用してます。散歩しながら家々で販売品がちがい楽しんでます。ずっと続けたいものです。</p>
<p>私は庭先販売などで時々野菜とか花とかを買いますが旬の物を新鮮なままで食べられるのは嬉しいですが品数が少ないのと農家の方の気まぐれ的？なので、いつも同じ物があるとは限りません。そんな中、クルネの中のサミットスーパーでは、いろいろな品が常にあるのでよく利用します。</p>
<p>練り上げた考えではありませんが、今回、アンケートに回答する機会を頂いたことをとても嬉しく思います。勤め人世帯と土地に根付いて生活される農家の方とは接点がありませんので、何らかの機会があればと希望します。</p>
<p>農業をしている人達は古くから東久留米に居る人たち。この人たちの新しく東久留米にやってきた住民への歩み寄りが必要なのではないかと。</p>
<p>家の近くにある農家さんと知り合って、手伝ったり、買えたりが理想です。知り合えば、音や土ぼこりも、親しい人なら気にならなくなると思います。</p>
<p>昔から営農している人と、戦後市内に転居してきたサラリーマンの人との間には、壁があり、一体感が感じられないので、この差を解消しながら市内の農業の大切さを市民の多くが感じながら生活できる様になれば、農業への理解・支援が市民全体から得られるのではないのでしょうか。転居して来た人は「よそ者」であることを意識している人もいますし、昔から住んでいる人が横柄に見えてしまうこともあります。歴史ある久留米の農業の良さ、近郊農業の厳しさ、農産物生産への熱意を、農家の方は積極的に市民にアピールし、市民を取り込む努力を続けたらいかがでしょうか。農家の方を応援しています。</p>
<p>トウモロコシや、枝豆、トマト等出来る頃、農家さんの広い庭で、パーティー（商品販売も）等を行ってもらう。参加費500円位。</p>
<p>また、無人販売所などの利用によって、一部の市民は農業を身近に感じているが、その他大勢の市民は距離を感じる、または無関心という場合が多いと予想されるので、農業と市民を近づける取り組みを実施することも有効だと考える。NPOなどを仲介として農業のボランティア（公益活動）などを募集し、参加に応じて何らかの対価（ポイントなど）を支払うことは一つの案である。こうした取り組みは他の自治体でも行われている。</p>

アンケート集計お疲れ様です。振興とか…むずかしいことは判りませんが、実は農家の方へのイメージは良いものではなかったです。土地を持っていて、駐車場やアパート経営で収入を得ているんだな…とっていました。ところが近所の直売所で野菜を買うようになってから、そのイメージが変わってきました。その直売所は無人でなく、いつもおばさんがいらして、野菜のでき方、調理法を教えてください、スーパーで買うより安く提供されています。農業という仕事の大変さも判ってきました。農家の方の話を直接聞ける機会が増えれば、身近に感じられるのかな…というのが実感です。
市内の実家は畑にかこまれていて季節によっては、ただで野菜をもらいます。近所の方に声を掛けるだけなので、あまった野菜はそのまま、枯らしてしまう事があるようです。こういう”ただ情報”を上手くまわりに伝えられたら、野菜や農家がもっと身近になるのかなあとと思います。
市が市内の農業に関してアンケートをする程考えているとは思わなかった。本気で市内の農業振興をしようと思うならそれぞれの農家の意識が一番大切だと思います。不衛生、騒音、近所との付き合い方など、周囲に不快な思いをさせてしまう農家があれば、市民の農家に対するイメージは悪くなるのは当然だと思います。東久留米は農業の市ではないので、市民に認知されるためには良いイメージを与える事で、市の協力はその次だと思います。
農家がこの20年間で相当減ったように感じます。それは寂しい気がしています。
農作物を作っている方は、高齢の方の様に思います。若い方もやりたい仕事にはできないものでしょうか？せっかく森もあり緑が豊かなフルタタルヒ先生の本の様な市にはなれないものでしょうか？
今農業にたずさわっている人達を見ると、どこで働いている人も相当な年配者ばかりであります。もしこの人達がいなくなったら後継ぎはどうなるのでしょうか。若い人達が農業に携わる方策がこれから必要ではないのでしょうか。即宅地では、情けないですね。
高齢化が進み、
農家での高齢者の多い中、
市民農業を支えている方々の「声」がきこえるようにしてほしい。
例えば、篠宮ファームさんの様に行列のできる農家もあります。とても努力なさっている人柄も良く多くの市民が買いにいきます。農地が減少するのは、農家本人にも原因があるのではないのでしょうか？農家さんの家は立派で高級車に乗り、一般市民より贅沢な暮らしをしていると思いますよ。農地が維持できないのであれば、国に返納すれば良いのでは？
農家によって無人販売の取組に差がありすぎる。(何年かかけていっしょうけんめい取り組んでいる農家がやっとならなってきたので今はそこを利用している)
もっと小中高校で農業にふよする教育実践をされては如何でしょうか。
農業の大変さ、又は喜びを小学生のうちにしっかり学んでもらいたい(又は中学生)できれば有機農業でやって欲しい。食べ物大切さをもっとおしえるべきです。特に肉と比べてどれだけ野菜の方が地球にやさしく、動物虐待を減らせるか(豚、牛、とり)
農業振興を真剣に考えるならば、小学校からの教育は不可欠である。(体験も含めて)
各地域での農作物(東久留米産)を使用した料理講座や親子料理教室等。地場産の旬のものを使った給食など、食べながら、作りながら農業の大切さ、東久留米の農業のあり方等や地場産の普及、消費ができれば良いと思う。
3才の子供は保育園の行き帰りの道で、畑に育っている作物を見たり毎日直売所のシャッターが開いていることを楽しみにしています。農地と住宅が共存する、とても良い環境だと思っています。もう少し、農作物を売る買うだけでなく、一緒に育てる学ぶ、などできたら良いと思います。
農業と食育のコラボレーション
株式会社で経営するべきで有る。株主、各農家、経営会社、東久留米市。
今後もおいしい野菜をお願いします。
地元農業は大切だと思っています。
市外のスーパーにも出荷し消費者に買ってもらう農家の方々の生計のたしにして欲しい。そしてできる限り

農業を続けて欲しい。
農業を維持していくことは大変なことと思います。日本の食料自給率が減っている中、東久留米の農家の方々もご苦労が多いと思いますが、頑張って農業を続けてほしいです。その為の助成金制度等考えることはないでしょうか…。
せっかくなので農業はこのまま続けていってほしい（新鮮な食材が食べられるのは健康的）。
市民講座や市民大学で市の農業の「現状と課題」について市民に知らせてほしい。
農業の講座などを開いても、参加するのは関心と時間に余裕のある一部かもしれません。農業を市民の日常に根付かせ、より広く、多くの人が農産物と共に生活が成り立っているんだという意識をもつように機会をつくるのが一番大切だと思います。
農業に関する市民講座などがあればいいと思います。現在、農園を借りていますが、他の人との交流が希薄なので、今一つ、野菜作りのモチベーションが保てません。そのため、もっと農家の人や野菜作りが好きな人と交流したいと思います。そのために、もっと情報を発信していただければ助かります。
せまい自庭で球根を植付花を咲かせました（ユリ、ダリヤ、グラジオラス）楽しく写真もとりました。だけど、キュウリ、トマト、ナスは実がうまく育ちません。市、農協などの、基礎からの適切な指導があれば幸いです。若い頃からほとんどありません（経験が）いろいろ参考書を拾い読みしても実際にはうまく育ちませんでした。しかしうまく育てる方法を理解、うまく出来るようになれば、広く農業にも感心を持つようになると思います。高齢でもあるので、若い人のように活動できませんので、こまめに教わるよう希望しています。
小学生の頃は農業体験がありましたが、中学・高校ではなかったので、中・高では「仕事」としての農業を知ってもらえるようにしたら良いと思う。もっと若い人に農業に関心を持ってもらえるようにしたら、今後につながると思う。（農作業のアルバイトの募集など）特産品をつくるなど、農業振興に力を入れていると感じるので、何かできることがあれば協力していきたい。
もっと若い人たちが農業にたずさわってくれるといいと思います。地主さんで土地を持っていないと農業はできないのが現状なのかもしれませんが…やる気のある人がもっと参加しやすくなるいいと思います。
就農希望者の受け入れ
若い人も参入できるようにしていく必要があると思います。
若者が進んで農業を職業として選べる環境作りと応援を！！
農業に興味のある人、働きたい人と、農業をしている人で人手不足に悩んでいる人とをつなぐ手段が少ないような気がします。
耕作放棄地で農業する為に（パートさん等）に時給を支払う形で農業を残してほしい。パートさんが、畑の持ち主の代わりに農業をする。
農業をしたい人もいると思います。その人が生活がなりたつような仕組みを作り会社勤めな様な農業があれば失業対策にもなるし、市報で働く人を募集してはいかがでしょうか。他県ではしているところがあるようですが、パソコンでしています。持っていない人も多くいますから市報にのせるのはいかがでしょうか。市報はおおくの人がみますから、もっと色々なことをのせてほしいです。市民のために。
農業は食や豊かな心など多くのことを与えてくれると思っている。そのため、もっと東久留米市の農業が活性化してほしい。
実りのある農業経営を期待します。
東久留米市が、活性化する事は、良い事なので、市内で出来る野菜や果物を積極的に購入しています。ブルーベリー、梨、いちご、トマト、とうもろこし、いっぱい良い物があり、大好きな町です。
個人的には農業に対する理解や「地産地消」などの農業の振興は大切だと思います。
もう少し農業について大事に考え、将来食料に困らないようにしていかないと、市民がもっと考えないといけないという風土をつくっていかないと考えています。
やり方にこだわらなければ今の時代、クラウドファンディングなど面白い方法もあるくらいですから、税金をたくさん使わなくても、意外とお金はなんとかなるのかもしれませんが。企画が現実的で魅力的であれば、

お金と人は集められるのではと思います。
農業が益々振興すれば、楽しく美味しく戴けて生活できます。
東久留米市の財政を考えた上で農業振興を検討してほしい。駅から近い所にある小さい農地には疑問を感じる。住宅にすべきである。また、農家のモラル向上にとりくんで欲しい。建設業でさえ、くわえタバコで仕事をする時代でなくなっている。まわりから見られている意識をもってほしい。
また、農家がもうかる仕組作り（大口顧客との専売の提携等）を進め、
考える、検討するでは前へ進みません。実行力がためされます。
農業がさかんになるような政策をお願いします。
緑多い東久留米の自然が守られる政治を是非お願いします。
農家の支援の為の財源を増やしてほしい。
市の振興計画策定のため、経費はかかるが、インターネットで市民意向調査の実施を望む。
続けて欲しいと希望だけ言うのではなく農業を続けていただける環境（農地、経済）を自治体が整えて欲しい。そのための税金でもある。市役所職員の数を減らしその分の財源を回せるようにするのも1つのアイデア。市役所職員多過ぎ！！
回答に苦慮する質問が多かった。（該当なし）質問に対し、用意された回答が適格（的確）ではないように思う。市として、農業をどのようにしたいのか、ビジョンを先に示すことが必要と思う。このアンケートにもとづき、市としての施策を検討するのであれば、設問をもっと考えてほしい。よろしく願いいたします。
地主が世代交代を機に農業を放棄し、農地を売却、宅地化していくことに憤りを感じる。農業を継続することが、農家にとって経済的にも魅力を感じる事が出来る支援策を導入する一方、農地を売却する際には、市税として重税を課す等、農業を放棄することは大きな負担を伴う罰則となるような制度を導入することも必要だと考える。
農家の方が亡くなる度、土地が売られ、戸建やマンションになっていくのは仕方がないけど、不安も感じる。職業として成り立たないのに続けてと安易に口出しは出来ないので、行政としても、なんらかの対策を考えてほしいと思います。
小・中学校時代の同級生で実家が農家という方がいますが、そのお宅も広大な農地を所有しており、「東久留米市の農業」というものが身近に感じられます。先日自宅から通っていた小学校までの道を通っていたら、当時は農地であった場所に新築の住宅が建っており、東久留米市の農業概要に記載されている現状というものを感じました。農業というのは自治体の一つの重要産業であると思うので、市、市民全体で農業をどうにかして支えていくことが大切だと思います。
昔ながらということで農業を見ているため発展はないと思われる。抜本的な改革をし税金等を有効に使わなければ農業保護をうたうばかりでまったく住人の利益はなくすたれていくと思う。
都市農地の保全は、正直コスト面で考えるとマイナスでしかなく、市としては厄介な事項であることは承知しているが、農地の持つ多面的機能は非常時などに効力を発揮するので、そうした面を考慮して保全に取り組んでほしい。この調査が単なる集計に終わらず、実際の農政に有意義な効果をもたらすことを期待しております。
一時、若者の農業離れが言われていましたが、近年若者が農業に興味を持ちつつあるとテレビ等で見えています。何とか大変な農業をいとわない為の方策などたてて、農業人口を増やさなければどうしても輸入に頼るようになるのではと懸念しております。
農業支援で安心できる野菜果物を安く提供出来る様。
東北の震災に伴い日本の土壌がどれほど安全か否か不明だが、安心して食したい。私というより日本を担う子供達の将来のために。豊かな財政に向かって、暮らしやすい市にしてほしい。
私は、生まれも育ちも市内で育ちました。小さい頃から近所のキャベツ畑で紋白蝶等を捕まえた記憶があります。市内の農業が減少している事は非常に残念です。なので、市内の農業がこれ以上に減少しないためにも多少の補助金を捻出しても良いと思っています。
東久留米に戻り、1年経たないが、本アンケートにより東久留米の農業について考えるべきと思った。今後、

東久留米の農業、農地継続の為に出来る事があれば協力したい。
後継者の問題、相続税の問題などいろいろなことがあると思われませんが、是非より良い施策をお願い致します。
農業だけでも生活が成り立つ政策を。有機農法の野菜がいつでも食べられる様になりたい。
市が農業を推進したいのかどうかの方針が分かりづらい。農業が減少している事実は分かりますが、土地を売却するのであれば、一旦市が買い取って、計画的に町を作ってもらえる様にして頂ければ、暮らしやすさを求めて、市の人口も増え、税収も増え、前向きな運営が出来るかと存じます。
市内農家の協力を得て、農地を自由に借りて、野菜を作れるようにしてほしい。市民農園以外に農地法等の規制改革を進めてほしい。
アンケート調査が初めて東久留米の農業について考える機会となりました。知りませんでしたね。いろんなこと。農地、農家の減少には危機感もあります。積極的な行政のあり方を望みます。都市化はこれ以上望みません。
とうもろこしはいつも農家で買っていてとても美味しい。でも、農家の方々のご高齢の方が多くて大変なんだろうなあとと思う。保育園でとってくる「のらぼう」がとても美味しくてびっくりしたが、家の近所には売ってなくて残念。農家の方との農作業体験など通しながら、子供たちに昔の東久留米を伝えてほしい。戦争や戦後の話なども伝えてほしい。
今回のアンケートにも書きましたが、私の子どもが通っている小学校には畑がありません。整備等が大変だとは思いますが、作物を育てる、収穫するという貴重な体験をたくさんしてもらいたいため、全校に畑があればいいと思いました。
親子農業など参加してみたい。
ひょうたんやへちまを使った工作づくりを子供達と開催する。農ではないけれど、親しみがもてるのでは。子供たちの農業体験は、今後もぜひ続けて欲しい。
農業は「食」につながる大切な産業だと思う。農地を住宅にするだけでなく、子供の体験（畑作業、収穫作業）ができるような場所にしてみたい。難しい課題ではありますが。
体験型農業ができる事を都内にもアピールし、遠方まで出向かなくても体験できるツールを考えてみては。 ・生協を利用しているのですが、シルバーNPO法人の方が、畑を十分にケアし、じゃがいも掘り、ラズベリーとり、ジャム作り等体験会（有料）をしています。そのような取り組みが市であると、教育としてもよりよくなると感じました。昔やった草取りなど、「苦」となるが「達成感」となる経験が今の子は少ないので、授業でもやってほしい。
農業体験を通じて農作業のお手伝いをしたいのですが、病の百貨店で服薬も多く、体力がもちません。校外授業として、中学生に体験を通じて農作物の製品になるまでの過程を学習させ、食文化の発展に寄与させることを組織的に取り組んだ方がよい。
今回のアンケートで東久留米に色々な特産品がある事がわかりました。農業体験等機会があったら子供にも体験させてあげたいと思いました。
小学校での体験学習などで農家の方にご協力いただいて、子供達は農業を身近に感じる事が出来てとても良いと思います。しかし、市内で作物を作っていないような畑があるのは少し気になります。
農業体験や手伝い等をポイントとして集まると東久留米の農産物がプレゼントされると良い。
時間がなかなかとれませんが、農業体験もしてみたいですし、農家の方々の営みが続くよう協力もしたいので生産者、消費者が共に盛り上げて”農業”を残していけたらと思います。
後継者づくりの為に学校や休日に子供が体験出来る機会をつくる。
そして、地域の人々に愛される農業になっていくよう、学校給食や農業体験を続け、農業とブランド作物との関わりの機会を守っていくべきだと思います。
農家の庭先販売だけでなく、少々高くても収穫体験もできると良いなーと日頃感じています。例えばとうもろこしを自分でもぎ取ることができたら、子供にとってすごく良い体験になると思います。感動して目を輝かせることでしょう。ただ庭先で売っているのを買うよりもずーっと農家の方とも交流できて農業に関心が

できると思います。(小平のブルーベリー摘みで、農家の方といろいろお話したので)
子供が小さいのですが、大きくなったら農作業体験等で自然と触れあう機会を設けたいと思っています。そのような場所が身近にあるとなお良いと思うので、市内の農業の維持拡大を期待しています。
100～200円位で収穫体験をさせて頂けると野菜嫌いがなくなると思います。
農業のアミューズメント化、テーマパーク的なものの構築。
特に若い世代は、農業に関心の少ない人が多いと思う。次の世代に農業を伝えていくためにも、若い世代が喜びそうな振興を進めてほしい。
子供達に農業に関心を持ってもらいたいです。
異常気象などによって、農作物や生産量が不安定になっています。農業。食を守るため、食べ続けることが重要であると考えています。
目に見える場所で作られた作物を食べる事ができるのは、幸せな事です。農業経営がうまくいくのには、どうしたらいいのかわからないですが、続けて行きたいと思えるような、続けて、食べて行きたいと思える、しっかりと見える物を見つけられるように考えるのが大事だと思います。
市内の周囲にはまだまだ緑や自然があり都心から帰ってくるとホッと出来る場所です。市外の集まりの時等、東久留米の良さや住み易さなど宣伝しています。年々都市化するのは仕方がないとしても、きれいな川の流れや水鳥、点在する農地があってこそ東久留米の価値があると思います。「年には勝てない」という農家の方達を元気にする為にも是非本腰を入れた対策を望みます。物作りの楽しさ、大変さを若い人達に体験してもらい、又次世代の子供達にも伝わる様、一時的な思いつきではなく、継続した対策をお願いします。農業や農作物の利用には興味がありますが、月、1～2日くらいしか自由時間がとれない現状。時々草むしりや作業を手伝って、収穫のお手伝いをできたりすると楽しいんじゃないかな。協力金、出資金(初期費用的な)ものを出すのもよいか。
農地が近くにあると何故か安心します。農業を体験、手伝うという考えはあるのですが、それは最後まで責任を持たなければと思います。1年を通してまたは、何かの作物の終始を計画的に手伝う日が分かれば、時間を作れると思います。
草が生えている畑を見ると定年退職した人及び高齢者が個人的に家庭菜園で自家用に栽培してみたい人に貸して草取り作業の手伝いをしてもらえば農家も高齢者も健康維持につながる(家にひきこもるとボケる人が多くなると思う)
小平のブルーベリーは知っていましたが、東久留米の農産物は全く知りませんでした。イチオシできる名産品を作ってほしい。
農作物がとれるということは昆虫が多いということ。農作物と昆虫を展示する建物を作る。六仙公園内に。
夏の葉物野菜がかたいから買わなくなった。
良い物を作る。市民に安全な物をていきょうする。
少し歩けば農地や直売所があり、いい所だなあと思う。ただ深く関わってはいないので、何とも言いがたい。
家のそばに街灯が無く夜になると真っ暗になる道があります。娘が夜道に歩くのが物騒なので街灯の設置をお願いしましたが道の両側に広がる畑の農産物の生育に影響があるとのことで街灯の設置がされていない。その為、夜娘の帰宅時刻になると表通りまで出向いている。昔からの農家の意見が重視され、新たに建売に引越してきた多くの人々の意見が蔑ろにされている現状では、農業に対する理解が阻害されるのではないかと思います。
直接は関係ないが、農地周辺は夜間暗く、街灯の設置を促進して欲しい。
日本は食料を自給率が低い為輸入に頼っています。近年、農地は宅地化され増々少なくなってこの先不安になります。行政が農地を会社組織化して資金を払ってはどうでしょうか。
農地をまとめる。
雨が降ると、畑の土が道路や家の前に流れてくるので対応を願う。以前に市役所に連絡したら畑があるのを承知で購入したのだから我慢せよとの返事だった。何という上から目線の発言があった。全く許せない。住

んで20年以上もたっているのに。整備すれば反発（畑の土）はなくなると思う。
都心勤めをしています、東久留米、清瀬一帯は、荒れた畑があつて田舎と話している人を見ました。印象が悪いですね。荒れた畑を整備すること、安全で新鮮な野菜をできるだけ安価で市民に提供できれば、全国そしてアジア等近隣諸国に販売できればいいと思います。西川さんの枝豆、好きです。
余りの農地は役所が買い取り、希望者に貸す、作物は役所が買い取り、給食等の地産地消をすべき。課税（対農地）がきびしすぎる。
・現在の農地を子供の代にもつげる様な税優遇策を出来ないのか？親が死んだらその土地は売るしかないのかな～。
農地が年々少なくなっていくのは淋しいです。
駅の近くで農地を持って農業をしている人は豊かに見えるけれど、年々農地が減っていく姿をみるとちょっと残念。
新鮮な野菜を買えることは、楽しみでもあります、年々、宅地が変わり、農地が減っていくことに淋しさを感じます。都心に近いということで、しかたないかもしれませんが。
日常東久留米の農業について特に考えた事はありませんでした。畑だった所に家が建ったりアパートが建ったりと広い土地が段々無くなるなど、少し淋しさを感じる事がありました。
農地が宅地や商業地にかわっていく様子をよくみかけます。同時に無人販売（近隣）が無くなり淋しく感じています。
家がどんどん作られていて、畑が減っていくのはさびしいです。
相続が発生する際に周りから農地が消えのどかな風景も変わり本当に残念です。
現在徐々に農地が減ってきており、自然が減ってきていると感じる為、景観をそこなわず住み良い街づくりを目指して欲しいです。
ここ数年の間に、農地は減り、民家が建っています。ただ、民家の周りにもまだまだ農地も残っていますが、農家の方々にはもう少し周りへの気配りが必要かと思います。農業振興と対策（農地からの土の流出のくい止め、ゴミ燃やしの禁止など）を同時にお願いしたいと思います。
畑が年々、減っていて、さみしいなあと思っています。野菜づくりをやってみたいと思っているので、畑を借りたりできれば、ぜひ、やりたいです。一部で、やっているようですが、家の近くであるとうれしいです。
農地が宅地に変わるのを見て、農家さんの苦労が見える気がする。
大規模農家も徐々に土地を手放し、売地化が進んでいます。本来、農業は人類発展、発達の源です。
歩道分を提供して頂けるようお願いして貰いたい
私の家のすぐ横の農地はもう何も作っておらず、毎年ほこりなどで迷惑しています。そういった場所には市が立ち入ってほしい。
1年中、何も育てなくて、風が吹けば土ぼこりがまっけてこまっています。
農地が有効利用されていない。農地に柿や栗の木を植えているだけで、実際には栽培はしていない単なる税逃れをしている農家が都市農業には実に多い。何故こんなことが許されるのか、不公平である。時価に相応した農地に対する税制を考えるべきだと思う。そうなれば、もっと土地の有効活用が出来るようになる。
東久留米市内を色々散歩しますが、どこの農場でも空地ばかりで野菜類の植物があまりみえません。一年中、無農作畑が多くみられます。ハウスが少ないみたいです。農家の方々に資金提供してもらって一年中、青物で生産できる様に協力お願いします。
水に恵まれているので、農地に水路等で給水する。
相続などで、農地がだんだん減っていくのを見ていると、日本は農業国なのに…と、寂しさを感じます。東久留米市は、センスの良いおしゃれな農地のある町…と言われるようにしたい。
まさしくアンケートにもある通り、都市化の進行を相続等による減少をなんとかして食い止めなければなりません。
楽しみにしているので、今後も、農地の確保、生産は大いに続けてほしい。
農地を宅地にしない（市街化調整区域）

<p>農地が減って、マンションや宅地化されている現状は…将来を考えると緑地減少、住宅過密、地産地消の農産物が食べられなくなる事などが心配されます。これからの子供達にも農業・農産物について正しく理解してほしいと思うので、身近に接することが出来る緑の農地を東久留米に残したい。</p>
<p>農地や緑地をいつまでも残し良環境の東久留米でありますよう頑張って下さる様お願い致します。</p>
<p>相続で農地がなくなることが惜しいです。買い取りなど、創意工夫ができるといいですね。</p>
<p>畑や農地はつぶさないで残してほしい。</p>
<p>都市化が進む中、農地を保全し頑張っておられる農家の方の努力に敬意を表します。農家の減少イコール緑の減少につながり、市内も年々緑が減少している現状にあり、是非とも農家の方に頑張っていただきたいと思います。できることは協力いたしたいと思います。</p>
<p>無計画な宅地開発による農地の減少は将来のためにならないと思う。緑の減少や、道路の整備がすすまない中、車の増加や、住宅地としての市民感覚がふえることイコール農業のすいたいと感じます。未来にむけ、住宅と農業の共存を市として目指してほしい。</p>
<p>滝山7丁目地区はまだ農家が生産している土地が多くあり散歩をするにも景色生産されている野菜、花など見、買ったりしながらいい所だと話し合っています。荒れた土地や空き家が多く増えてきて先の将来を心配している。主人貞一あてにとどいたがあまり興味が無いので妻千代乃が書きましたがいつも話し合っていることです。</p>
<p>本年4月に板橋区から転居してきたので東久留米市の農業政策や、農業の実態についてはよく知りません。ただ母親の実家がある所であり、私が子供の頃より農地が減っているのは寂しいことです。</p>
<p>当市から屋敷林も畑もすっかり消えてしまいました。食は命です。農地にすぐれた土壌に恵まれています。国としても豊かにしなければなりません。エジプトでは首都カイロの周辺は近郊農家として栄えていると聞いたことがあります。たびかさなる大地震を経て、都市近郊に豊かな農地を育ててほしいと思っています。</p>
<p>地方から出てきて、こちらに引越して来て、東京都にこんなに農地があることにおどろきました。ぜひ、この農地を維持して、豊かな東久留米となるように、よろしくお願いします。</p>
<p>地産地消となるように農地保全を推進し、四季折々の産物が安全に食べることが出来ることが、農業振興につながることに感じています。</p>
<p>宅地化が進むのは仕方ない側面、きちんと保全するエリアの強化、予算内でできる公共アピール等、がんばってほしいです。残された自然、東京という場所柄、とても貴重です。議論を重ね、素敵な東久留米にしてほしいです。「アニメ関係者です。ぜひ、コンテンツに目をむけてみて下さい。いろんな地方がやっていますよ」</p>
<p>農地がどんどん宅地化されないように税制の上の考慮が必要だと思います。</p>
<p>できるだけ農地を残して下さい！！</p>
<p>私は東久留米市の農業と都市環境が共存している事に魅力を感じ、家を購入しました。農地は東久留米の財産だと考えています。市民農園も利用していますが、知り合いも増えました。是非、行政側で農地の買い取りをするなどして保全する事を希望します。</p>
<p>農地を安易に宅地化しないでほしい。まず土地を残すこと、そこから始まると思います。</p>
<p>東久留米在住期間は短いですが、できればこれからも住み続けたいマチです。もちろん緑の多いマチです！緑、畑、農業の保持にも協力参加していきたいです。</p>
<p>今現在の農地、畑地の減少にならないように思っています。関係者の方々の御苦労もわかりますが農家の方々が続けられる方法も考えて下さい。</p>
<p>東久留米に住み始めて7年位たちますがこの市のブランドの柳久保うどんなど耳では知っているのですが、まだ味わったことがありません。もう少し、目につく所に置いていただけるといいのかなと思います。駅周辺とかコンビニの店先とか。東久留米のゆったり感が好きなので農地や緑地は保持してほしい。ヒートアイランド化にも有効だと思う。</p>
<p>農地も含め、緑は東久留米の”いのち”である。これ以上農地、緑地を減らすべきではない。必要なら、税</p>

金に反映してもやむを得ないと考える。清瀬市や埼玉県に負けぬ農業都市を目指すべきである。
是非、畑、農地を残して欲しい。
相続のたびに、(この様子がよく見られます) 農地を切り売りし、住宅地にならないように。
畑や緑はなるべく無くさないでほしいのですが、その一方で主要な道路が途中まででなかなか開通しないのでこの状態も非常に困りものです。農業の事と街づくりとは切り離して考えられないので、農地、宅地、道路等、もっと具体的な地図や資料を作って、このアンケートをもっとわかりやすいものにしていただきたいかと思うます。保存樹木や緑地は年々と無くなっていくその理由もわからない小市民です。東久留米の目指すものがわからず不安です。
水害対策の位置付けとしても是非、農地、緑地を残していただきたい。
見せかけの生緑などの農地は必要ないですし、市の財政からいっても、緑地を買い取るのは無駄です。農業をやらないのであれば、農地はやめてもらい、都市化して、人を呼べる施設を作るべきです。(企業とか学校とか) 頑張っている農家には継続していただき、そうでなければ、都市化して、無理に農地を残す必要はないと思います。
農地はこれ以上減らず、且つすべて有効活用してほしい。
近所の農地で、ひまわりを植えている所がある。何のために植えているのか疑問に思っていた。種を採るのかなと思っていたら、そのまま枯れてしまい、野焼きしていました。何のためにひまわりを植えたのか疑問です。
一見耕作しているように見える農地が、実際には収穫しているのか、そのままにしてある感じで、野菜が勿体無い。
農家の方々とは交流する機会はなく、どのように農業を営んでおられるのか、全く知りません。高齢化されていることがあるのかも知れませんが、個人的には2011年の震災以降、風評被害がある為か(放射能クレーム?)、耕作が放棄されている畑が増えた様に思われるのですが、実際はどのようなのでしょうか?ここ数年で、農地が宅地へ転用されているのをとても残念に思っています。
近所をウォーキングしていると、誰も住んでいないような古びた建物や古びた施設、肥料袋が砂まみれでビリビリにやぶれているような農地を見かけます。大きなドラッグストアばかりがOPENする東久留米ですが農家の皆さんが、将来が見えるよう、一生懸命作って下さる場所を確保し、継続できるよう協力し合うことが大事であり、必要なのでは、とこの頃、思います。無駄に放置されてる土地は、新たに活用したり、今回のように、農地開発などに利用するといいいのでは?と思います。
休耕地は、野球のグラウンドにすべき。公園は維持費が多くなるだけなのでこれ以上増やす必要なし。
近くのあまり使われていなさそうな農地を見ると、ここを自治会が借りて、町民が花を育てたり、イモを育てて、秋には町民で焼イモ会などができないだろうか考える。利用料を払ってでも参加したい人は結構いるのではないだろうか。又、高齢者のデイサービスの活動の中に、そういった屋外での活動を取り入れるのも一案かと思われる。いろいろなアイデアがあっても、農地法が足かせになっているのではないか。
畑があった所に次々と新築物件ができ、一方空き家が増えているのを見ると何とかならないものかと思えます。法律があり難しいかもしれませんが、今ある農地が少しでも多く残ることを願います。
使用している農薬類の告知→周辺の住宅へ。
人づてに聞いた話で農家で食べる野菜等には農薬を使わない物を食べているが販売品は農薬を使っていると聞き、驚いたことがある。
農薬を平気でまいている(住宅の近くで)あれをみると買うのがおそろしくなる。除草剤もやめてほしい!少し金額が高くなっても、無農薬で安全な野菜を食べたいです。東久留米では農薬をどの位つかっているのか知りたいです。スーパーや直売所をよく利用していますが、安全だと明記してあれば、もっと購入する人も増えるのではないのでしょうか。
TPPとは全く関係ない農地です。こんな狭い、小さな農地で農薬不安。虫も草も、除虫、除草は手で!
麦飯石の半分、土の微生物の活性に良いようです。ミネラルは半永久に放出する。農薬や化学肥料(過剰な窒素の投入は地球温暖化を招く)を使わない自然な土づくりをして、地球環境にも優しい、体にも優しい農

業が常識になって欲しいです。微生物（光合成細菌など）は放射性物質のエネルギーを食べるものもいるので、微生物豊かな土づくりは、大切だと感じます。不妊率を高めている、不自然なF1種の使用は反対です。安全な野菜を販売する場所をもっと増やしてほしい。農薬を使いすぎない。個人農家のチェック体制がしっかり出来ればもっと東久留米の農業が繁栄すると思います。
地元で、無農薬、低（減農薬）の野菜が買えたら（それ程高価でなく）ずっと利用したい。今は、通勤途中で無農薬の野菜を買っている。近隣にあれば、なるべくそちらを利用したい。
子供もいるので、食の安全にはこだわってほしいです（無農薬等）安全であれば、市内の野菜も積極的に購入します。
今老人の一人ぐらしなので、農薬については、それ程神経質ではないが、孫たちが来る時、やはり出来れば農薬の少ない物を食べさせたい。給食についても出来る限り農薬を減らしたものを利用してもらえれば、自分たちの作ったものが給食にだせるっていいことだと思う。
私は安心安全な食について興味があり、減農薬、無農薬の米や野菜を取り入れたいと思っています。農業用のミネラルを扱っています。農薬よりもコストも低く手間は多少かかりますが、美味しくて、安心安全、土壌にもいいです。少しずつでも普及して欲しいと思っています。 浅間町 上村 080-4139-0812
農薬はやめて欲しいです。
今と昔は違うのだと農家の方々に教育してください。農地の利用の仕方が汚い。農薬の散布方法や音を改めて教えてあげてください。トラクターで公道を走ったり、泥だらけの靴やら、人間教育をよろしく願います。そして農家だけの庇護はおかしい、ここは今は住宅地です。農家すべてではありませんが、ほとんどの方はアパート等副収入を持っている方々です。その方々たちを税金をかけて庇護とはいかがなものか。イオンの経済効果は市や市民にどれだけありましたか。プラスでしたか、マイナスでしたか。保育園、老人ホームは足りてますか（保育士等雇用も生まれますよね）。緑の保全、災害時の避難場所として使えませんか。他の市民の為に税金使ってください。東久留米市の行政、考え方が古すぎです。農家の方々にもちゃんと意見を聞いて考えている堆肥化ですか。
降雨のたびに畑の土砂が流れて雨樋が溢れる。
せっかく新鮮館を開きながら日曜休みではダメです
地元の生産物を買いたくても今の状態では買えない。イトーヨーカドーでもヤマザキでも売っていないからです。直売所がどこにあるかわからない。ゆきずりに見つけてたまに買う程度。時間が遅いので殆ど品物がない。もっと売り方に工夫が必要だと思う。市内のスーパーやコンビニ等と協力する必要あり。とにかく、昼間だけでなく、遅くても仕事帰りに買えるようになればぜひ東久留米産のものを買いたい。
野菜を中心にたくさん作付けして、朝どりをした野菜を9時頃より販売する。新鮮、適正価格で販売。
近くの畑で野菜を売っている農家がありますが働いているので、なかなか買えないので、スーパーで買ってしまいます。※朝採りは午前中で終わってしまい、すぐ売れてしまいます。枝豆等採れたては、やはりスーパーで買うよりおいしいです。
農家のスタンド販売をよく利用します。新鮮で安価、とてもおいしいです。いつも利用する店は11:00位〜で、朝から販売している所が近くにあれば、もっと利用したいです。枝豆はお土産にも使います。自慢の品です。
土曜日が休みの時などJAに行くが、早い時間でないと人気商品はなくなってしまうので、こまめに補充して頂けるようになったら嬉しい。
行動範囲の中では、あまり目立った農家がなく普段あまり気にかけていません。近所に庭先販売があったらな…とは思いますが。また、JA東京「みらい東久留米新鮮館は何度か行きましたが品数が少なく物足りなかったです。もっと市内の農家さんの農作物を一カ所に集めたような施設があったら…と思いました。
マンション、1戸建等、家ばかり。私は西口のバスを待っている時、スーパーがあると良いと思います。ただ、バスを待っていて時間の無駄です。テレビで見る商店街がほしいです。作り方など聞ける店、北口の方が良いですね。
産直を使いたくても、会社勤めで時間が無く、仕方なく駅近のスーパーで野菜を買うことがよくありました。夕方の時間に駅の近くで野菜を売ることができれば、東久留米の野菜をもっと多くの人に買ってもらえる

<p>思います。</p>
<p>私は市外のスーパーに勤めていますが、市外のスーパーにも積極的に出荷されてはいかがでしょうか。ちなみに私の勤めているスーパーでは、府中市押立町産、新潟県魚沼産、小平市産の3種類の地場野菜があります。地場野菜の方が少し値段は高めですが、売れ行きは好調です。東久留米産の野菜を知ってもらいたい機会になりますし、ニーズがあれば作る側の意欲ややりがいにつながるのではないのでしょうか。…といっても農家の方がそこまでの熱意があるのかが分かりませんが…。</p>
<p>販売所を増やし、多くの人に市内の野菜を食べてもらえるようにする。</p>
<p>地元の新鮮な野菜がもっとスーパー等で売られると良いと思います。地産地消、農家の直売を利用しています。</p>
<p>歩いてみると畑にさまざまな作物が、生産されています。スーパーなどで生産者の名前を見かけますがまだ少ないです。もっと身近に多くの作物に出会え買えたらと思います。若い人達にがんばってほしいと思います。</p>
<p>ぜひ東久留米産の作物を買いやすくしてほしい。農家の収入のあてい、東久留米にお金がおちる(税金等)地産地消のしくみ、メリットをわかりやすくPRしてほしい。そうなってほしい。農業にかぎらず、東久留米の良いところもっと出しましょう!!HP→なにか手続きする時しか見ない。→もっと身近なイベント等大きく出してほしい。(農業体験等のPRとかも…)40年以上東久留米に住んでいます。やっぱり良い町だと思います。地元にお金をおとしてもらう様にメリットをPRし、もっと良い事が(サービス?が)できるようになればいいと思います。</p>
<p>すぐ近くに販売所があり、とても安くおいしくて毎日利用していたのですが、最近やらなくなったのか閉まっており、楽しみにしていたので残念です。みんな近くに売っていたら、絶対に近くで採れた野菜の方を買うと思うので、身近にたくさんお店があるとよいです。</p>
<p>市内の農産物を買いたいと思うが東久留米駅近くでは農産物を売っている所が多いが私の住んでいる所の近くでは売っていない。滝山の農協支店などで売れば買いたい。キウイなどは安くて美味しいので買いたい。</p>
<p>日常の移動はほとんど車の為、直売所等に立ち寄ることが出来ず、なかなか地元の新鮮なお野菜を購入することが不可能です。家の周りには上手に作物を生産されている畑がありますが、その場で買うことは出来ません。農家のご自宅迄行くことを考えると無理なので、大型スーパーやネット配達で間に合わせています。さらにエホールや市庁舎の一角などに日々の作物が置かれていれば、買わせていただきたいと思っています。</p>
<p>販売所をふやしてほしい。</p>
<p>引越して3カ月、前宅と今の家はそんなに離れてないけど、前宅の時は週に1~2回農家に野菜を買いに行っていたのに、今は月に1回ほど…。生活の流れで(行動範囲)でこんなにも農家で買物が出来なくなるのかーと実感。少しさみしいです。</p>
<p>地元産の野菜など購入したいと思うし、無人市場、庭先販売も利用したいが、開いてる日や時間が不規則で利用しづらい。何か所かにまとめて、時間も決めて販売していただけたら、もっと利用するし、農産物のことも知れて良いと思う。また、農家に対する意識も変わると思う。道の駅のような、農産物や花や郷土料理を扱う施設が出来たらよいと思う。直売所マップがあるなら配布してほしい。</p>
<p>地場野菜を売る場所を市で作って、市民が手に入れやすいようにしてほしい(スーパー、JA前、人通りの多い道路のそば)</p>
<p>東久留米駅改札口前での地元農産物の販売(夕やけ市等)</p>
<p>東久留米産の野菜等を買いたいですが、今のところスーパーたちばなや(八百屋)さんで販売されている「きゅうり」しか見た事がない。スーパーヤマザキでも売っていないし、ヨーカ堂でも売っていないと思うので、もっと販売してくれるところを増やしてほしい。たちばなやさんで大量に扱ってもらってもありがたいんですが。</p>
<p>農家ごとの販売所だけでなく、地域共同の販売所があってもよいのでは。</p>
<p>水辺の人が集まる場所に野菜販売所(無人でも可)を用意すると活用されると思う。</p>
<p>農作物の配達サービス等あれば、利用する人も増加すると思う。小さな子供がいるとなかなか直売所まで買</p>

物に行けず、スーパーで済ませてしまったりしますが、新鮮な野菜が手軽に買える方がいいと思うので。
消費者の声を良く聞き、商品そのものや販売方法を自らの工夫により改善することで、売上向上を図るべきだと思う。行政の介入は最小限に。
湧水を使って水車小屋で小麦をうって、市直営のうどん屋さん、天ぷら等も、市内の野菜で、さらに店内には直売所を設ける。
お祭りの時に農産物売ったりしたらどうですか。お正月も神社に露店が少なく、盛り上がっていません。地酒やお菓子も露店で出したら売り上げが上がると思います。もっと手軽に手に触れるように考えた方が良いと思います。
スーパーにも東久留米の農産物を置いてもらおうと買いやすい。
大型のスーパー等で特産物を扱った出店や食べられるスペースがあれば口にすると思います。うどんやラーメンが出来あがった状態で出てくるのであれば、通常のものより東久留米市産(?)のものを選びます。一人暮らしなので、わざわざ足を延ばして、手をかけて、特産物を手に入れようとは思いません。
もし手間がかかっても平気な農家さんがあれば、梅や栗など限定物の予約販売をしてほしい。今年は間に合わなかった…という事もあるので！いつも美味しく野菜いただいています！
農家の直売所で購入する枝豆は新鮮なこともあると思いますが、甘みが強く、他県のブランド品(例：天狗の枝豆)に勝るとも劣らぬ高品質であると思います。生産量が多くないのかもしれませんが、市内だけの流通であるとするならもったいないと思います。
他市ではニンジンのブランド化をしたり、農地を借り上げひまわり畑(市民や小学生が協力)にしたりしている。東久留米もそのようなものが出来ると良いと思う。
他市にない特徴のある農産物を1つしぼり(小平のブルーベリーとか)それをブランド化してイベント、お祭りなど市が一丸となって進めていって？東久留米は自然豊かで落ち着いた地域だと思いますが特徴がない農産物ももっと生産して農業推進してJAなど共同直売所を増やしていくと同時に農産物をブランド化していいものを作っていく(無農薬とか、昔の野菜復活とかめずらしい野菜とか)両方を推し進めていってはどうでしょうか？
東久留米に限らず東京周辺に居住するものは一時的仮住居と考えている方が多い。つまり市民としての自覚が薄く自分が住む周辺の土地の歴史、故郷としての子供達への教育もない。従って自治会活動も仕方なくつき合う。住民の故郷としての自覚を持たす為の啓蒙を図るべく施策が必要。地元高校とか企業のスポーツで有名なのが出るとか街作りをすとか農作物のブランドとか。
おいしいトマトのブランドができればよいのにといます。
ブランド化については、出荷規格の制定・全量検査が可能な体制を整えた上で、長期的な計画として進めていくべきだと思います。また、商標権の侵害への対処やライセンス契約の絞り込みなど、ブランドとして成長していく過程で発生しうる問題のことははじめから予測して準備を整えていかなければならないのではないのでしょうか。
ただだらと野菜を作るのではなく特化したフルーツなどに集中し、東久留米がブランドになるよう。(例)夕張メロン。農家の横のつながりが必要だろう。高価なフルーツ、野菜に特化されたい。
子供が生まれてから少しでも安全な食品を求めて宅配スーパーのoisixを利用しています。市内の直販所で購入するよりも2~4倍程のお野菜が売られています毎週soldoutです。実際、味はというと、市内産のお野菜の方がおいしかったです。結局、メディアを使ってブランド化してしまった者の勝ちなんじゃないでしょうか。市内の農家には若手の知力、体力共に溢れる方も多く耳にします。是非とも今こそ若手の力で東久留米のお野菜をブランド化して下さい。FB等のSNSなら市民でもお手伝いできます。頑張ってください。
生産が一番多い野菜は何ですか？手軽に買える野菜を東久留米〇〇とブランド化するとわかりやすいと思う。しょうじき、柳久保、黒目川ってどこ？って思う。たとえば 練馬→大根 銚子→キャベツ、メロン、スイカ 北海道(夕張)→メロン、ジャガイモ、トウモロコシ
東久留米の特徴である水を生かし、地下水など水質や特徴を調査して、水と農作物とあわせてブランド化するなど。
東久留米産の農産物をふるさと納税のお礼の品として使って、PRすればよいと思います。

ふるさと納税で推してほしい。観光農園 ～狩り したいです。
ボランティアとして、草取りなどお手伝いしたいです。土に、触れたいです。
後継者不足や一人農業は大変そうなので、時間のあるシニア層にボランティアで手伝ってもらえないかと思 います。
農産物の販売や農家の作業をボランティアとしてお手伝いできる機会がもっとあれば良いなと思います。も し現在もあるとしたら、分かりやすく情報提供をしていただきたいです。
駅の近くでマルシェなどがあるといいと思います。1つ1つの直売所では売られているものも少ないし、行 っても欲しい野菜がないこともしばしばです。1つの所で、たくさんの農家さんのおいしくて新鮮な野菜が 買えるなら、便利ですね。農家さん自家製のジャムや漬物などがあると尚、嬉しいです。農業体験にしても、 1人でも参加しやすいしくみなどがあるとありがたいです。
最近マルシェというのが流行っていて、個人農家さんが何人か集まって、市場を開いていますが、そこに料 理人を呼んで、各々の美味しい野菜を使って料理の仕方、どうやったら美味しく手軽に食べれるかをマルシ ェの中で行う。野菜に興味を持ってもらう、知識を伝える。交流の場を作ると変わっていくと思います。
月に何回か、市役所前などでマルシェ的な販売を定期的に開いてほしい。
また、近年、道の駅が田舎に併設されているが、東久留米でも駐車場かんびの体験型のものを（体験農業が できる）おこなってみてもいいのではないかな？？地場野菜そくばい場、柳久保小麦使用の食べ物コーナー、 季節におうじ、えだまめ、とうもろこしを食べられるように（ゆでてある）フードコートもあれば可。フレ ッシュジュース、スムージー。
道の駅の様なもの新青梅街道沿いと上の原方面に作る。（野菜、市の特産物など販売。農家が直接持込価 格を自由競争にする）
東久留米道の駅を作ってみてはどうでしょうか？・めずらしい野菜など（お菓子、うどん、ラーメン）・な にか一つおもしろい場所を作る。
J A直営でも…食堂（バイキング方式）や植木（ガーデニング）や物産や惣菜や諸々…の道の駅が一軒欲しい。 J A山梨等大々的ですよ。
地方にある道の駅の様な場所があれば買いに行きます。東京には八王子ぐらいにしかなく…近くに道の駅が ほしいです。スーパーでは値段が高いため安く新鮮な野菜を”日曜市”みたいに週1回でもすれば良いと思 います。
今はやりの道の駅でも使って努力している農家のものを売ってはいかがですか？
近所の農家では、収穫しても廃棄されている作物が見受けられます。農産物が十分に販売できるような”道 の駅”様な施設が市役所近辺にあれば、農家の方の意欲も向上し、消費者にとっても地域貢献に協力できる のではないかと。（道の駅大好きな者です）ただし、駐車場の確保は必須かと思われます。
私は新潟県生まれですが実家は農家でかなり広くやっております。農協のもと皆野菜にしる米にしる一生懸 命に取り組んでおります。東京の農家みたいにマンション経営のかたわら農家をやっているとは訳がちがいま す。私は道の駅が大好きです。ちょっと遠くとも車で行きます。東久留米でそうゆうたぐいの場があれば皆 買いに行きます。考えて下さい。
農家の庭先販売は、種類も少ないし、すぐになくなってしまいう事がよくあります。車で出かけた時によくあ る道の駅のようにたくさん野菜を置いてある場所があったらいいな一と思います。農協に置いてありますが、 たくさんじゃないし、価格が高い気がします。朝取ったばかりの野菜がたくさん置いてあるそんな所が あったら、教えて下さい。
庭先の個人の直売所を駅の近くに集めて「道の駅」みたいな規模の大きい販売所を作ったら良い。
庭先販売を禁止してギフトショップ又は道の駅の様で農家の方が名前入りの野菜を持ち込んで販売するが 一番！安全で安い物は売れるわけで、良ければ遠くからでも買いに来ますし、ネット販売で配達しても？農 家同士で競って良い商品を作るのではないのでしょうか？がんばった農家の人は知名度はあがりますし、仕事 のやりがいもできます。
無農薬野菜を作っている方を応援したい。

野菜の種類がかたよっている。
市役所の広場入口で売られている野菜が高い。もう少し安くしてもよいのでは。他店で日頃売っている値段と変わらない。又、売っている人達に、人間味を感じない人がいる。
だんだん東久留米も緑が少なくなり住みにくくなりました。このアンケートは今頃になってと感じます。
生産緑地の宅地化は、防災空間として市の財政が悪化しない範囲で公共緑地化を推進してほしい。
マンションや家ばかりたてるのではなく、もっと緑を増やしてほしい！子供が遊べる公園をつぶしてまで、公団を建てたり、住民が増える一方、自由に子供が遊べる施設、緑が減少しているのは、どういうものかと感じる！
農地が住宅に変わりつつありますが緑地やオープンスペースに残してほしい（子供達の為に）他の件でも市民意向調査をしてほしい。
雑木林（空地、広場）がなくなって建て売りの家がたくさん建って、残念に思っています。・小山に住んでますが、雑木林はとても魅力的でした。
東久留米市農家の人とのしりあいが無い為農業のことはよくわからないがもうこれ以上緑をなくしたくないと日頃思っています。
私は昭和38年、東久留米に杉並区より転居してきました。蛙なく落合川に湧水群、雑木林そして尾長が飛ぶなど久留米の自然の豊かさに育てられた気がします。友達と雑木林でよく遊んだものです。現在かなり少なくなった東久留米の雑木林を公園や市が買い上げた畑などにちょっとした区画でいいのですが作ってもらえればと思っています。農業振興とは直接関係ないと思いますが、雑木林が点在する街並みは市全体の魅力アップになると思っています。
現在、農業で、生計を立てるのは、大変な事だと思う。相続の事で、手離される事と思いますが、それも、仕方がないと思われ。せめて、現在、緑地になっている樹木は、存続させて、東久留米は緑が多いと言う、イメージを持てるよう市の方で、頑張ってくださいと思います。
市に数カ所食堂などを作り、シルバーの人材で運営し、市内産にこだわったものを売る。また、やはりシルバーで作物を作る。ブランドを作り、市内やネットで売るなど。
「東久留米産の野菜のレストラン」もあると良いかと思います。
問27での特産品を活用したレストラン、簡単食堂、などがもっと多く出現し、TV等でのPRを活発にされたらと思う。（「特産活用レストラン-東久留米-」など）
新宿の野菜のレストラン（人気店）で野菜の産地が表示されており、東久留米産を見た時はうれしかったです。
都心に近い貴重な農地なので、品質が良好な東久留米特産の野菜（味が重要）を生産されて、都内の良質なレストラン、料理店にも販売を目指しては如何。
農園に隣接して、洒落た共同経営のテラス等での飲食ができるレストラン、カフェ等を営業する（農産物の直接消費）直販店を併設するも良。これは東久留米の名物になるかも！
農家さんがつくった野菜だけを使用したカフェとかレストランがあったら欲しいな。

III 調査票

1. 農家意向調査票

東久留米市農業振興計画策定のための 農家意向調査ご協力をお願い

平素より、市行政の推進にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

本市では、平成8年度から東久留米市農業・農地の保全と活用をめざし「東久留米市農業振興計画」を策定してきました。本市では、都市化が進む中で農業・農地の持つ多様な役割を重視し、市民生活にとっても、その保全と活用は大きな課題となっております。

本アンケートは農業振興計画の改定にあたり、農家の皆さんが東久留米市の農業・農地の現状や今後の農業経営についてどのようにお考えなのかを伺うために実施するものです。

このアンケートは、東久留米市の全農家をお願いするものです。

また、このアンケート調査の集計は統計的に処理し、個人名での意見が表に出ることはありませんので、皆様にご迷惑をおかけすることはありません。

お忙しいところお手数をおかけして恐縮ですが、本趣旨をご理解いただき、ご協力のほどよろしく願いいたします。

平成27年8月

東久留米市長 並木 克巳

《記入にあたってのお願い》

- ◇このアンケートは、農業に従事している主な方が直接、ご記入ください。
- ◇アンケートの回答は、あてはまる番号に○をつけ、() や表には内容や数字をご記入ください。
- ◇ご記入が終わりましたら、同封の封筒に入れ封をしてください。JA東京みらい東久留米地区の各支部長さんが回収にお伺いしますのでお渡しください。
- ◇このアンケートについてのお問い合わせは、下記へお願いいたします。

【問い合わせ】東久留米市市民部産業政策課農政係

電話 042(470)7743 担当：森本

はじめに、あなたとご家族についてお聞きします

問1 あなたの性別を選んで、年齢を記入してください。

1. 男性（年齢.....歳） 2. 女性（年齢.....歳）

問2 同じ敷地内で同居している家族構成を選んでください。

1. 1人世帯 2. 夫婦のみの世帯
3. 親と子どもの2世代家族 4. 祖父母と親と子どもの3世代家族
5. その他（.....）

問3 あなたを含めて同居している家族の人数を選んでください。

1. 1人 2. 2人 3. 3人 4. 4人
5. 5人 6. 6人 7. 7人以上

問4 あなたのお住まいの番号を1つ選んでください。

1. 上の原 2. 学園町 3. 金山町 4. 小山 5. 幸町
6. 下里 7. 新川町 8. 神宝町 9. 浅間町 10. 大門町
11. 滝山 12. 中央町 13. 野火止 14. 八幡町 15. 氷川台
16. 東本町 17. ひばりが丘団地 18. 本町 19. 前沢 20. 南沢
21. 南町 22. 柳窪 23. 弥生

問5 あなたの世帯の農業との関わりを1つ選んでください。

1. 専業農家 2. 第1種兼業農家 3. 第2種兼業農家 4. 自給的農家

問6 あなたの農業形態を1つ選んでください。

1. 主業農家 2. 準主業農家 3. 副業的農家 4. 自給的農家

【専業農家】世帯員の中に兼業従事者が1人もいない農家。

【第1種兼業農家】農業所得を主とする農家。 【第2種兼業農家】農業所得を従とする農家。

【主業農家】経営耕地面積が30a以上又は農産物販売金額が50万円以上であり、農業所得が主（農家所得の50%以上が農業所得）で、65歳未満の農業従事60日以上の方がいる農家。

【準主業農家】経営耕地面積が30a以上又は農産物販売金額が50万円以上であり、農外所得が主で、65歳未満の農業従事60日以上の方がいる農家。

【副業的農家】経営耕地面積が30a以上又は農産物販売金額が50万円以上であり、主業農家、準主業農家以外の農家。

【自給的農家】経営耕地面積が30a未満かつ農産物販売金額が50万円未満の農家。

問7 あなたも含めて家族の中で、年間60日未満、年間60～149日、150日以上農業に従事している方的人数を記入してください。

※該当しない箇所は、0（ゼロ）を記入してください。

	男性			女性		
	うち60歳未満	うち60歳以上	計	うち60歳未満	うち60歳以上	計
年間60日未満人人人人人人
年間60～149日人人人人人人
年間150日以上人人人人人人

農業生産・販売についてお聞きします

問8 あなたが生産している中で、生産量が多い上位3位までの品目を記入してください。

	品目 (大根、人参と具体的に)	おおよその 年間生産量	おおよその作付面積 (1反 = 10アール)
第1位	 kg アール
第2位	 kg アール
第3位	 kg アール

問9 あなたが生産している内容で当てはまるものをいくつでも選んでください。

1. 露地野菜 2. 施設野菜 3. 果樹 4. 花き
5. 米・麦 6. 植木・カバープランツ 7. その他 (.....)

問10 現在、農畜産物の販売はどのような方法で行っていますか。また、今後どのような方法に力を入れたいですか。最もあてはまるもの1つに◎、他については○をいくつでも選んでください。

【現在の販売先】	【今後力を入れたい販売先】
1. 市場に出荷	1. 市場に出荷
2. 直売（宅配を含む）	2. 直売（宅配を含む）
3. スーパーなどの量販店	3. スーパーなどの量販店
4. 生協などに供給	4. 生協などに供給
5. 学校給食に提供	5. 学校給食に提供
6. インターネットなどで通信販売	6. インターネットなどで通信販売
7. 観光農園で販売（もぎとりを含む）	7. 観光農園で販売（もぎとりを含む）
8. うね売りや株売り	8. うね売りや株売り
9. 契約栽培	9. 契約栽培
10. 造園利用・造園卸し	10. 造園利用・造園卸し
11. その他 (.....)	11. その他 (.....)

問 11 あなたは庭先販売（農家個人の直売所）を行っていますか。1つ選んでください。

1. 行っている
2. 以前は行っていたがやめた（理由：.....）
3. 今後、行いたい
4. 行っていないし、今後も考えていない
5. その他（.....）

問 12 問 11 で庭先販売を「1. 行っている」と答えた方にお聞きします。あなたの販売方法について、それぞれ1つ選んで記入してください。

- ①販売日〔1. 毎日 2. 週に数回 3. 不定期 4. 特定日（.....）〕
- ②販売時間〔1. 決めている（.....時～.....時） 2. 特に決めていない〕
- ③売り方〔1. 無人 2. 有人（誰ですか.....）〕
- ④場所〔1. 自宅の庭先 2. 農地のそば 3. その他（.....）〕
- ⑤その他困っていることなどを下らん自由に書いて下さい。

農地についてお聞きします

あなたの所有している農地について、以下の項目について記入してください。

問 13 現在の農地の状況を記入してください。※該当しない箇所は、0（ゼロ）を記入してください。

農地の状況	市内の農地面積	東久留米市外 （都内）	東久留米市外 （都外）	合計面積
①耕作している農地アールアールアールアール
うち生産緑地指定農地アールアールアールアール
うち生産緑地以外の農地アールアールアールアール
②耕作していない農地アールアールアールアール
③借入れている農地アールアールアールアール
合 計アールアールアールアール

（1反 = 10アール）

問 14 今後 10 年くらいの農地について、1つ選んでください。

1. 農地を拡大したい
2. 現状を維持したい
3. 縮小したい

問 15 問 14 で「3. 縮小したい」を選んだ方は、理由を書いてください。

問 16 過去5年間に農地を転用したことがありますか。1つ選んでください。

1. ある（転用面積：.....アール） 2. ない
（転用の理由.....）

問 17 指定を受けている生産緑地指定農地について、当面（5年間程度）の意向で、あてはまるもの1つ選んでください。

1. 当面（5年程度）は現状を維持したい
2. 現状を維持するのは難しい
3. 指定面積を増やしたい（約.....アール）
4. その他（具体的に：.....）

問 18 今後10年の間に、買取申出ができる指定後30年を迎える生産緑地についてお聞きします。あてはまるものを1つ選んでください。

1. この10年の間に30年を迎える生産緑地はない
2. この10年の間に30年を迎える生産緑地が一部ある
3. この10年の間にすべての生産緑地が30年を迎える
4. 生産緑地はない

問 19 生産緑地指定から30年経過した農地をあなたはどうしますか。あてはまるものを1つ選んでください。

1. そのまま継続する
2. 買取請求後買取がされない場合は、生産緑地としてそのまま利用
3. 買取請求後買取がされない場合は、生産緑地を解除して農地として利用
4. 買取請求後買取がされない場合は、生産緑地を解除して農地として売却
5. 買取請求後買取がされない場合は、生産緑地を解除して宅地として売却

問 20 今後、生産緑地制度の指定面積要件（500㎡）が緩和され小規模でも可能であればあなたはどうしますか。1つ選んでください。

1. 対象となる農地があれば指定を受けたい 2. 対象となる農地がない
3. 面積要件だけでは何ともわからない 4. 生産緑地をこれ以上拡大しない
5. その他（.....）

問 21 「宅地化農地」の活用法について、1～9から選んでください。なお、「1. 宅地化農地はない」以外の方は、2～9から3つ選んでください。

1. 宅地化農地はない
-
2. 将来とも農地として維持したい 3. 当分の間は農地として維持したい
4. 市民農園などに利用したい 5. 駐車場などに利用したい
6. アパート・マンションを建てたい 7. テニスコート等スポーツ施設にしたい
8. いずれ売却したい 9. その他（.....）

問 22 平成4年に新生産緑地法が施行されましたが、相続が発生した場合、どのように対応しましたか、また対応すると思いますか。あてはまるものすべてを選んで、面積等を記入してください。

〔平成4年1月1日以降に相続が発生した方の場合〕

1. 生産緑地を処分して対応した（おおよそ.....アール）
2. 宅地化農地を処分して対応した（おおよそ.....アール）
3. 農地以外の宅地（アパートや駐車場、敷地の一部など）を処分して対応した
4. 土地は処分せずに対応した
5. その他（.....）

〔今後相続が発生する場合〕

1. 生産緑地を処分して対応する
2. 宅地化農地を処分して対応する
3. 農地以外の宅地（アパートや駐車場、敷地の一部など）を処分して対応する
4. 土地は処分せずに対応する
5. その他（.....）

問 23 相続に伴う農地の分割・維持について、1つ選んでください。

1. 農業や家を継ぐ子どもが相続し、できるだけ農地を維持したい
2. 農業や家を継ぐ子どもが大部分相続するが、一部は分割相続せざるを得ない
3. 子どもたちに平等に分割させる
4. わからない

農業の担い手についてお聞きします

問 24 後継者の農業従事状況についてあてはまるものを1つ選んでください。

1. 後継者はおり、すでに農業に従事している
2. いずれ農業を継いでくれる予定である
3. 家の後継者はいるが農業を継ぐかどうかわからない
4. 農業を継がせるつもりはない
5. 農業後継者はいない
6. その他（.....）

問 25 農業後継者を育てるために必要と思われることを2つ選んでください。

1. 青年団など後継者による組織づくり
2. 農業に関する様々な情報の提供
3. 農業技術指導
4. 配偶者（結婚）問題
5. その他（.....）

問 26 あなたの家の女性の役割について、あてはまるものいくつでも選んでください。

- | | |
|------------------|------------------------|
| 1. 農業経営の中心となっている | 2. 労働力の中心的な担い手 |
| 3. 労働力の補助的な担い手 | 4. ある部門（作物）の責任者的な役割 |
| 5. 販売の中心となっている | 6. 簿記や帳簿の整理を担当 |
| 7. 庭先販売を担っている | 8. 農業には関わっていない（家事や育児等） |

問 27 今後の農業の担い手や労働力について、あてはまるものいくつでも選んでください。

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. 後継者が中心となる | 2. 自分たちでがんばる |
| 3. パートやヘルパーを雇う | 4. 機械化による省力化を図る |
| 5. 非農家やボランティアの協力を得たい | 6. 労働力に見合った生産方式等を考える |
| 7. その他（.....） | |

問 28 市民による農作業の手伝いについて、あてはまるものいくつでも選んでください。

1. 経験があり、熱心な市民なら農作業を手伝ってほしい
2. 草取りなど補助的な作業なら手伝ってほしい
3. 庭先販売などを手伝ってほしい
4. 市民の体験や生きがいなど交流にもなるので、積極的に対応したい
5. 特に必要がない

農業経営についてお聞きします

問 29 あなたは、今後の農業についてあてはまるものを1つ選んでください。

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1. 将来も継続させたい | 2. 自分の代は継続したい |
| 3. 自分の代は継続したいがわからない | 4. できれば今後縮小していきたい |
| 5. その他（.....） | |

問 30 農業を行っていく上で困っていることはありますか。あてはまるものをいくつでも選んでください。

- | | |
|------------------------------------|--------------------|
| 1. 宅地化が進み通風や日照、水はけの悪化 | 2. 宅地化が進み農薬散布ができない |
| 3. 空き缶やゴミなどの不法投棄が多い | 4. 犬や猫による被害が多い |
| 5. 鳥獣による被害が多い | 6. 後継者や担い手がない |
| 7. 農業収益が労働の割には少ない | 8. 堆肥や畜産の臭いなどの苦情 |
| 9. 野菜や剪定枝の残滓 ^{ざんし} 処理が難しい | 10. その他（.....） |

問 31 今後の農業経営の方向について、あてはまるものをいくつでも選んでください。

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. 農地を拡大する | 2. 農地を縮小する |
| 3. 施設利用による高収益を目指す | 4. 新技術導入による高収益を目指す |
| 5. 有機、減農薬、無農薬栽培に取り組む | 6. 省力型の農業等に取り組む |
| 7. 土づくりを重視した農業に取り組む | 8. 市民・家族農園等市民的利用を図る |
| 9. 少量多品目の農業を進める | 10. 品目を絞り込んだ農業を進める |
| 11. 農作業の委託や市民の支援を募る | 12. 商品開発や農産物で特産品をつくる |
| 13. その他 (.....) | |

問 32 あなたの家の年間の農業所得と不動産所得を、それぞれ1つ選んでください。

(所得は、収入から専従者給与以外の必要経費を除いたものです)

(1) 農業所得

1. なし (自家用のみ)
2. 50 万円未満
3. 50～100 万円未満
4. 100～300 万円未満
5. 300～500 万円未満
6. 500～1,000 万円未満
7. 1,000～3,000 万円未満
8. 3,000 万円以上

(2) 不動産所得

1. なし
2. 50 万円未満
3. 50～100 万円未満
4. 100～300 万円未満
5. 300～500 万円未満
6. 500～1,000 万円未満
7. 1,000～3,000 万円未満
8. 3,000 万円以上

問 33 今後の農業所得の目標額を1つ選んでください。

- | | | |
|---------------------|-----------------|-------------------|
| 1. 自家用のみ | 2. 50 万円未満 | 3. 50～100 万円未満 |
| 4. 100～300 万円未満 | 5. 300～500 万円未満 | 6. 500～1,000 万円未満 |
| 7. 1,000～3,000 万円未満 | 8. 3,000 万円以上 | |

問 34 あなたは不動産経営を行っていますか。あてはまるものをいくつでも選んでください。

- | | | | | |
|------------------|-----------------|----------|--------|--------|
| 1. 駐車場 | 2. アパート | 3. マンション | 4. 貸住宅 | 5. 貸店舗 |
| 6. 貸し地 | 7. 貸倉庫 | 8. 貸事務所 | 9. 貸工場 | |
| 10. 不動産経営を行っていない | 11. その他 (.....) | | | |

問 35 あなたの世帯の最も多い収入は何ですか。1つ選んでください。

- | | | |
|----------------|----------|---------|
| 1. 農業収入 | 2. 不動産収入 | 3. 給与所得 |
| 4. その他 (.....) | | |

問 36 現在、農業経営で実行していることは何ですか。また、今後どう考えますか。あてはまるものをいくつでも選んでください。

【現在】

1. 労働時間を定めている
2. 休日を定めている
3. 給与を定めている
4. 後継者等と作業を分担している
5. 後継者等に、ある部門の責任を持たせている
6. 一年間の経営目標をたてている
(販売額・所得など)
7. パソコンを活用している
8. その他 (.....)

【今後】

1. 労働時間を定めたい
2. 休日を定めたい
3. 給与を定めたい
4. 後継者等と作業を分担したい
5. 後継者等に、ある部門の責任を持たせたい
6. 一年間の経営目標をたてたい
(販売額・所得など)
7. パソコンを活用したい
8. その他 (.....)

問 37 認定農業者制度について、ご存知でしょうか。1つ選んでください。

認定農業者制度：農業者が、自ら作成する農業経営改善計画(5年後の経営目標)を市町村が認定し、その計画達成に向けて様々な支援の措置を講ずる。

1. 認定を受けている
2. 知っており認定を受けたい
3. 知っているが認定を受けていない
4. 聞いたことはあるが内容は分からない
5. 知らない
6. その他 (.....)

問 38 最近(5年間の間)取り組んだ新たな取り組みを記入してください。

(例えば:直売所、体験農園、観光農園等)

問 39 あなたの加入している団体等について、あてはまるものをいくつでも選んでください。

1. J A 東京みらい東久留米地区各支部
2. J A 東京みらい東久留米地区青壮年部
3. J A 東京みらい東久留米地区女性部
4. J A 東京みらい東久留米直売会
5. 東久留米市農業経営者クラブ
6. 東久留米市営農振興会
7. 東久留米市認定農業者の会
8. 東久留米市果樹組合
9. 東久留米市温室花卉研究会
10. その他 (.....)

環境にやさしい農業（環境保全型技術）を導入した生産について

環境保全型技術の例

- ①農薬の使用を減らす → 防虫網などの被覆、天敵や天然物質由来農薬等の利用
- ②肥料のやり過ぎをなくす → 肥料の種類ややり方を工夫
- ③土づくりをする → 堆肥などの有機物を適量施す、緑肥を使う

問 40 あなたは「環境にやさしい農業」に関心がありますか、あてはまるものを1つ選んでください。

1. すでに行っている
2. 以前はやってしたが、今はやっていない（理由：.....）
3. 関心はあるが、実行していない
4. 興味・関心がない
5. その他（.....）

問 41 問 40 で「1. すでに行っている」と回答された方に伺います「環境にやさしい農業」を行うにあたり、どのようなことに注意されていますか。あてはまるものいくつでも選んでください。

1. 無農薬で生産している
2. 無化学肥料で生産している
3. 農薬の使用回数を減らしている
4. 化学肥料の施用量を減らしている
5. その他（.....）

問 42 「環境にやさしい農業」を実行しにくい理由は何でしょうか。あてはまるものいくつでも選んでください。

1. 良質な堆肥が入手しにくい
2. 手間や費用がかかる
3. 収量が低くなる
4. 病気や虫の害で商品化が難しくなる
5. その他（.....）

問 43 東京都が平成 25 年度から進めている「東京都エコ農産物認証制度」について、1つ選んでください。

1. 取り組んでいる
2. 知っているが取り組んでいない
3. 知らない

問 44 あなたは東京都エコ農産物に関心がありますか。1つ選んで下さい。

1. すでに、東京都エコ農産物の栽培を行っている
2. 以前はやってしたが今はやめている（理由：.....）
3. 関心はあるがまだ行っていない
4. 関心がない
5. その他（.....）

問 45 東京都エコ農産物の問題点についてどのようにお考えですか。2つ選んでください。

1. 有機肥料等が手に入りにくい
2. 手間や費用がかかる
3. 収量が低くなる
4. 虫食いなどで売れないなど心配である
5. 周辺と一緒に行わないと難しい
6. 技術・知識が十分でない
7. その他 (.....)

問 46 東京都エコ農産物であなたは、どのような努力をされていますか。あてはまるもの
いくつでも選んでください。

1. 堆肥等を使用して、土づくりに努力している
2. 農薬の使用を少なくしている
3. 化学肥料の使用を少なくしている
4. 農薬・化学肥料を使用していない
5. 東京都エコ農産物の栽培は行っていない
6. その他 (.....)

問 47 野菜の残さ、畜産の糞尿、植木・果樹の剪定枝などを材料にした堆肥づくりについて、どのようにしていますか。また今後どのようにしたいと考えていますか、あてはまるものをそれぞれいくつでも選んでください。

〔現在〕

1. 自分で堆肥をつくり利用している
2. 他の農業者と協力し利用している
3. 廃棄物（ごみ）として処分している
4. 地域のリサイクル資源として利用している
5. その他 (.....)

〔今後〕

1. 自分で堆肥をつくり利用する
2. 他の農業者と協力し利用する
3. 廃棄物（ごみ）として処分する
4. 地域の生ごみとともにリサイクル資源として利用してほしい
5. その他 (.....)

地域住民との交流やこれからの都市農業についてお聞きします

問 48 地域住民とのふれあいについて望むことをいくつでも選んでください。

1. 農産物の販売による交流
2. 農産物の調理方法の講習等による交流
3. 農作業への協力、農業体験による交流
4. 地域の行事等による交流
5. 子どもたちの学校農園など学校を通じた交流
6. 農地周辺の緑化や花の植栽などによる交流
7. まちづくりについての懇談会による交流
8. 関心がない

問 49 都市農業や農地は農産物の生産だけでなく、都市生活の中で様々な役割を果たしています。大切だと思う役割を3つ選んでください。

1. 雨水の保水や自然、生態系の保全の場
2. うるおいある景観
3. 過密化の解消やオープンスペース
4. 環境の保全や防災空間
5. 農業体験や市民農園
6. 子どもの情操教育
7. 季節の変化を感じさせる役割
8. 地表の温度を下げたり、大気を浄化する機能

問 50 今後の農業施策で重視して欲しいものを、5つ選んでください。

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. 有機農業・減農薬栽培 | 2. 土づくり |
| 3. 防虫網・防鳥網・防薬網の整備 | 4. 地域内の資源の堆肥化 |
| 5. 地産化・ブランド化 | 6. 庭先販売（農家個人の直売所）の整備 |
| 7. J Aなど共同直売所の整備 | 8. 農業用施設・農業用機械の充実 |
| 9. スーパーに地場産のコーナーを設置 | 10. 定期市（朝市など）の実施 |
| 11. 学校給食への供給 | 12. 農業後継者の組織づくり |
| 13. Uターン就業者の技術獲得の援助 | 14. 畜産の環境対策 |
| 15. 市民農園の拡大 | 16. 学校農園の拡大 |
| 17. 観光農園、うね売り等の拡大 | 18. 市民の農業参加の受け入れ |
| 19. 東久留米市農業のPR・イベント | 20. 農地周辺に花と緑の植栽 |
| 21. 空き缶、ごみ投棄の防止対策 | 22. 市民の理解を得るための交流会 |
| 23. 生産緑地買取請求への積極的な対応 | 24. 農作業受託組織の育成とシステム化 |
| 25. その他（.....） | |

問 51 今後、市民とともに東久留米農業を発展させるためにはどのようなことが必要とお考えですか。ご意見、ご提案等あれば、ご自由にお書きください。

以上でアンケート調査は終わりです。ご協力まことにありがとうございました。

2. 市民意向調査票

東久留米市農業振興計画策定のための 市民意向調査ご協力をお願い

平素より、市行政の推進にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

本市では、平成8年度から東久留米市農業の振興と農地の保全活用をめざし「東久留米市農業振興計画」を策定してきました。本市では、都市化が進む中で、農業・農地の持つ多様な役割を市民生活に生かすことが重要な課題となっております。

そのため、本アンケートは農業振興計画の改定にあたり、市民の皆さんが東久留米市の農業・農地の現状についてどのようにお考えなのかを伺うために、東久留米市内の20歳以上の市民の皆さんの中から無作為に抽出した3,000人に対して実施するものです。

また、このアンケートは無記名で行い、個々の回答は統計的に処理し集計するため、皆様にご迷惑をおかけすることはありません。

お忙しいところお手数をおかけして恐縮ですが、本趣旨をご理解いただき、ご協力のほどよろしく願いいたします。

平成27年8月

東久留米市長 並木 克巳

《記入にあたってのお願い》

- ◇このアンケートは、無作為で抽出した個人に対しての意向調査ですので、宛名のご本人がご記入ください。
- ◇お答えは、あてはまる番号に○をつけてください。その他などで（ ）がある場合には、具体的にご記入ください。
- ◇ご記入が終わりましたら、同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、平成27年8月20日（木）までにご投函ください。
- ◇また、同封されている資料は、「東久留米市の農業の状況（概要）」をまとめたものですので、ご覧の上、ご回答をお願いいたします。
- ◇このアンケートについてのお問い合わせは、下記へお願いいたします。

【問い合わせ】東久留米市市民部産業政策課農政係
電話 042(470)7743 担当：森本

東久留米市農業振興計画策定のための市民意向調査

東久留米市市民部産業政策課農政係

※この調査票に回答を直接ご記入の上、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、
8月20日（木）までに投函していただきますようお願いいたします。

東久留米市農業とその役割についてお聞きします

問1 家の近くに農地はありますか。1つ選んでください。

1. すぐ近くにある 2. 少し離れてある 3. 近くにない

問2 東久留米市では、農地が年々減少する傾向にあります。都市の農業についてどのよう
にお考えですか。1つ選んでください。

1. 今ある農地はできるだけ多く残してほしい
2. 一生懸命農業をやっている農家の農地は残してほしい
3. 農地は減っていても仕方がない
4. 農地は公共施設用地にしてほしい
5. 農地は住宅地にしてほしい
6. その他（.....）

問3 あなたのまわりの農業・農地について感じていることを3つ選んでください。

1. 新鮮な野菜・果物を供給してくれる
2. 植木が緑を豊かにしている
3. 季節を感じるができる
4. 緑地やオープン・スペースとして役立っている
5. 自然や生態系の保全の場として役立っている
6. 子どもの教育や農業体験の場として役立つ
7. 災害時の避難場所として役立つ
8. 季節によっては土ぼこりなどで困る
9. 農薬散布が気になる
10. 臭いや農機具による音が気になる
11. 耕作放棄地など荒れている農地がある
12. その他（.....）

問4 これからの東久留米市の農業・農地についてどんなことを期待しますか。2つ選んでください。

1. 学校給食・直売所への新鮮で安心な野菜の供給
2. 農薬を使わない、環境に配慮した農業
3. うるおいのある環境をつくりだすための農地
4. 市民農園としての農地
5. 防災空間としての農地
6. 子どもの農業体験などができる農地
7. その他 (.....)

地場農産物の購入、消費についてお聞きます

問5 あなたは日頃、農産物をどこで購入しますか。3つ選んでください。

1. 市内の八百屋や地元商店
2. 市内のスーパー
3. 市外の八百屋やスーパー
4. 市内の農家の庭先販売（農家個人の直売所）
5. 市外の農家の庭先販売（農家個人の直売所）
6. 市内のコンビニエンスストア
7. 生協や宅配ネット
8. 小グループの共同購入
9. 他地域の農家からの産直
10. その他 (.....)

問6 特に、東久留米市産農産物をどこで購入しますか。いくつでも選んでください。

1. 庭先販売（農家個人の直売所）やJAなど共同直売所
2. 朝市や夕市
3. 市内のスーパー
4. 市内の八百屋
5. 近隣の農家から頂く
6. コンビニエンスストア
7. 生協
8. 宅配ネットなど
9. その他 (.....)
10. 購入したことがない

問7 農産物を購入する時のきっかけは何ですか。いくつでも選んでください。

1. 地元産
2. 国内産
3. 安全性
4. 新鮮さ
5. 値段
6. 営業時間
7. 通勤途中
8. 近隣の商店
9. 利便性
10. その他 (.....)

問8 あなたは、農産物の1か月当たりの購入はどれくらいですか。1つ選んでください。

1. 1,000円未満
2. 1,000～5,000円未満
3. 5,000～10,000円未満
4. 10,000～30,000円未満
5. 30,000円以上
6. わからない

問9 東久留米市内で生産された農産物を食べたいと思いますか。1つ選んでください。

1. 食べている
2. ぜひ食べたい
3. 出来れば食べたい
4. 特に食べたいとは思わない
5. その他 (.....)

問10 東久留米市内で生産された農産物を手に入れやすくするために、必要だと思うことを2つ選んでください。

1. 市内の八百屋や地元商店街で扱う
2. スーパー等に東久留米産のコーナーを設置する
3. 農産物に東久留米産のマークをつける
4. 農家の庭先販売（農家個人の直売所）を増やす
5. J Aなど共同の直売所を増やす
6. 朝市の定期的な開催
7. 夕市の定期的な開催
8. その他（.....）

問11 東久留米市では、学校給食に一部地場農産物を使っていますが、あてはまるものを1つ選んでください。

1. 新鮮なのでぜひ続けてほしい
2. 無農薬・減農薬の農産物を重視してほしい
3. 季節感がわかる旬のものを使ってほしい
4. 農業・農家への親しみが増すので続けてほしい
5. 地場農産物にこだわらない
6. その他（.....）

問12 市内農産物の庭先販売（農家個人の直売所）を利用したことがありますか。1つ選んでください。

- | | |
|---------------------|------------------|
| 1. 週に5回以上利用している | 2. 週に3回くらい利用している |
| 3. 週に1回くらい利用している | 4. たまに利用している |
| 5. 利用したことがない | 6. 今後利用したい |
| 7. 庭先販売があることを知らなかった | 8. その他（.....） |

問13 市内農産物の庭先販売（農家個人の直売所）について感じていることを、いくつでも選んでください。

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1. 新鮮である | 2. 値段が安い |
| 3. 農家とのつきあいができる | 4. 安全だと思う |
| 5. おいしい | 6. 生産（者）が見えてよい |
| 7. 品数、量が少ない | 8. 開いている日が少ない |
| 9. 開いている時間が短い | 10. いつ開いているかわからない |
| 11. 品質が良くない | 12. 値段が高い |
| 13. 無人販売で農家の顔が見えない | 14. その他（.....） |

問 14 あなたは農産物や加工品などを買うとき、有機農産物かどうか気にしますか。1つ選んでください。

1. 有機農産物にこだわる 2. 品物によっては気にする 3. 特に気にしない

問 15 あなたは農産物や加工品などを買うとき、輸入農産物かどうか気にしますか。1つ選んでください。

1. 国内産にこだわる 2. 品物によっては気にする 3. 特に気にしない

問 16 環境にやさしい農業について伺います。あなたは環境に配慮し、農薬や化学肥料の使用を減らした農産物を購入したいと思いますか。1つ選んでください。

1. 通常の農産物と同じくらいの価格 2. やや高いくらいなら購入したい
なら購入したい
3. 高くても購入したい 4. あまり意識して購入しない
5. その他 (.....)

農業体験についてお聞きします

問 17 あなたは農業を体験したことはありますか。いくつでも選んでください。

1. 市民農園を借り、農作業をしたことがある
2. 体験型農園（*）で農作業をしたことがある
3. 実家（祖父母の家）が農家なので、そこで農作業を手伝ったことがある
4. 子どものころ学校の農業体験学習に参加したことがある
5. 近くの農家で農業体験をしたことがある
6. 農家の農作業に協力したことがある
7. 他県の農村で農業体験をしたことがある
8. 自宅で家庭菜園やプランター栽培を行ったことがある
9. その他 (.....)
10. 農業体験をしたことはない

*体験型農園
農家が経営・管理し、
市民は指導を受け作
付けから収穫までの
作業を体験し農産物
を購入する農園

問 18 あなたは今後どのような農業体験をしたいと思いますか。あてはまるものをいくつでも選んでください。

1. 市民農園で自由に農作物を作ってみたい
2. 体験型農園で農家の指導を受けながら農作業がしてみたい
3. ボランティアとして農家の作業を手伝ってみたい
4. 摘み取り農園や観光農園で気軽に農業を体験したい
5. 農家と交流しながら農業について知りたい
6. 農業に関心はあるが時間がない
7. 農業体験をしたいと思うが場所や方法がわからない
8. 農業にはあまり関心がない
9. その他 (.....)

問 19 東久留米市には、市が開設している市民農園と農家が自ら開設する農園及び農家が運営する体験型農園があります。これらの農園の利用についてどう思いますか。1つ選んでください。

- | | |
|--------------|----------------|
| 1. すでに利用している | 2. ぜひ利用したい |
| 3. できれば利用したい | 4. 利用したいとは思わない |
| 5. 知らなかった | 6. その他 (.....) |

問 20 農家の農作業の手伝いについてどう思いますか。いくつでも選んでください。

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 畑の作業を手伝ってみたい | 2. 農産物の販売を手伝ってみたい |
| 3. 農産物の加工を手伝ってみたい | 4. 関心があるが時間がない |
| 5. その他 (.....) | |

問 21 小学校の学校農園や小学生の農業体験についてどう思いますか。2つ選んでください。

1. 全校で実施してほしい
2. 農業体験は重要だと思うので、何らかの体験をさせたい
3. 種まきから収穫までの体験学習をさせたい
4. 農業体験は取り入れなくてもよい
5. 農園等の面積を増やしてほしい
6. その他 (.....)

農家との交流についてお聞きします

問 22 農家との交流について望むことはどれですか。いくつでも選んでください。

1. 農作業を体験したい
2. 野菜や花の作り方、育て方を教えてほしい
3. 野菜の料理や漬物の作り方等を教えてほしい
4. 子どもの自然教育のための交流がしたい
5. 農家の風習、伝統等の体験がしたい
6. その他 (.....)

問 23 あなたは現在、生ゴミをどのように処理していますか。1つ選んでください。

1. 自宅の庭などに穴を掘り、処理 (コンポスター含む)
2. 生ごみの堆肥化に取り組んでいる
3. 市のゴミ収集に出している
4. その他 (.....)

問 24 あなたは生ゴミを堆肥化して、農家や市民農園などに提供することについて、どのようにお考えですか。1つ選んでください。

1. 堆肥化のための、市、農家、市民による協力体制ができるのなら参加したい
2. 市または農家が堆肥化したものを取りに来てくれるなら提供してもよい
3. 分別し、生ゴミのままでもよいなら提供してもよい
4. すでに農家や堆肥化を推進するグループなどに堆肥として提供している
5. 関心はあるが、分別したり堆肥化したりする時間的な余裕がない
6. 関心がない
7. その他 (.....)

問 25 市民が農家とともに農業を育てていくためには、あなたはどのようなことに対して協力できますか。2つ選んでください。

1. 農作業の協力など機会があれば手伝いたい
2. 時間的・体力的な余裕があれば、農作業を手伝ってもよい
3. 安全な野菜を作っている農家から野菜を買うなど、「食べ続ける」協力をしたい
4. できるだけ東久留米市産の野菜や果物を買うようにしたい
5. 農家との懇談会や市民講座などを通じて、東久留米市の農業の実状についてもっとよく勉強することから始めたい
6. その他 (.....)

問 26 市民が農家とともに農業を育てていくために必要だと思われることを、2つ選んでください。

1. 市民が農作業に参加できる体制づくり
2. 東久留米市の野菜を手軽に購入できるようにする
3. 東久留米市の農業に関する情報の提供 (広報・直売所マップ、インターネット等)
4. 緑や花のある農業景観を生かしたまちづくり
5. 農業に関する市民講座などの開催
6. 農地保全のための施策の推進
7. 生ごみ堆肥化の協力体制づくり
8. その他 (.....)

東久留米市の農業や農産物についてお聞きします

問 27 市内農産物の特産品で知っているものすべてを選んでください。

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1. 柳久保小麦の手打ちうどん | 2. 柳久保うどん（乾麺） |
| 3. 柳久保うどん（生うどん） | 4. 柳久保ラーメン（乾麺） |
| 5. 柳久保かりんとう | 6. 柳久保まんじゅう |
| 7. 柳久保クッキー | 8. 梅ワイン「梅うふふ」 |
| 9. 赤しそジュース「しそすっきり」 | 10. 芋焼酎「黒目川」 |
| 11. その他（.....） | 12. 特産品があることを知らなかった |

問 28 市内の農産物を使ったブランド化について1つを選んでください。

1. 考えがある場合
○農産物の種類（.....）
○加工品の名前（.....）
2. 考えがない
3. わからない

問 29 東久留米市の農地は減少傾向にありますが、市が緑地空間として買い取って、市民が利用できるようにすることについて、どのように考えますか。1つを選んでください。

1. 市が農地を買い取り、市民が利用できるようにする
2. 市民、企業に基金などを呼び掛け、市と共同で買い取りを行う
3. 自治体財政が厳しい中では買い取れなくてもやむを得ない
4. 自治体財政が厳しい中で買い取るべきではない
5. その他（.....）

あなたご自身についてお聞きします

問 30 あなたの性別はどちらですか。また、結婚をされているかどうか、該当するものに○を記入してください。

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. 男（未婚・既婚） | 2. 女（未婚・既婚） |
|-------------|-------------|

問 31 あなたの年齢を選んでください。

- | | | | |
|--------|--------|----------|--------|
| 1. 20代 | 2. 30代 | 3. 40代 | 4. 50代 |
| 5. 60代 | 6. 70代 | 7. 80代以上 | |

問 32 あなたの職業は何ですか。

- | | |
|----------------|------------------|
| 1. 自営業者・事業主・農業 | 2. 勤め人（会社や公的機関等） |
| 3. パート、アルバイト等 | 4. 専業主婦・主夫 |
| 5. 学生 | 6. 無職 |
| 7. その他（.....） | |

問 33 あなたの家族構成を選んでください。

- | | | |
|--------------------|---------------|----------------|
| 1. 1人世帯 | 2. 夫婦のみの世帯 | 3. 親と子どもの2世代家族 |
| 4. 祖父母と親と子どもの3世代家族 | 5. その他（.....） | |

問 34 あなたを含めて同居している家族の人数を選んでください。

- | | | | | |
|-------|---------|-------|-------|-------|
| 1. 1人 | 2. 2人 | 3. 3人 | 4. 4人 | 5. 5人 |
| 6. 6人 | 7. 7人以上 | | | |

問 35 あなたは東久留米市に何年住んでいますか。

- | | | | |
|---------|-------------|--------------|----------|
| 1. 3年未満 | 2. 3年～10年未満 | 3. 10年～20年未満 | 4. 20年以上 |
|---------|-------------|--------------|----------|

問 36 あなたのお住まいの形態はどれですか。

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. 一戸建ての持ち家 | 2. 一戸建ての借家 |
| 3. 分譲マンション | 4. 賃貸マンション・アパート |
| 5. 公共住宅（都営・公社・公団） | 6. 社宅・寮・公務員住宅 |
| 7. その他（.....） | |

問 37 あなたのお住まいを以下の町名の中から選んでください。

- | | | | | |
|---------|-------------|---------|---------|---------|
| 1. 上の原 | 2. 学園町 | 3. 金山町 | 4. 小山 | 5. 幸町 |
| 6. 下里 | 7. 新川町 | 8. 神宝町 | 9. 浅間町 | 10. 大門町 |
| 11. 滝山 | 12. 中央町 | 13. 野火止 | 14. 八幡町 | 15. 氷川台 |
| 16. 東本町 | 17. ひばりが丘団地 | 18. 本町 | 19. 前沢 | 20. 南沢 |
| 21. 南町 | 22. 柳窪 | 23. 弥生 | | |

問 38 東久留米市農業の振興のためにご意見やアイディア、東久留米市の農業について日頃感じていることなどがあれば、ご自由にお書きください。

以上でアンケート調査は終わりです。ご協力まことにありがとうございました。

**東久留米市農業振興計画策定に関する
アンケート調査結果報告書**

発行日 平成28年3月
発行 東久留米市市民部産業政策課
〒203-8555 東久留米市本町3-3-1
電話 042-470-7777 (代)
FAX 042-470-7811
E-mail sangyoseisaku@city.higashikurume.lg.jp

